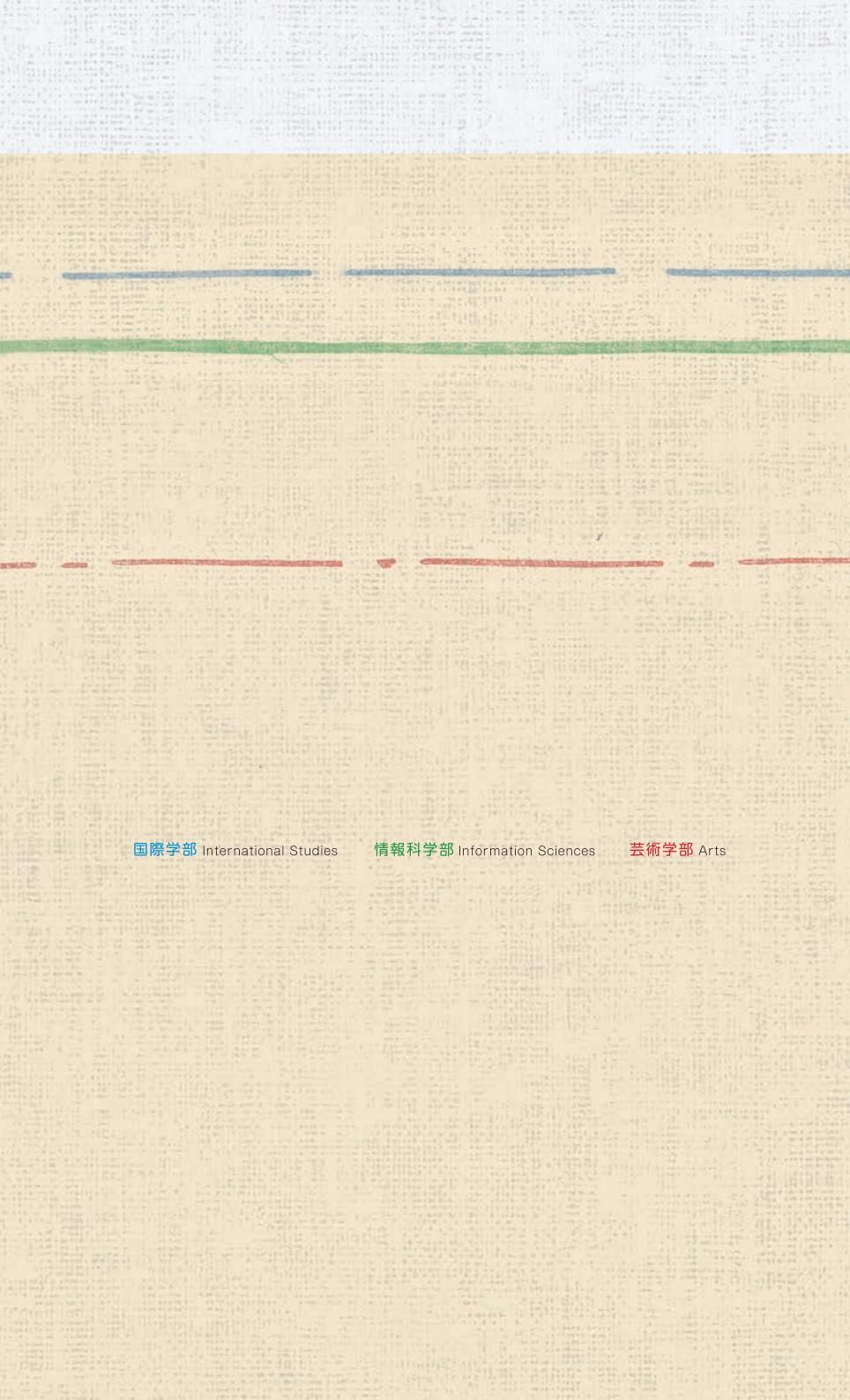


広島市立大学

Hirosima
City
University

大学案内 2016





国際学部 International Studies

情報科学部 Information Sciences

芸術学部 Arts





Hiroshima City University

広島市立大学

大学案内 2016

国際学部 International Studies

情報科学部 Information Sciences

芸術学部 Arts



Contents

学長メッセージ	014
建学の基本理念	016
人材育成の目標／アドミッション・ポリシー	017
学部構成図	018
教育の特色	020
全学共通系科目	022
外国語系科目／資格取得関係科目	024
国際交流	025



大学院	121
広島平和研究所／附属施設	127
・広島平和研究所	128
・附属施設	130

Campus Life	
・キャンパスカレンダー	136
・大学生活サポート	138
・クラブ&サークル	140
・キャンバスマップ	144

就職・Voices(卒業生)	147
ウェブサイト紹介	158
入試情報	160
アクセスマップ	162
MEMO	163

学部長メッセージ	028
求める人物像	034
教育方針	035
年次チャート、学部共通科目	036
5つのプログラム	037
・国際政治・平和プログラム	038
・公共政策・NPOプログラム	039
・多文化共生プログラム	040
・言語・コミュニケーションプログラム	041
・国際ビジネスプログラム	042
国際理解・少人数教育の重視	043
HIROSHIMA and PEACE	044
CALL英語集中	045
教員一覧	046
プロジェクト一覧	048
Voices	050



学部長メッセージ	058
求める人物像	064
教育方針	065
年次チャート、学部共通科目	066
[情報工学科]	067
・コンピュータコース	068
・ネットワークコース	069
[知能工学科]	070
・知能ソフトウェアコース	071
・知能メディアコース	072
[システム工学科]	073
・人間・ロボット共生コース	074
・インターフェースデザインコース	075
[医用情報科学科]	076
・医用情報コース	077
・光・電子計測コース	078
臨床情報医工学プログラム	079
教員一覧	080
研究設備・実験風景	084
Voices	086



学部長メッセージ	094
求める人物像	100
教育方針	101
年次チャート、学部共通科目	102
[美術学科]	103
・日本画専攻	104
・油絵専攻	104
・彫刻専攻	105
[デザイン工芸学科]	106
・現代表現	107
・視覚造形	107
・立体造形	108
・映像メディア造形	108
・金属造形	109
・染織造形	109
・漆造形	110
教員一覧	110
創作工房・実習アトリエ一覧	112
Voices	114





Learning Commons

ichi-como

01



02



03







国際平和文化都市の「知」の拠点

広島市は「国際平和文化都市」として

国際的にも歴史的にも特別の役割を担った都市です。

その広島市が「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」として
一九九四年に設置した公立大学、それが広島市立大学です。

国際学部、情報科学部、芸術学部、そして広島平和研究所という

特色ある三学部一研究所構成の本学は

国際平和文化都市の「知」の拠点、地域と共に生し、

市民の誇りとなる大学を目指し、教育・研究を行っています。

二〇一四年には、開学二〇周年を迎え、さまざまな記念事業を実施致しました。

その事業コンセプト「広島市立大学が広島の未来をつくる」という意気込みを継承し、

これまで以上により良い大学づくりに取り組んでいきます。

広島の地で国際学、情報科学、芸術学、平和学を学び

世界と地域で活躍する未来を志す皆さんのが入学を待っています。



青木 信之
AOKI Nobuyuki

広島市立大学長

青木 信之

AOKI Nobuyuki

建学の基本理念

科学と芸術を軸に
世界平和と地域に貢献する
国際的な大学

広島市立大学が基本理念として掲げた「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という言葉には、科学・文化の発展と世界平和を願う広島市の意志と、公立大学としての地域貢献への期待が込められています。こうした本学の使命は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、次代を担う感性と創造力の豊かな人材を養成するとともに、優れた教育研究の成果を地域に還元し、もって文化の向上と社会の発展に寄与することにあります。

国際平和文化都市を都市像とする広島市に設置された本学は、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部、そしてその上に大学院博士前期・後期課程として、国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科を有する総合大学です。また世界平和と人類の幸福を実現するための研究や提言を行うことを目的とした広島平和研究所を附置研究所として設置しています。

広島市立大学は、特色のある独自の教育研究活動を通じて、世界と地域が求める新しい時代の要請に応え、本学の目標である「国際平和文化都市の『知』の拠点—地域と共生し、市民の誇りとなる大学—」を築き上げていきたいと念じています。

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理觀を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

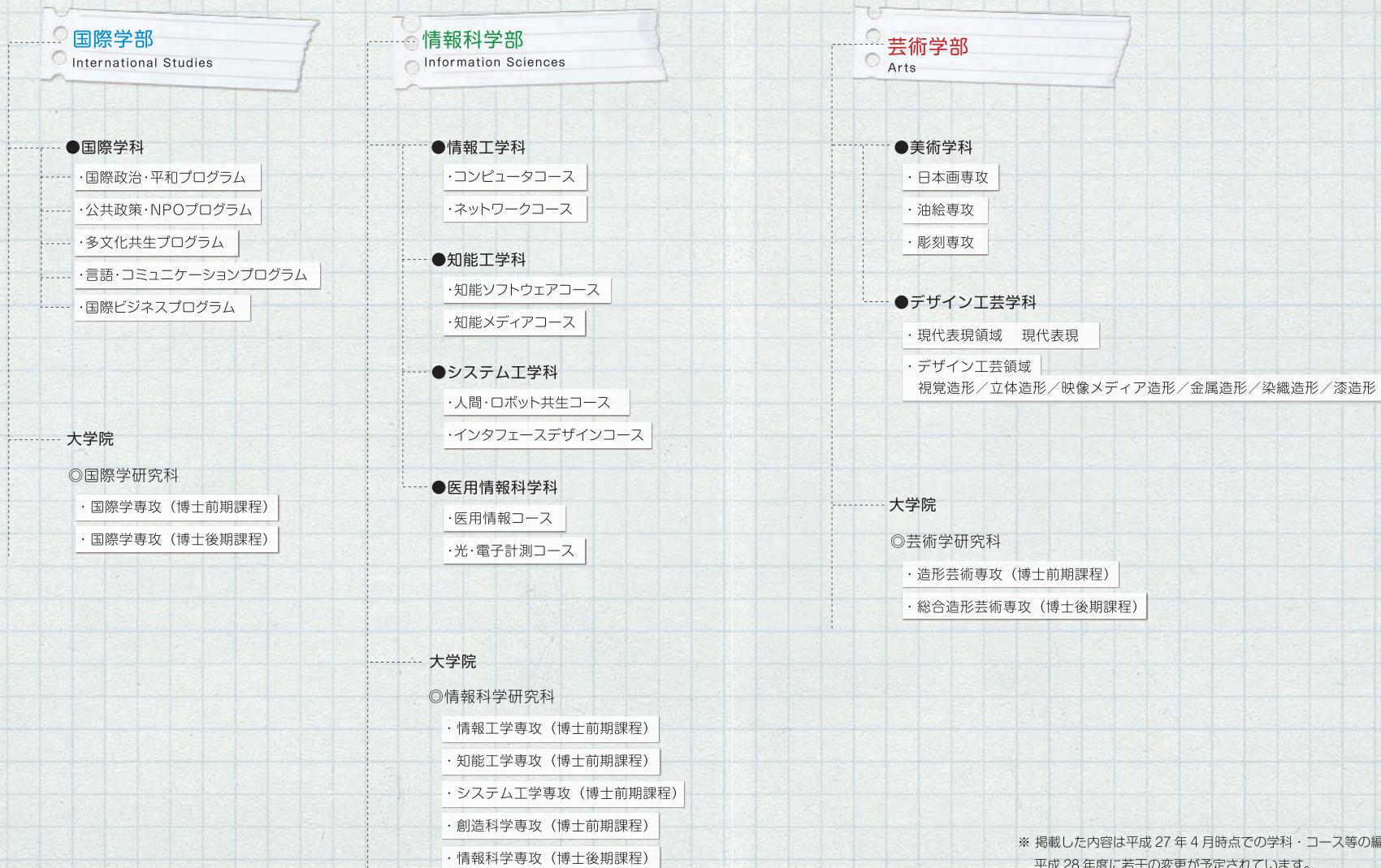
Admission Policy

アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

- 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

学部構成図



※掲載した内容は平成27年4月時点での学科・コース等の編成です。
平成28年度に若干の変更が予定されています。

教育の特色

● 徹底した少人数教育

本学では、学部学生約1,800名に対し、約190名の専任教員を配置しています。教員1名当たりの学部学生数は約9.5名です。このような恵まれた教育体制を特徴とし、演習科目や多くの授業で少人数教育を実践しています。少人数教育で築くことのできる教員と学生との緊密な人間関係により、学習面のみならず、課外活動や進路選択など学生生活全般にわたってきめ細かい指導を行っています。

● 基礎演習の全学実施

少人数教育の代表は1年次の必修科目「基礎演習」です。この科目は、大学で学ぶための基礎的能力や問題発見・解決能力、さらにコミュニケーション能力を高めることを目的としています。具体的には、資料の検索や収集の仕方、文献の読み方、レポートやレジュメ(要約)の書き方、プレゼンテーションや討論の仕方などを学び、高校教育から大学教育への円滑な移行のためのオリエンテーションの機能を果たしています。授業では教員と学生相互のコミュニケーションを図る目的から討論が行われることが多く、学習集団の形成にも役立っています。

● いちだい知のトライアスロン

「いちだい知のトライアスロン」は「知る・考える・伝える」能力の向上と、豊かで幅広い教養を培うことを目的に行われている広島市立大学を代表する教育プログラムです。3学部の特徴を生かし、質と共に量を重視した読書、映画鑑賞、美術鑑賞を大学全体で推進する教育プログラムです。

この事業では、大学で開発した専用のウェブシステムを使って、学生が読んだ本や鑑賞した作品の感想レポートをオンラインで提出し、担当教員からコメントが返信されます。

附属図書館、語学センター、芸術資料館などの学内施設では、学生がより多くの作品に挑戦できる環境を整え、ユニークな企画を数多く実施しています。また、広島市内の美術館や広島市映像文化ライブラリーとも連携し、これらの学外施設を会場に本学教員による講演やギャラリートーク、映画上映会等を組み合わせた「出張講座」を年に数回開催しています。

美術館キャンパスメンバーズ制度

学生により多くの芸術作品に触れてもらうことを目的に、「広島県立美術館」および「ひろしま美術館」のキャンパスメンバーズ制度に加入しています。本学の学生は、これら2つの美術館の常設展・特別展(広島県美術展を除く)を無料で鑑賞することができます。

● 総合共通科目のパッケージ化(関連科目群)

主に1・2年次に履修する総合共通科目では、3学部の教員が連携し、それぞれの専門分野性を生かし、複合領域にわたる講義を行っています。総合共通科目には、受講生に科目構成を分かりやすく提示するため、テーマに沿って関連する科目を整理したパッケージ(関連科目群)を設けています。これには、例えば「平和を学ぶ」、「自然の仕組みを知る」、「アートに親しむ」などがあります。

こうしたパッケージを参考に、受講生は各自が関心のあるパッケージの中から、それに含まれる科目を履修していくことで、系統的な学習を進めることができます。

● キャリア教育の推進

卒業後の進路や職業選択に向けた学生のキャリア形成支援を目的に、「キャリア形成・実践科目」を設けています。「キャリアデザイン」では、グループワークやさまざまな分野で活躍する社会人の講演などを通じて、大学で学ぶことと社会で働くことの意義と関係性を理解し、社会人にとって必要な力を身に付けるとともに、自分自身のライフプランを考えていきます。「キャリアサポートベーシック」では、キャリアデザインの実現のために必要な知識・スキルを身に付け、具体的な実践力を養っていきます。

また、国際学部と情報科学部では、企業で行われるインターンシップや学校でのインターンシップ(国際学部のみ)に参加することで、専門科目の単位として認定される制度があります。インターンシップは、就業体験を通じて、職業に対する意識を高めることを目的としています。

平成26年4月には新たにキャリアセンターを設置し、従来からの就職支援にとどまらない総合的なキャリア教育を、全学を挙げて実施する体制を整えました。

● ラーニング・コモンズ「いちコモ(ichi-como)」の開設

平成26年10月、学生が共同学習を行うための共有スペース(ラーニング・コモンズ「いちコモ(ichi-como)」)を、附属図書館内に開設しました。ラーニング・コモンズは、通常の読書や個人学習を行う図書館の静かな場所とは区別された、対話学習が可能な空間です。ここに討論やプレゼンテーションといったアクティブラーニングに必要なICT機器を整備することで、学生同士が議論し、知的好奇心を高め合い、共に考えることのできる学習環境を整え、学生の多様な学習スタイルを支援しています。



全学共通系科目

学部を越えた共通科目の学修で、知識・感性・人間性を伸ばす

本学では、学部の専門的な科目に加えて、「総合共通科目」「一般情報処理科目」「保健体育科目」の3分野で構成された全学共通系科目を設置。各専門分野をはじめ、人間と文化、社会、科学とのかかわりや創造と表現、コンピュータリテラシーなどを学び、社会人に求められる理解力・判断力・表現力を総合的に身に付けていきます。

区分	科目		
全学共通系科目	総合科目	地球環境論 創作と人間 心の健康・身体の健康	メディアと社会 情報社会論 情報と企業
	広島・平和科目	ひろしま論 平和と人権A（ヒロシマと国際平和） 平和と人権B（現代世界と人権） 広島からの平和学：実践の方法 平和インターナシップ	NPO論 広島の産業と技術
	共通科目A (人間と社会)	哲学A・B 世界の宗教 心理学 歴史学 現代史A・B 世界の文学 法学（日本国憲法）	政治学 経済学 社会学 文化人類学 自然人類学 経営学
	共通科目B (数理と自然)	数学概論 物理学概論 基礎物理学 化学概論 基礎化学	生物学概論 基礎生化学 情報科学概論 物理・化学実験
	共通科目C (芸術)	デッサン概論 油絵入門 日本画入門 立体造形概論	プレゼンテーション技法概説 デザイン工芸概論 コンピュータ・アート
	基礎・教養演習	基礎演習	教養演習
キャリア形成・実践科目	キャリアデザイン キャリアサポートベーシック	国際交流演習I・II・III・IV	
一般情報処理科目	情報基礎	情報演習	
保健体育科目	健康科学	体育実技I・II	

【ユニークな科目】

» ひろしま論

3学部1研究所で構成する本学の特色を生かした科目です。国際、情報、芸術、平和の各領域において、広島をキーワードに幅広いテーマを設定し、各テーマに造詣の深い講師がオムニバス形式で授業を行います。さまざまな観点から広島の歴史、行政、経済、産業、文化などをひもとくことでその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を持った人材を育てることを目的としています。また、国際平和文化都市広島の原点である被爆体験および広島からの平和の取り組みについて学びます。

» 平和と人権A(ヒロシマと国際平和)

人間が生まれながらに持つ権利（人権）と個々人が備え持つ固有の価値（尊厳）が保証され、守られる状態を広い意味での「平和」ととらえるなら、人権や人間の尊厳が傷つけられ、犯される最も顕著な例は戦争です。講義では、広島の戦争経験のうち、今から70年前に投下された原子爆弾による被爆体験に焦点を当てます。その上で、先の大戦の経緯や原子爆弾の投下過程と被害の実態、現代世界における核兵器の存在状況や意味を考えながら、平和を実現するための課題について探求します。広島平和研究所の研究員や国際・情報科学・芸術学部の教員、さらには学外の有識者や被爆者などをゲスト講師として迎え、講義では映像や図像等も積極的に活用します。

» 情報と企業

ICT（情報通信技術）を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることを目的としています。国内外のさまざまな企業の第一線で活躍の方々を講師として迎え、ICTを中心とした各企業での取り組みについて講義をしていただいている。なお、この科目は、遠隔講義環境を利用して、慶應義塾大学、京都大学、広島市立大学の3拠点をネットワークで結び、本学から参加できるようにしています。広島では聴講が難しい講師の話を聞くことができ、質疑応答等も含め双方向の対話が可能な講義です。

» 創作と人間

芸術学部を持った本学の特徴を最大限に生かし、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝えます。全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養うことを目的とする本学ならではの科目です。絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察します。

» 基礎演習

大学での学びに必要な基礎的能力を、入学間もない時期から少人数グループで学修する科目です。学部独自のカリキュラムで、情報収集やプレゼンテーションの仕方、レジュメ（要約）等の書き方、そして図書館等の附属施設を効果的に利用する方法などについて、各担当者が工夫して授業を行います。また、教員と学生相互がコミュニケーションを図る機会となり、大学生活全般のオリエンテーションとしても役立っています。

*国際学部においては、専門基礎科目の「基礎演習I」を「基礎演習II」に相当する科目としています。

外国語系科目

地球社会に生きる国際人に必要な語学力の習得

最新の設備や機器を備えた語学センターや外国人教員による直接の指導、多彩な教材など、ハード・ソフトの両面から外国語の学習環境を用意。読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと、考えることという総合的で実践的な語学力を身に付け、21世紀の国際人として活躍できる力を養います。

●徹底した訓練を行う「CALL英語集中」

本学では、コンピュータ利用による英語訓練授業「CALL英語集中」により、英語力の養成を図っています。この授業では、語学センターや情報処理センターのコンピュータを使って、1年次は英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に学習。2年次はそれらに加えて、スピーキングやライティングで、自在に使える英語表現を徹底的に身に付けます。授業は、指定された約2カ月間に自分の都合やペースに合わせて学習を行うもので、学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験。国際社会に不可欠な英語力を確実に高めています。

●能力別少人数の「英語応用演習」

「CALL英語集中」とは別に、1クラス15人という少人数授業「英語応用演習」を開設。ここではスピーキングとライティングの技能を集中して鍛えるための授業を行います。このクラスは能力別の編成を行い、各クラスのレベルに適したシラバスとテキストを使って、きめ細やかな指導を行います。

資格取得関係科目

本学では、教育職員免許状受領資格や学芸員資格を取得するための科目を開設しています。

(取得可能な資格、関係科目は以下のとおりです)

取得可能な資格

国際学部	●中学校・高等学校教諭一種免許状(英語) ●博物館、美術館などの学芸員
情報科学部	●高等学校教諭一種免許状(数学) ※医用情報科学科を除く ●博物館、美術館などの学芸員
芸術学部	●中学校・高等学校教諭一種免許状(美術) ●博物館、美術館などの学芸員 ●高等学校教諭一種免許状(工芸) ※デザイン工芸学科に限る

区分	科目		
教育職員免許状受領資格取得関係科目 (教職に関する科目)	教師論	教科教育法(情報)I・II	教育実習I・II
	教育原理	教科教育法(美術)A・BⅠ・BⅡ	教職実践演習(中等)A・B・C
	教育心理学	教科教育法(工芸)I・II	学校インターンシップ
	教育経営学	道徳教育論	教職特講
	人権教育論	特別活動論	
	教育課程論	教育方法・技術論	
	教科教育法(英語)A・BⅠ・BⅡ	生徒・進路指導論	
学芸員資格取得関係科目	教科教育法(数学)I・II	教育相談論	
	生涯学習概論	博物館資料論	博物館教育論
	博物館概論	博物館資料保存論	博物館情報・メディア論
	博物館経営論	博物館展示論	博物館実習

国際交流

広島市立大学は、建学の精神や、広島ならではのメッセージを世界に発信できる特別な都市であるという背景から、国際的な大学となることを強く期待されています。このため、大学の国際化をより一層推進する目的で、平成25年4月、国際交流推進センターを設立し、専任教職員を配置することにより、学生の海外留学派遣および留学生受け入れのための企画・実施等を全学で一元化し運営する体制を整えました。今後は、さらに各種国際交流プログラムを開発し、学生の語学や専門知識・技能の習得はもとより、異文化環境の中で活躍できるグローバル人材を輩出していく重要な牽引役を担っていきます。

●海外学術交流協定大学等への学生派遣

本学では、国際交流を積極的に行ってています。現在、ハノーバー専科大学(ドイツ)、アラヌス大学(ドイツ)、ベルリン・バイセンゼー芸術大学(ドイツ)、ベルリン・フンボルト大学(ドイツ)、ハワイ大学マノア校(アメリカ)、オルレアン大学(フランス)、レンヌ第2大学(フランス)、西京大学校(韓国)、梨花女子大学校(韓国)、西南大学(中国)、国際関係学院(中国)、上海大学(中国)、国連平和大学(コスタリカ)等と協定を結び、交流・学生交換を推進しています。派遣留学は、本学に在籍したまま、半年あるいは1年間留学するもので、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されます。

●海外からの留学生の積極的な受け入れ

国際的な大学を目指している本学では、建学の基本理念である国際的な大学を実現するために、また、国際レベルでの教育研究の交流を緊密にするために、外国人特別選抜制度を設けて、海外からの留学生、特にアジアからの留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。平成26年度の実績では、受け入れ留学生数は105名、うち海外学術交流協定大学からの交換留学生は19名で、公立大学の中でも、国際交流が盛んな大学です。そして、本学で受け入れた留学生の学習や日本での生活がスムーズに進むように、日本語や日本の事情を学ぶ科目を充実させるとともに、奨学金の紹介など、さまざまなサポートを行っています。

●海外語学研修参加による単位修得

毎年、多数の学生が海外で行われる語学研修に参加しています。また、研修に参加すると、外国語系科目の単位として認定される制度があります。

◎海外語学研修補助事業

学生が海外の大学または研修機関で語学研修を受ける場合に、旅費、研修費用等の2分の1を1人につき20万円を限度に補助します。補助金交付に当たっては、2年生以上の学生を対象とし、広く学内から公募します。応募者が多い場合には、本学での成績や面接等に基づいて選考します。

平成26年度実績(滞在国および人数)

アメリカ(1名)、オーストラリア(1名)、カナダ(1名)、ドイツ(1名)、ニュージーランド(1名)、フランス(1名)

国際学部

International Studies

国際社会で活躍できるグローバル人材教育

サブサハラ・アフリカにおける貧困や難民の問題、

ロシア・ウクライナや中東アジアにおける国家間の緊張関係、

地球温暖化や気候の変動、自然環境破壊、

日本における少子高齢化の深刻化や地方経済の低落など、

現代社会は複雑な問題を抱えており、その解決には単一の学問領域からでは難しく、

領域を越えた学際的なアプローチを必要としています。

言語能力を身に付けて世界の人々とコミュニケーションを図る上、

経済活動の主力である企業の国際ビジネス活動を学ぶ上、

国際政治の歴史をたどり現状を理解する上、

広く公共的な観点からさまざまな政策効果に加え

ボランティアなどNPO活動による社会貢献も学ぶ上、

世界にある多くの文化を理解し共生の道を探ること、

多面的なアプローチから世界平和を実現するために努力すること、

国際学部では、国際社会で活躍できるグローバル人材教育を目指しています。



国際学部長

二村 英夫

FUTAMURA Hideo





見つめる先は国際社会、自由なアプローチで豊かな人間性を培う

求める人物像

Admission Policy

身に付けた外国語を生かしたい、ビジネスの現場で活躍したい、
日本や世界、各地域の問題に強い関心があるなど、
21世紀社会を担う意欲を持った人を歓迎します。

1

幅広い分野の基礎的な知識を理解し、
さらに考えを深めて自らのことばで表現できる人

2

日本語と外国語の能力を磨き、コミュニケーション能力を高めて、
さまざまな国や地域の人々と交流したい人

3

国際社会や地域社会のさまざまな課題に関心を持ち、
その解決に真摯に取り組める人

教育方針

Principles

一人ひとりの興味や卒業後の進路を見据えて選択した学びを、
より効率的に進め、深めていくために、
国際学部では、以下のコンセプトを掲げています。

「学際性」の実現に向けて

既存の枠にとらわれず、私たちの周りや世界各地域の異質で多様なものを、
多面的・複眼的に関連付けて理解できる学際的なカリキュラムを設けています。

5つのプログラムの可能性

学生の関心や目標に応じた5つのプログラムを用意し、それらを組み合わせて
学習することができる多様で柔軟なカリキュラムを編成しています。

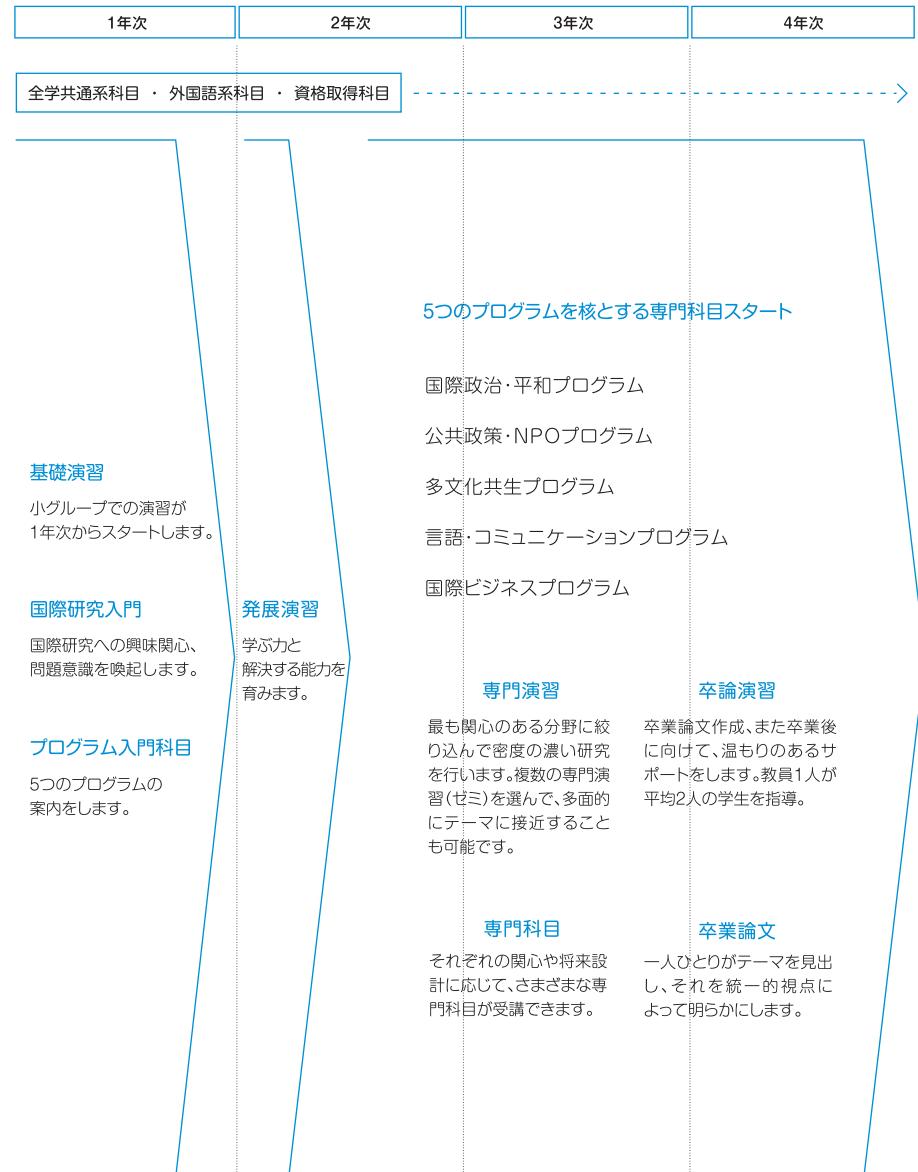
少人数クラス・ゼミの魅力

学生同士はもちろん、学生と教員がしっかりと議論ができるように、
演習科目や各授業クラスを少人数で編成しています。

丁寧で適切なサポート体制

通常の授業だけではなく、課外活動を含めて、豊かな学生生活と
学生一人ひとりの目標を実現できるよう、きめ細やかなサポート体制を整えています。

年次チャート、学部共通科目



5つのプログラム

5つのプログラムをベースにした国際学部の教育プラン

21世紀の国際社会で求められる人材を育成するために、国際学部では6つの目標を設けています。それは、「幅広い教養を養うこと」「教養科目と専門科目とを連携させ学際的に学び知識を身に付けること」「国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること」「高い外国語能力を身に付けること」「問題解決のための行動力を身に付けること」「一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられること」の6項目です。この目標を実現できるように、5つのプログラムを中心とした教育カリキュラムを用意しています。

5つの領域から21世紀をとらえる

国際学部では、「国際政治・平和」「公共政策・NPO」「多文化共生」「言語・コミュニケーション」「国際ビジネス」と、21世紀を担う人材に求められている国際的・地域的な課題を解決に導くための能力を養う5つのプログラムがあります。関心のある分野を深く学ぶ、あるいは複数のプログラムにまたがって幅広く学ぶなど、柔軟な学習が可能です。

複数プログラムの履修が可能

各自の関心や将来の目標に応じて複数のプログラムを履修することが可能です。各プログラムの科目は、互いに関連しているので、複数のプログラムを組み合わせて履修することで、理解が深まり、より高度な知識の修得が期待されます。また、より広く深く学ぶことによって、専門性プラスアルファの視点・考え方を身に付けることができます。

プログラム履修の認定

1プログラムにつき、最低36単位を修得することによって、そのプログラムで提供された専門科目を学修したことの認定が与えられます。これを領域認定と呼びます。国際学部の学生は、複数のプログラムについて領域認定を受けることが可能です。国際学部で学ぶ学際性の背景となる専門性も兼ね備えていることを示す領域認定は、就職時等において高評価につながるものと考えられます。

【国際政治・平和プログラム】

地球規模の問題を理解し、その解決方法を探る

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などのさまざまな地球規模の課題があります。これらの課題を理解し、解決方法を見出すための鍵となる国際関係の理論や歴史、そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。

●科目群

国際関係論	国際政治学	国際人権法	アメリカ政治論
国際関係史入門	比較政治学	紛争解決論	ヨーロッパ政治論
国際法	民族国家論	国際機構論	ロシア研究
国際協力論	開発政治論	国際関係史	東南アジア研究
国際社会論	平和研究入門	日本政治論	
国際安全保障論	平和研究	東北アジア政治論	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

比較政治学

さまざまな国の政治制度を比較することにより、国際政治、ひいては現在の世界が見えてきます。例えば民主主義の概念。国によって憲法の成り立ちも異なれば、考え方や権利の理解もさまざまです。各国の歴史、文化、政治などの背景を踏まえながら比較し、また日本における民主主義についても考察を深めます。

国際安全保障論

「多くの人が平和を望んでいるにもかかわらず、なぜ戦争は起こるのか」「安定的な安全保障システムは、どのようにすれば実現可能なのか」「どのようにすれば平和を実現出来るのか」といった問題を国際関係論や外交史の視点から分析します。

国際協力論

国際協力とは、なぜ、何を、誰が行うものなのでしょうか。そこにどのような問題があるのでしょうか。それについて、社会科学という視点から考えていきます。講義は、単なる知識を提供する場としてではなく、メーリングリストなどを利用しながら、議論を重ね、理解を深めることに重点を置いて進めていきます。

ヨーロッパ政治論

第二次世界大戦以降、ヨーロッパ諸国は絶えず曲折を経て、独特の政体である欧州連合(EU)を形成しました。欧州連合不安などのニュースを耳にしたことがあると思いますが、そもそも多様なヨーロッパ諸国が、なぜ統合に至る道を選んだのでしょうか。EUは何を目指し、そして今、どのような課題に直面しているのかについて、政治的な側面に注目しながら考えていきます。

【公共政策・NPOプログラム】

望ましい社会を創造するために、経済や社会のあり方を知る

望ましい社会を創造するために、人々の生活の基礎である経済や社会のあり方について学びましょう。私たち、市民、NPO(非営利組織)、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。社会のために働きたい方を歓迎します。

●科目群

公共政策・NPO入門	財政学	現代日本経済論	国際教育論
国際経済学入門	金融論	組織の経済学	アメリカ教育論
ミクロ経済学	現代社会と法	開発と環境	政治と経済
マクロ経済学	比較法制度	スポーツ文化経営論	地域政策論
非営利組織論	経済政策論	健康心理学	
基本統計学	交通論	教育経営学	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

開発と環境

「開発と環境」の狭間で現代世界は進むべき方向を模索しています。貧困を緩和し自然環境と調和する発展のために、途上国での地域社会、国際社会、そして私たちに何が求められているのかを考えます。また世界共通の課題である「開発と環境の調和」の根本条件として、現代の物質中心の世界観を問い直し、自然の命を尊重する世界観を紹介し、人間と自然が共生する生き方を考えます。

経済政策論

2人以上の人間が互いに影響を及ぼしながら行動する状況をゲーム的状況と呼びます。例えば学生と教員の関係、友人関係、相性の良くない人との接し方など。このゲーム的状況で人々はどのように行動し、その結果としてどのようなことが起こるかについて体系的に学ぶとともに、どのような政策が望ましいかについて考えていきます。

非営利組織論

最近話題になることが多いけれど、実態がよく知られていないNPO(非営利組織)。講義では、非営利組織がなぜ社会の中に出現するのか?どんな運営をどんな人たちがしているのか?経済的にどう成り立たせているのか?市民社会は世の中をどう変えようとしているのか?などについて考えます。また、環境、福祉、まちづくり、国際協力などの公共政策と非営利組織の関係についても学びます。

国際教育論

OECDによるPISA調査に見られるように、学力をめぐる国際競争もますます激しくなっています。国際教育論では、グローバルな視点から教育を把握するとともに、世界の国々や地域の教育について学びます。そして、教育に関する比較文化論的な観点を踏まえながら、持続可能で平和な社会づくりのための教育について考えます。

【多文化共生プログラム】

多様な考え方を持つ人々との共生について考える

世界は新たな発見に満ちた知のフィールドです。国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考え方を持つ人々と「共に生きる」を合言葉に、文化的対話の方法や可能性について理論と実践の両面から学びましょう。

●科目群

多文化共生入門	音楽人類学	社会文化思想史	フランス文化論	ラテンアメリカ研究
地域研究入門	エスニシティ論	共生の哲学	アメリカ文化論	アフリカ研究
テキスト分析法	ジェンダーとセクシュアリティ	マスマディア論	中国文化論	美術史
フィールドワーク論	労働と社会	メディア・リテラシー	日本研究	美学
比較文化論	異文化間交渉論	日本文化史	東アジア研究	
比較民族学	文化交流史	イギリス文化論	アラブ研究	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

エスニシティ論

グローバル化が進む現代において相互理解は不可欠であり、その起点となる“自分たちは何者か”が強く問われています。自分のアイデンティティを追求することは、自己理解であり、他者理解への第一歩。そのためにも正しい歴史観を学び、自己を通して世界をとらえ、さまざまな角度から情勢を考えていきましょう。

ジェンダーとセクシュアリティ

「男らしさ」「女らしさ」って何でしょう。この講義は、社会的・文化的につくられた“性差”について、これまでの自分の経験や歴史・映画・美術などを通して意識することから始まります。男女それぞれの立場からも考え、“性差”を時代の流れや文化によって異なるものとしてとらえることによって、多様なものの見方を養っていきます。

共生の哲学

「グローバリゼーション」と呼ばれる動きが進展する中、自分とは異質な他者と共に生き、共に社会を築くことが差し迫った課題となっています。私たちが自らの可能性を見通すためにはまず、そもそも「共生」とは何か、と問うべきでしょう。共に生きること自体を哲学的に問うことによって、他人の語る「共生」に踊らされることなく、自分自身が他者と共に生きていく道筋を探っていきましょう。

アフリカ研究

アフリカについての皆さんのおいは、「野生動物の楽園」それとも「飢餓と貧困、紛争の多発地帯」でしょうか。どちらも日本で広く流布しているものです。ところが、こうしたイメージはアフリカを私たちから遠ざけています。実はそのイメージは、私たちのものの見方の偏りから生まれているものです。同じ時代、同じ世界に生きているアフリカの人々の生活を共に感じていきましょう。

【言語・コミュニケーションプログラム】

コミュニケーション上の諸問題を学び、外国語の実践能力を高める

言語(日本語・外国語)を基本とするコミュニケーション上の問題(社会問題・外国語教育・外国語政策・言語比較、異文化理解など)について学ぶと同時に、外国語の実践能力の養成を重点的に行います。外国語学習に関心のある方を歓迎します。

●科目群

言語・コミュニケーション研究入門	言語比較論	フランスの文学と文化	英米文学特講
社会言語論	通訳技法論	イギリスの文学と文化	英文構成法
応用言語論	コミュニケーション技法論	英語学概論	英語コミュニケーション
日本語学・日本語教育学	Cross-Cultural Language	英文法論	英語聴解法
翻訳論	and Communication	英米文学概論	時事英語

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

言語比較論

外国語の習得には母語(日本語)についての理解が不可欠です。日本語はどのような言語なのか、日本の社会・文化とどうかかわっているのか…。中国から漢字が日本にどのように伝わり、変化し、日本語化してきたかを中国と日本の歴史などを関連させながら追究し、これから日本語がどのように発展していくかを考察していきます。

社会言語論

例えば日本語においても、広島、博多、沖縄など地域によって、表現やイントネーションが異なります。アメリカ英語においても男女でニュアンスが違ってくる場合があります。ビデオ等で実際の違いを聞き比べながら、あるいは各地域の言葉をリサーチ・比較し、ディスカッションしながら私たちの言葉がどのように構築されているのか学んでいきます。

フランスの文学と文化

フランスの文学と文化は、中世以来、ヨーロッパ文明の中心であり、日本の近代文学にも大きな影響を及ぼしました。文学や映像文化まで含めたフランス文化、さらに社会や歴史についての基礎的知識を身に付けるための科目です。文学を中心に広くフランス文化全般に触ることによって、価値観の多様化が進む現代社会において、均衡のとれた人間性を養うことについて考えていきます。

英米文学概論

誰かに自分の思いを伝えるためには、心を動かす言葉が必要。文学作品は心に響く言葉の宝庫。授業では、英米文学史に残る名作についての知識を得るだけでなく、文学作品を体で感じるために、リズムのよい詩を声に出して読んだり、シェークスピアの劇の一コマを演じたりします。遠い昔の作品が驚くほど新鮮で迫ってきます。詩や小説や劇を通じてコミュニケーション力や表現力を身に付けましょう。

【国際ビジネスプログラム】

経営学や経済学上の諸問題を学際的に思考する

これまでの経営学や経済学の領域でとらえられてきた問題を、
国内的・国際的な幅広い視野と、文化的・社会的・政治的環境との相互関係においてとらえ、
問題発生の予防にもつながる総合的な解決ができる問題解決型の学生を育成します。

●科目群

国際ビジネス入門	財務管理論	経営組織論	人的資源管理論
国際経営論	簿記論	企業行動論	テクノロジーマネジメント
マーケティング論	会計学	国際金融論	
経営史	公会計論	国際貿易論	
多国籍企業論	国際会計論	国際ビジネス法務	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

多国籍企業論

私たちが身近に接している多くの企業が今日では自国だけでなく、他国に生産拠点を持ち多国籍企業として活動しています。多国籍企業を取り巻いている文化・政治・経済環境などの影響を踏まながら、外国に工場を設置するメリット、文化や習慣の違いへの対応、複数国での社会貢献など、単なる国内経営とは異なる経営を考えてみましょう。

国際金融論

経済の自由化、グローバル化が進み、巨額のマネーが国境を越え、ネットワークを通じて取引されています。また円とドル、円とユーロなど通貨同士の交換も活発です。こうした国際金融の仕組みや市場取引にはリスクが伴うこと、またリスクを回避するにはどんな方法があるかを具体例を挙げながら一緒に考えてみましょう。

国際会計論

会計はビジネスの言語といわれます。現在、グローバル化を背景として、各国の文化、政治、経済と密接に結びつくビジネスの言語の中に、国際言語が急速に導入されています。本講義では、会計の国際言語がどのように作られているか、それを各國が導入する際に生じている問題は何かなどについて学びます。また、国際的企業人にとって不可欠な英文財務諸表に関する知識の修得も目指します。

マーケティング論

マーケティングとは、売れるものを作り、販売することです。つまり、販売はマーケティング活動の一部にしかすぎず、いかに売れるものを作るかはマーケティングの本質だと言えます。企業経営におけるマーケティングの役割を踏まながら、売れる仕組みを作るためのマーケティングの諸概念や戦略について考えてみましょう。

国際理解・少人数教育の重視

国際理解

海外学術交流協定大学との国際交流に加え、国際学部ではより多様な取り組みを通じて、国際理解を深めています。例えば、世界中から募った学生と一緒に平和について学び交流を行う「HIROSHIMA and PEACE」(44ページに詳細)、ドミニカ共和国にある広島東洋カープ・アカデミー・オブ・ベースボールへの学生派遣(49ページに詳細)、研究室での海外へのスタディツアーなど、さまざまな機会を提供しています。

また、国際学部では、1年次前期の必修科目である「国際研究入門」をはじめとして、カリキュラムの履修を通じて、多くの国々、地域の言語、文化、政治、経済、ビジネスを学ぶことにより、国際理解を深められるよう工夫をしています。

さらに、国際学部全教員に占める外国人教員、海外の大学院で学位を取得した日本人教員の割合がとても高く、国際学会、国際調査、国際プロジェクト等への参加経験が豊富な教授陣による指導と、そのネットワークを活用した海外研究者による学内での講演などを通じ、国際的な取り組みに触ることができます。

少人数教育の重視

1学年100名の定員に対し、約50名の教員を擁する国際学部では、少人数教育を重視しています。

大学では、高校までとは違い、「明白な正解」が必ずしもない中で、学修と研究を進めていくことが必要です。それを可能とするための基本的なトレーニングを行うのが、必修科目として開設されている「基礎演習I・II」と「発展演習I・II」です。1クラス10名程度で、1年次、2年次の2年間にわたり、読解力、分析力、記述力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、調査能力を高めるための演習指導を受講することができます。

3年次では専門演習(いわゆる「ゼミ')、4年次では卒業論文演習が必修となっており、研究室に所属して教員から指導を受け、各自の専門領域に関する学修と研究を行います。約50名の教員の中から、自身の関心に応じて専門演習、卒業論文演習を履修することができ、両演習とも教員1名と数名の学生で構成されることが多いです。なお、国際学部では複数の専門演習を選択でき、幅広い興味に応じながら、少人数で深く学ぶことを可能にしています。

Intensive Summer Course HIROSHIMA and PEACE

多様な国的学生と共に英語で平和を研究し、自己を表現する

「ヒロシマと平和」を英語で学び、討論

世界中から学生が広島市立大学に集い、「ヒロシマ」と「平和」を学び語り合う講座が国際学部にあります。それが夏期集中講座HIROSHIMA and PEACE(以下H&P)です。核について自分の国の教育では知られていない視点、非核と平和の知識を考察し、そして、被爆者からの証言を聞き平和記念式典にも参列する専門的かつ多彩な講座です。この講座の講義とディスカッションはすべて英語で行われます。

それぞれにとっての「平和」とは?

H&Pでは、毎年10カ国以上の学生が一堂に集い、知的な「楽しさ」を感じながら学びディスカッションをします。そこでは、国際政治、歴史、文学、哲学、異文化コミュニケーション、メディア、環境、紛争解決など幅広い視点からPEACEについて専門的に学びます。さらに、東日本大震災後は、原発の安全性についても取りあげています。ウェルカム・パーティーに始まり、講義の後にカフェで夜遅くまで語り合い、フェアウェル・パーティーなどを通じて、参加者の絆は深くそして強くなります。

留学でも得がたい「国際体験」

平成15年から平成26年までの受講生の国籍(日本を除く)は計44カ国(アメリカ、韓国、イギリス、シンガポール、アラブ首長国連邦、ドイツ、中国、スウェーデン、マレーシア、オーストラリア、タイ、ネパール、ポーランド、フランス、ノルウェー、インドネシア、ガーナ、ウガンダ、スペイン、ハンガリー、ニュージーランド、ベトナム、ポルトガル、リトアニア、ルーマニア、イタリア、デンマーク、クロアチア、キューバ、リビア、スリランカ、オランダ、バングラデシュ、イラン、ロシア、アイルランド、イスラエル、ナイジェリア、イラク、ジンバブエ、フィンランド、インド、パキスタン、フィリピン)です。また、H&Pは、本学の学術交流協定大学であるハワイ大学マノア校の正式科目であり、毎年数名の学生が交換留学生として受講します。同時に開講する大学院レベルのH&Pには、大学教授や外交官も受講したことがあります。これまでの世界中の受講生は、ネット上でコミュニティーを作り交流を続けています。過去の受講生はロンドンで開かれた反核集会で「同窓会」を開きました。広島の地で学び、語り合い、そして、平和の意識を共有していく海外研修や留学でも得がたい貴重な国際体験と言えるでしょう。

Preliminary English Training (PET) Program H&P本番に向けた英語討論能力の強化

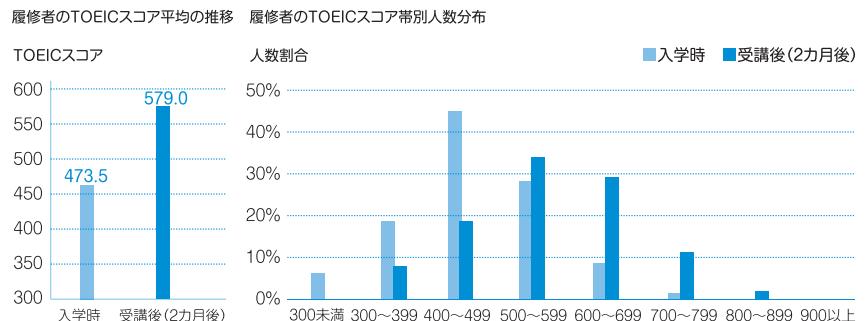
H&Pの国際学部受講生は、H&P本番前に約3ヶ月間の事前英語研修(PET)プログラムを受講します。このプログラムは、チーム・ティーチングによる徹底した指導で、英語の討論能力、表現力、それに広島や原爆、平和問題について英語で発信できる能力を高めます。また、PET期間中に終日英語濁けの研修(English Only Day)を実施し、平和問題に関する調査とその結果発表、討論会、英語によるレクリエーションなどを行っています。PETプログラムの「共通語」は英語のみ、1回の集中研修ながら参加者のH&P参加意欲と連帯意識を高め、本番に向けて確実なスキルアップにつなげます。

CALL英語集中

◎実践的な英語力を鍛える

語学センターや自宅のコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法、語彙を集中的に訓練するeラーニングによる授業です。通常の授業のように教員が週1回授業をするといった形態を取らず、指定された期間中(約2ヶ月間)、自分の都合のよい時間に自分に合ったペースで学習を行います。学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験し、英語力および学習効果を客観的に測定します。国際社会で活躍していくために必要不可欠な英語力を確実に高めています。

CALLを利用した効率的な学習で確実にTOEICスコアがアップ!



上のグラフは、「CALL英語集中」国際学部1年生履修者のTOEICスコア平均の推移とスコア帯別人数分布を示したもので、入学時に比べ、受講後のスコアは105.5点アップし、579.0点に伸びています。スコア帯別人数分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が大きく底上げされていることが分かります。TOEIC運営委員会発行の「TOEIC TEST DATA & ANALYSIS 2010」によると、全国の大学1年生のTOEICスコア平均は419点ですが、国際学部1年生のTOEICスコアは、入学時点ですでに大学1年生の平均を大幅に上回っています。また、全国の大学4年生の平均スコアは509点、企業が新入社員に期待するスコアは445点以上とされていますが、国際学部1年生は前期終了の時点でこれらのスコアを大きく上回る学習成果を上げています。

◎徹底した訓練の「CALL英語集中」と能力別少人数の「英語応用演習」

ネットワークを利用した「CALL英語集中」で、リーディングとリスニングを中心とした英語の訓練をほぼ毎日行うとともに、1クラス平均10名程度という、大学共通教育としては異例の少人数クラス「英語応用演習」で、徹底したスピーキングとライティングの指導を受けます。また「英語応用演習」では、クラスを能力別とし、それぞれのレベルに適したシラバスとテキストできめ細かい指導が行われます。

教員一覧

氏名	専門分野
	教授(学長) 青木信之 AOKI, Nobuyuki
	教授 赤星晋作 AKAHOSHI, Shinsaku
	准教授 飯島典子 IIJIMA, Noriko
	准教授 池田寛子 IKEDA, Hiroko
	准教授 板谷大世 ITAYA, Taisei
	教授 井上泰浩 INOUE, Yasuhiro
	講師 今江秀和 IMAE, Hidekazu
	教授 岩井千秋 IWAI, Chiaki
	教授 宇野昌樹 UNO, Masaki
	准教授 宇部匡司 URABE, Masashi
	教授 ヴェール, ウルリケ WÖHR, Ulrike
	准教授 王 英燕 WANG, Yingyan

氏名	専門分野
	教授 太田育子 OTA, Ikuko
	教授(副学部長) 大東和武司 OHTOWA, Takeshi
	准教授 大場静枝 OBA, Shizue
	教授 大庭千恵子 OBA, Chieko
	准教授 柿木伸之 KAKIGI, Nobuyuki
	准教授 カーソン, ルーク CARSON, Luke
	教授 金谷信子 KANAYA, Nobuko
	准教授 城多 努 KITA, Tsutomu
	教授 金 栄鎬 KIM, Yeongho
	准教授 倉科一希 KURASHINA, Itsuki
	准教授 ゴーマン,マイケル GORMAN, Michael
	教授 佐藤深雪 SATO, Miyuki

氏名	専門分野
	講師 シュラトフ, ヤロスラブ SHULATOV, Yaroslav
	准教授 城市真理子 JOICHI, Mariko
	教授 関村 誠 SEKIMURA, Makoto
	教授 曾根幹子 SONE, Mikiko
	准教授 高橋広雅 TAKAHASHI, Hiromasa
	准教授 田川 玄 TAGAWA, Gen
	教授 寺田英子 TERADA, Hideko
	教授 中島正博 NAKASHIMA, Masahiro
	准教授 西田竜也 NISHIDA, Tatsuya
	教授(学部長) 二村英夫 FUTAMURA, Hideo
	講師 古澤嘉朗 FURUZAWA, Yoshiaki
	准教授 武藤彩加 MUTO, Ayaka

※の教員は、平成27年度末に退職の予定です。

日銀グランプリへの挑戦

日本銀行が全国の大学を対象に実施している「日銀グランプリ」に二村ゼミは、毎年挑戦しています。金融に関する学習をベースにテーマを決めグループで議論し論文にまとめます。決勝戦に残った場合には、日本銀行の本店で、副総裁を中心とする審査員の前でプレゼンテーションし、質疑応答を経験します。平成21年度は入賞、平成22年度には、首都圏の国立大学・私立大学と競い合い、地方大学として唯一優秀賞を獲得しました。



プロジェクト一覧 Project List

多国籍企業スタディツアー

「多国籍企業の実際から学ぶ」。大東和ゼミでは、平成12年度以来毎年8月後半に10日前後の日程で、海外スタディツアーを行っています。最低2カ国は訪問し、日本も含め、少なくとも3カ国の文化・政治・経済の違いなどを多面的・複眼的に観察・理解できるようにしています。ゼミ生以外も参加するなど、他大学ゼミとの合同研修旅行で、毎年7、8大学のゼミが参加します。平成26年度は北から高崎経済大学、専修大学、神奈川大学、富山大学、関西学院大学、九州産業大学、そして本学の7大学合同で行いました。



中国理解プロジェクト

実際に中国語を使い、中国に行ってリアルな中国を知りたい!この要望に応えるために毎年国際学部中国語関連教員(欒・飯島)の主催でスピーチ大会や、中国のスタディツアーを実施しています。スピーチ大会では中国と中国文化に対するアツい思いを語る人も。スタディツアーは観光では味わえない中国の大学生との交流もあります。名所旧跡の探訪もあり、引率教員のマニアックな解説が楽しめます。



地域の農水産物を活用した特産品開発プロジェクト

平成24年度に島根県美郷町比之宮地区を訪ね、住民とともに希少淡水魚ホンモロコの池の整備を行うことから交流を始め、平成25年度には、地元が特産品化を目指す北米原産の果実ボーボーのジェラートの売り出しも手伝っています。平成26年度、山口ゼミでは、中国地方の中山間地発の特産品づくりについていろいろと試行錯誤する過程で、栽培が簡単で、食後の血糖値の上昇を抑える効果が期待される「キクイモ」を使った特産品づくりに食品加工会社(有)瀬戸鉄工(吳市)と共に取り組んでいます。



ロシア・スタディツアー

ロシア研究を専門とする教員が引率して、ロシア極東で短期研修を実施しました。参加者は、本学でロシア語を学ぶ学生がほとんどでしたが、中にはこれまでロシアと縁がなかった学生もいました。滞在中、学生たちは積極的にロシア語を学び、現地の事情について知識を深めました。また日本語を学ぶ現地のロシア人学生たちと交流し、親睦を深めました。日本では「近くで遠い国」と言われるロシアですが、学生たちは実際に現地を訪れて人々の優しさに触れることができました。学生たちにとって異文化交流の貴重な経験となりました。

広島東洋カープ企業インターンシップ

中米のドミニカ共和国にあるプロ野球選手の養成センターに半年間(事前研修1ヶ月、現地研修5ヶ月)、働きながらさまざまなことを経験することができます。現地の若手選手に日本語を指導したり、センター各部署の業務改善を提案して実施したりするなど、充実した日々を過ごすことができます。ラテン文化に浸り、発展途上国の現状を直接見た経験は、学生たちを明るくたくましくするでしょう。





安藤 実穂
 (高松市立高松第二高等学校出身)
 国際学部 国際学科 3年

自ら成長するために何か行動して、たくて、1年の時から「アイセック・ジャパン」の活動に参加しています。「アイセック・ジャパン」は、国内の学生を海外インターンシップに送り出すことを通じ、社会に貢献できる人材を輩出することを目的として活動しているNPO法人。研修先と学生のマッチング、準備、目標管理、現地での生活など研修中のサポート全般が主な仕事です。留学や語学研修と違い、学生が何かを得るだけでなく、受け入れ先にも成果を与えることが求められる点で、インターンシップはシビアです。しかしその分、社会と深くかかわることができ、実践的な経験を積むことができます。学生にとっては、大学4年間の中で貴重な時間を費やすわけですから、経験を最大化し、できるだけ多くの成長機会を与えることが、サポートする私の責任ととらえて取り組んでいます。

人の役に立つことの難しさと喜び。
 目に見えない価値を生み出すことで
 「幸せ」のお手伝いを。

Voices

2年の秋からダンス部で部長を務めました。部長であることが良いプレッシャーとなり自らの実力アップに一層励みましたし、対外的には「みんなに応援してもらえる部にする」ことが一番の目標でした。学内では練習場所の周辺を清掃したり、学外では広島市消費生活センターの消費者月間PRのショーの依頼を積極的に引き受けたり。これには社会貢献を通して頑張っている姿を見てほしいという思いもありました。個人的には台湾で開催された世界大会に参加したことが忘れない経験です。台湾の学生と友達になって向こうのダンス事情を聞くことができ、日本とは違う環境で大きな刺激を受けました。ダンスを通して学んだ「コミュニケーション力」を生かし、人と人とのつなぎ、その中で多くの人の価値観に触れて、自らの可能性を広げたいです。



河野 薫
 (広島県立安古市高等学校出身)
 国際学部 国際学科 4年

ダンスに国境はない。
 その気持ちを忘れず、人とつながり、
 多様な価値観を受け入れられる人に。

Voices



才上 真由子
（広島県立廿日市高等学校出身）
国際学部 国際学科 4年

2年から3年にかけて、オーストラリアと中国に留学しました。オーストラリアではレンタカーを借りて国立公園にドライブしたり、自然保護のボランティアに参加したり、語学学習以外にも、自然を愛する私には最高の体験ができました。中国では、現地の人の優しさと底抜けのフレンドリーさにまつわるエピソードが数え切れないほどあります。留学先の友人の「政治では日中関係は複雑だけど、私たちは大事な友達だよ」との言葉には涙がこぼれました。「紛争解決論」の授業で学んだ「何が正義で何が悪かを決め付けるのは簡単だけど恐ろしいことだ」という考え方方は私の根幹となっており、日ごろから多角的に物事を見るように心がけています。これからもたくさんの国を訪れ、世間にあふれる情報に惑わされず、自分の目で見て感じたことを大切にしながら広い視野を養いたいと思います。

「正義」と「悪」を決め付けない。
たくさんの国を訪れ、肌で感じた
温もりを大切にしたい。

Voices



江口 奈津美
（岡山県立岡山城東高等学校出身）
国際学部 国際学科 4年

入学当時は文化や国際政治に興味があったのですが、各分野の先生が入れ替わりで授業をしてくれる必修科目を受けた時に、現在のゼミの教授が話してくれた「ゲーム理論」がとても面白く、そこから「理論経済学」に夢中になりました。日常的な人間関係や国際問題にも応用できるもので、大変興味深い分野です。市大は国際学部だけでも多彩なプログラムがあり、情報科学部や芸術学部とも共存しているため、実にさまざまな夢を持つ友人に出会うことができます。「国際協力に参加したい」「バックパッカーとして旅したい」など、夢に向かって懸命に努力し、熱く語る友人たちと共に過ごしていると、知らない世界に引き込まれ、視野がどんどん広がります。私の人生に刺激をくれ、いつも支えてくれる友人たちのために、私ができることは全力を尽くしてお手伝いし、恩返しをしたいと思っています。

Voices

多方面にアグレッシブに活動する
友人を通して、たくさんの夢を共有できる
刺激的な環境。



情報科学部

Information Sciences



矢野 卓雄
YANO Takuo
情報科学部長

情報科学を駆使して世界に貢献しよう！

情報科学無くしては世界が機能しないと言われるようになつて長い年月を経ていますが、情報科学は基礎研究の分野でも、またそれらの応用の分野でもますます加速し発展を遂げています。

本学部では自立的学習に重きを置き、

情報科学を勉強するための充実した設備と

優秀な教授陣の丁寧で的確な指導により、

情報科学分野はもとより、

さまざまな分野で活躍する力を身に付けることができます。

将来の予測が困難な現代、

さまざまな問題に対しても自分で考え、

答えを見つけ出していく力を身に付けることが大切です。

共に学び、情報科学を駆使して世界に貢献しましょう。





高度情報化社会を支える「情報通信技術」の分野をリードする能力を養う

求める人物像

Admission Policy

「情報科学の分野で自分の適性を見つけ、十分な学力や技術力を身に付けて、科学技術の進歩に貢献することを目指す気概がある人」の入学を期待しています。具体的には、以下のような人を求めています。

1

情報科学に興味があり、
情報科学をより深く学びたいと考えている人

2

情報科学の基礎である数学・理科・語学が得意な人

3

困難な問題に挑戦し、
解決しようとする意欲と熱意を持つ人

教育方針

Principles

高度情報化社会を支える「情報通信技術」(ICT)に関する研究開発を担う研究者および専門技術者を養成するため、以下の教育目標を定めています。

学生が興味関心、適性に基づいて専門分野を選択できる仕組みの提供

入学後、情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を選択できる仕組みを提供します。

情報科学に必要な基礎学力の育成

情報科学を専門的に学ぶ上で基礎となる数学、プログラミング、英語などの学力を十分身に付けます。

情報通信技術を活用できる技能の養成

先端的な情報通信技術(ICT)を知的生産の道具として活用できる能力を身に付けます。

専門分野に関する体系的な知識の修得

教育内容を厳選、体系化した上で、効果的な専門教育を行います。これにより、専門分野に関する体系的な知識を修得します。

体験的・総合的学習を重視した教育プログラムの実施

21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、実習、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した教育プログラムを実施します。

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育の実施

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育を実施します。少人数教育を推進するとともに、習熟度別クラス編成、グループ学習などを導入します。

年次チャート、学部共通科目



* 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時にあります。
 * 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

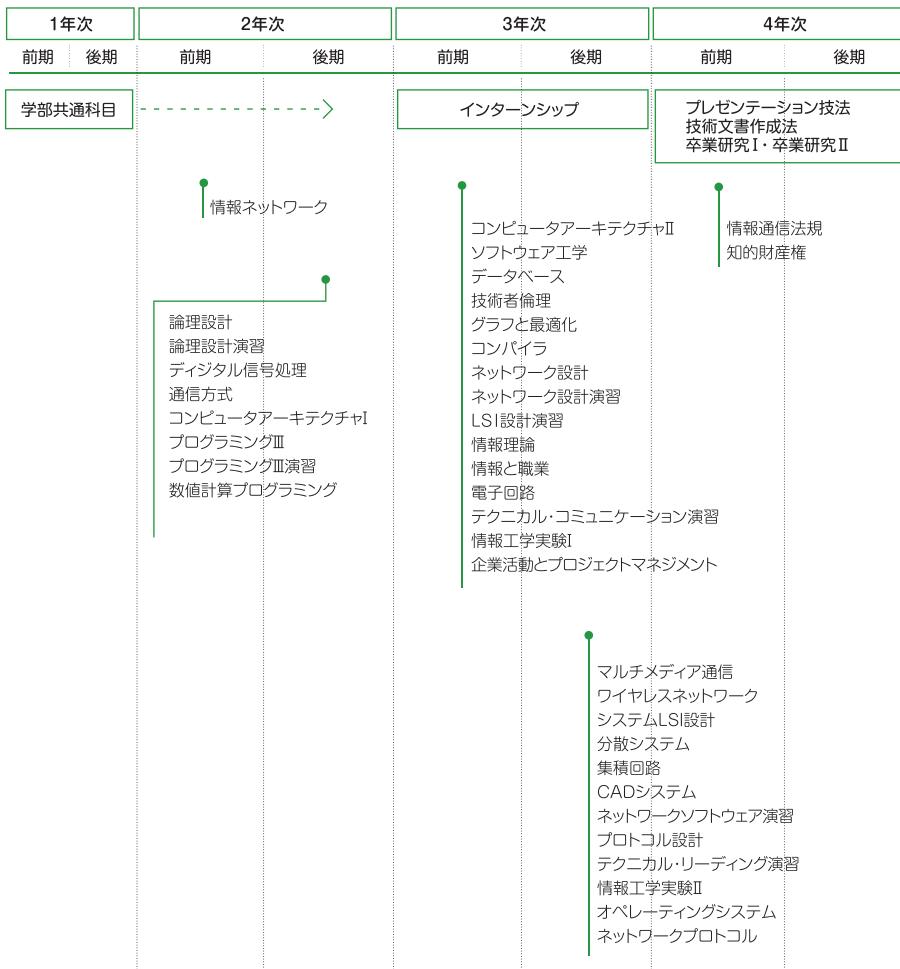
» 情報工学科

●コンピュータコース ●ネットワークコース

次世代を見据えた情報環境の創造を、ソフト&ハードの両側面から追求

情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に教育研究します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境に対応できる人材を育成します。

III 教育課程



* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

コンピュータコース » 情報工学科

コンピュータのハードウェア、ソフトウェアなどに関する基礎的な知識を学び、システムソフトウェア、システムLSI、組込みシステムなどの高度情報化社会基盤を支える情報システムおよび新しいコンピューティング環境に対応できる優れた人材を育成します。そして、卒業後、コンピュータコースで身に付く基礎能力・基盤技術によりスーパーコンピュータの設計・開発、コンピュータ能力を引き出した上でしか実現できない娯楽、生活インフラ、医療、自動車などに関する新しいサービスを提供するシステムの設計・開発、日常生活を支えるサーバーのような大きなコンピュータから身に着けるような小さなコンピュータ活用製品までのソフトウェア/ハードウェアの設計・開発、さらには社会インフラや安全が優先されるシステムの設計・開発などで広く社会で活躍しています。

●研究室、研究テーマ

コンピュータデザイン

コンピュータのおかげで便利になった世の中。それだけに、コンピュータが間違つたり動かなくなると社会生活に支障が出てきます。研究室では、誤動作や障害を未然に防ぎ、安全で安心して使えるコンピュータとその作り方について研究します。

論理回路システム

コンピュータのハードウェアとソフトウェアは論理回路・論理設計の理論に基づいて統一的に議論することができます。本研究室では、論理回路学とVLSI設計技術に基づいて、コンピュータに関する最先端の研究課題を取り組んでいます。

コンピュータシステム

膨大な計算を行うスーパーコンピュータから、自動車や携帯電話・家電製品に使われる組込みシステムまで、各種のコンピュータシステムを利用する基盤となるハードウェア・ソフトウェアの基礎技術を研究します。

コンピュータアーキテクチャ

速くて使いやすい新しいコンピュータを作る研究をします。ハードウェアに可変構造のデバイスを利用した新しいアーキテクチャや、そのハードウェアが使いやすくなるようなソフトウェアについて研究します。

ネットワークコース » 情報工学科

インターネット、モバイル通信、デジタル放送などに関する基礎的な知識を学び、いつでもどこでも利用可能で、生活に密着した情報ネットワークおよび次世代のメディア協調型情報ネットワーク社会を支える基盤技術の高度化に対応できる優れた人材を育成します。そして、卒業後、ネットワークコースで身に付く基礎能力・基盤技術により有線・無線通信システムの設計・開発、インターネット通信技術やP2P通信技術を活用したゲームやSNSなどの新しいサービスの設計・開発、また、それらの新しいサービスを効率よく運用できるようにするためのサーバシステムの設計・開発、さらには身近にあるさまざまなものernetワークに接続し、新しいサービスを実現するためのシステムの設計・開発など幅広く社会で活躍しています。

●研究室、研究テーマ

ネットワークソフトウェア

各モバイル端末が端末そのものの機能だけでなくデータ中継機能の役割も果たし、無線だけでネットワークを構成するアドホックネットワークの研究を行い、登下校時の児童の見守りなどに応用しています。

情報ネットワーク

情報ネットワークに関する基盤技術、そのシステムおよびネットワーク全体を対象としたさまざまな技術について教育研究を行っています。

環境メディア

テレビ受信機、携帯電話、カメラ、コンピュータなどの情報機器を用いて、実際にネットワークを構築し運用しています。このネットワークにより、大気層や電離層における電波伝搬特性など、自然電磁現象の解明にチャレンジしています。また安心・安全な社会を目指し、電磁波の特徴を用いて、人や自然環境をモニタリングする手法を研究しています。

インターネット工学

全世界に広がるインターネットを研究材料としています。インターネットで使う新たな通信手順の設計をしたり、コンテンツの流通や映像・音声を伝送するシステムを開発し、実際にインターネットでそれを使ったりします。移動しながらの通信手順や広域センサーネットワークも開発中です。

知能工学科

●知能ソフトウェアコース ●知能メディアコース

人間の知的なコミュニケーションや情報行動を支援するシステムの構築

知能工学科では知識基盤社会における人間の知的なコミュニケーション行動や情報行動を支援する高度な知能情報システムの技術者および研究者を育成するために、知能ソフトウェアコースと知能メディアコースの2コースを設置しています。また、両コースに共通な教育として、コンピュータグラフィックス、データベース、デジタル信号処理、最適化理論、情報理論、数理論理学、グラフ理論概論などが開設されています。

III 教育課程

1年次	2年次		3年次		4年次		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学部共通科目	>		インターンシップ		技術英語演習II プレゼンテーション技法 技術文書作成法 卒業研究I・卒業研究II		
				計算論 データベース 技術者倫理 データマイニング コンピュータグラフィックスII コンパイラ 情報セキュリティ 情報理論 記号処理プログラミング 情報と職業 人工知能 パターン認識 知能工学実験I 企業活動とプロジェクトマネジメント		情報通信法規 知的財産権	
				コンピュータグラフィックスI グラフ理論概論 数理計画法 情報ネットワーク オペレーティングシステム 数理論理学 デジタル信号処理 数値解析 プログラミングIII プログラミングIII演習		最適化理論 感性情報処理 技術英語演習I 機械学習 医用画像処理 情報検索 画像情報処理 自然言語処理 知能工学実験II ソフトウェア工学概説 バイオインフォマティクス	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

知能ソフトウェアコース ≫ 知能工学科

人間の知的能力をコンピュータで実現するため、人間の脳に対応する知識・思考・学習などに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。例えば、社会の中の非常に多くのデータから重要な知識や規則を抽出する、問題解決のためのさまざまな解決方法の中から効率的に適切な解を見つけ出す、コンピュータ自身が自分で問題解決のための知識を獲得する、人間の持っている感覚や経験をコンピュータで実現して社会に役立つ有用な規則を見発すことなどを対象としています。そのため、これらの知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、知的情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学びます。知能ソフトウェアコースでは知識基盤社会に重要な知能情報システムを開発できる人材を育成します。コースにおける学習を通して知識基盤社会に対応できる知識や技術を習得し、プログラム設計、データアナリスト、Webデザイナー、システムエンジニア、システム開発やサーバー設計・構築などの仕事に従事する能力を身に付けることができます。卒業後の進路としては、情報通信関連企業、電機メーカー、ソフトウェア開発関連企業、Webサービス企業、情報処理サービス企業、電力系企業などがあります。

●研究室、研究テーマ

知識工学

人工知能やVRの技術を基に、学校や企業での教育や学習活動を支援するための知的学習支援システムやeラーニングの研究を行っています。また、ヒトの感性と知識を結び付ける感性工学の研究も行っています。

データ工学

文字・数値・テキスト・音声・画像などで表現されるデータを用いて、人間の知識創造活動を支援する情報システムの構築に挑戦しています。特に、ビッグデータやデータベースからの知識発見、マルチメディアデータ処理、分散並列処理、視覚的な情報コミュニケーション、情報マネジメント、ゲノミクス情報処理、ソーシャルメディアなどに注目しています。

| 知能システム

生物の進化や昆虫の群行動などに基づく自然コンピューティング、脳神経系に基づくニューラルネットワークなどに関する研究を中心に、知的モデルや計算アルゴリズムの提案、知的システムの構築などを行っています。

機械學習

機械学習とは、人間が自然に行っている学習と同様の機能をコンピュータ上で実現するための技術のことです。機械学習手法を用いた特徴的パターンの発見や、データマイニングへの応用について研究を行っています。

知能メディアコース» 知能工学科

人間の知的能力の中でも人間の目や耳などに対応する人間の感覚や知覚、人間とコンピュータ間のコミュニケーションなどに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。具体的には、画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理を中心とします。例えば、画像や映像から物体を抽出・計測する、実際の映像と違和感のない人工的な映像を作り出す、人間とコンピュータが自然な言語で会話する、データなどから有用なパターンを認識することなどを対象としています。そのため、これらのメディア情報処理技術に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、パターン認識、自然言語処理などを学びます。知能メディアコースでは知識基盤社会に重要なメディア情報処理システムを開発できる人材を育成します。コースにおける学習を通して情報通信社会に対応できる知識や技術を習得し、プログラム設計、データアナリスト、Webデザイナー、システムエンジニア、システム開発やサーバー設計・構築などの仕事に従事する能力を身に付けることができます。卒業後の進路としては、情報通信関連企業、電機メーカー、ソフトウェア開発関連企業、Webサービス企業、情報処理サービス企業、電力系企業、映像・音響機器メーカーなどがあります。

●研究室、研究テーマ

画像メディア工学・CG

カメラでとらえた実物体の画像から、物体のかたち・動きや表面の質感などを計測・認識する研究を行っています。また、映画やゲームでおなじみのコンピュータグラフィックスを、より美しく、より高速に描くための手法や、原爆ドームに被爆前の建物を重ね合わせて見せるような拡張現実感・複合現実感技術の開発にも取り組んでいます。

医用画像工学

X線CTやMRIなどの医用画像を対象とした情報の処理や解析により、(1)医療の現場で必要とされている「診断と治療を支える技術」、(2)医学研究や未来の医療に貢献する「生体の構造と機能の解明を支える技術」の研究開発を行っています。

言語音声メディア工学

人と機械や、異なる言語を話す人同士での自然で豊かなコミュニケーションを実現するために、音声で対話するCGキャラクターや機械翻訳、大規模な文書集合から必要な情報を言語で検索する技術などに取り組んでいます。

知的メディア工学

テキスト、画像、データなどのさまざまなメディアにおける知識の獲得、知識を適用した知識情報処理の手法の開発や応用、コンピュータが自分で協調して学習を行うマルチエージェントの研究を行っています。また、データを圧縮したり、通信で起こる誤りを訂正したりするための、より効率的な技術について研究しています。物理的な手法を系統的に適用することによって、情報科学に新しい視点を開くことを目指しています。

パターン認識

パターン認識とはデータに潜む規則性を見つけ出すことであり、文字認識や音声認識に応用されています。ここではビデオ、環境音、テキストなどの(時)系列データを対象に、データに潜む規則性を計算機に自動発見させる機械学習の研究を行っています。

»システム工学科

●人間・ロボット共生コース ●インターフェースデザインコース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図りユビキタス社会を実現

システム工学科では、人間が安全安心快適便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要なロボットを開発するためのシステム化技術ならびに、人間がロボットや情報機器をより快適に使うためのインターフェースデザインに関する技術を広範囲に教育研究します。

III 教育課程

1年次	2年次	3年次	4年次
前期	後期	前期	後期
学部共通科目	→	インターンシップ	プレゼンテーション技法 技術文書作成法 卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ
	常微分方程式	電子回路Ⅱ コンピュータグラフィックスⅡ メカトロニクスⅡ ロボティクスⅠ 通信工学Ⅰ 最適化手法 技術者倫理 制御工学 数値計算法 偏微分方程式 ソフトコンピューティング 情報と職業 人間工学 システム工学実験Ⅰ 企業活動とプロジェクトマネジメント	情報通信法規 知的財産権 外書講読演習Ⅱ
	機械力学 電子回路Ⅰ コンピュータグラフィックスⅠ メカトロニクスⅠ 応用幾何学 オブジェクト指向技術 情報ネットワーク 情報理論 電気電子計測 ソフトウェア工学概論	ロボティクスⅡ 通信工学Ⅱ ディジタル制御 現代制御理論 リアルタイムシステム 音響システム工学 情報セキュリティ概論 ヒューマンインターフェース 外書講読演習Ⅰ システム工学実験Ⅱ	

* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

* 掲載した内容は、平成27年4月時点での学科・コースおよび研究室の編成です。平成28年に若干の変更が予定されています。

人間・ロボット共生コース » システム工学科

深刻な少子高齢化社会を迎える我が国では、労働者人口の激減に対応するため、人間社会のあらゆる場面でロボットが活躍する時代がもうすぐ到来します。本コースではこのような「人間・ロボット共生社会」の到来を念頭に、家庭・介護福祉施設・病院・オフィス・工場等で活躍するさまざまなロボットを開発するためのシステム化技術と、それらの基礎学問である機械力学・電子回路・メカトロニクス・制御工学・ロボティクス・プログラミング・数理科学等に関する教育・研究を行います。ロボットを教材にソフトとハードの両方を習得することができ、自動車・機械・IT・ネットワーク機器等のメーカーをはじめ、さまざまな情報技術業界で即戦力として活躍可能なエンジニアを育てます。

●研究室、研究テーマ

メカトロニクス

主として、機械分野を対象とした制御システムの研究開発を行っています。具体的には、筋肉運動の解析と機械への応用、福祉機器への応用を目的とした空気圧システムの開発、各種のシステムのモデリング、シミュレーション、開発を行っています。

知的制御システム

制御と生体計測をキーワードに、自動車の全自動後退駐車システム、視線情報を用いた安全運転支援システム、ドライバーの運転訓練システム、救急車で傷病者を迅速かつ安全に搬送するための総合システムなど、人と環境に優しいシステムの研究・開発に取り組んでいます。

ロボティクス

テレビゲーム、携帯電話、楽器、家具等日常生活のさまざまな道具と連動するロボットシステムとその要素技術(移動ロボット、物体操作、メカトロニクス、ネットワーク、ヒューマンインターフェース等)の研究開発を進めています。また、医療介護福祉ロボットの応用開発にも取り組んでいます。

数理科学

高速コンピュータ計算を用いた数値解析学、自然現象に関する確率過程論、代数多様体を研究対象とする代数幾何学、因子分析法の数理的基礎に関する数理統計学、数理システムと空間配置の幾何学など、各教員が個々の分野の研究に取り組んでいます。

インターフェースデザインコース » システム工学科

世の中に無数に溢れる機械や情報機器は誰でも使えるほど優しい設計にはなっていません。本コースでは、人間・機械・コンピュータを有機的に結び付けることで、「いつでも、どこでも、だれでも」が使うことができるよう優しいインターフェースの実現を目指し、それに必要なデザイン技術を学びます。特に、障害者・弱者・高齢者支援、環境(自動車など)への応用を狙い、ヒューマンインターフェース・人間工学・音響工学・リアルタイムシステム等の基礎技術を習得します。それらを基に、リアルな音質に迫る人工的音響空間のデザイン、直感的で効率的なコンピュータ操作インターフェースデザイン、情報機械を効率的に動かすためのプログラムデザイン等の研究を進める中で、技術とデザインの両者を理解する骨太な人材育成を行っています。

●研究室、研究テーマ

通信・信号処理

さまざまな媒体を伝送路に用いる情報通信システム、量子力学を基にした通信・信号処理回路、インテリジェントな通信方式に関する研究を行っています。

組込みデザイン

機器に組み込まれたコンピュータシステムである組込みシステムの設計技術、分散協調システム、情報セキュリティ、組合せ最適化、情報推薦技術などの研究に取り組んでいます。

サウンドデザイン

道具、機械、環境などをヒトに適したものに設計する人間工学、音響心理や音響工学の基礎から応用までを学ぶ音響システム工学などの教育を展開。基礎科目で学んだ知識に基づき、ヒトの音響・視覚情報に対する感じ方の研究やインターフェースの研究を行っています。脳科学や音響心理学からもサウンドデザインにアプローチします。

システムインターフェース

コンピュータを活用して、人間の創造力や発想力を高め、人間の知的作業を支援するシステムを構築し、インターネット上の情報発見やコミュニケーションの促進、オンライン学習環境の構築と学習効果の増幅を目指した研究を行います。

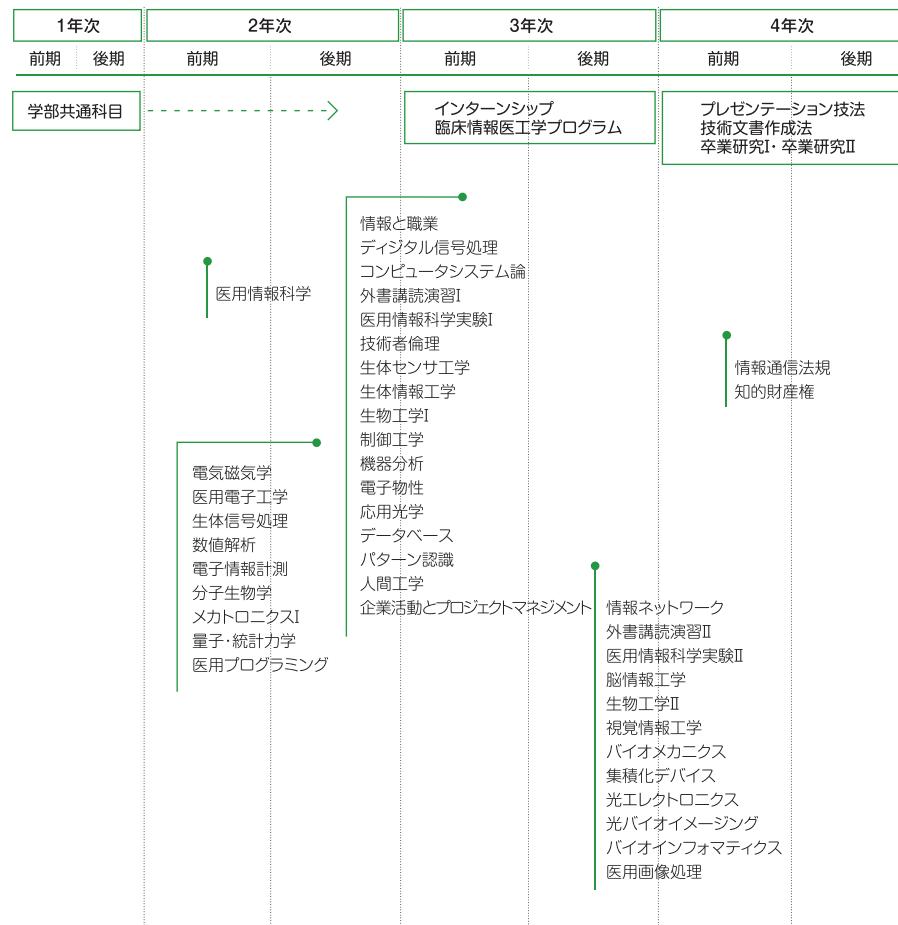
» 医用情報科学科

●医用情報コース ●光・電子計測コース

ICTに関する十分な基礎教育とそれを超えた学際色豊かな専門教育

医用情報科学科では、豊かで安心・安全な社会の実現を目指し、情報通信技術(ICT)に関する基礎知識を修得し、その基礎の上に医用情報、生体情報、光・電子計測といったICT融合領域の専門知識・技術を学ぶことで、医療、生命、環境といった現代社会に係る諸問題に既存の学問体系の枠を越えて取り組むことのできる人材の育成を目指します。

III 教育課程



※ 臨床情報医学プログラムで開講される医療系科目(医歯薬保健学I、医歯薬保健学II、医療系実習)を卒業要件の単位として認定します。
※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

医用情報コース » 医用情報科学科

情報科学を医療へ応用した診断治療や情報科学をはじめとする工学分野と医学分野を融合した新しい医用情報科学という学問領域について学びます。医用情報、生体工学、電気電子工学、生物学等の幅広い領域にわたる知識や技術を体系的に習得します。さらに、実験や実習を通して、医用情報科学に関連する基礎技術を組み合わせて新しい技術や学問を自ら応用展開できる能力を養成します。また、大学間連携事業である「臨床情報医学プログラム」の科目を卒業要件単位科目として履修することができ、医療現場での実践的な知識を身に付けることができます。広い視野と学際的・融合的な思考能力を生かし、情報工学関連分野のみならず医療機器や電気電子機器・自動車等の広範な分野で活躍できる人材を育成します。

●研究室、研究テーマ

生体理工学

人間の脳機能をシステムとして理解する研究や脳機能計測解析システムを開発する研究を行っています。さらにその研究成果を応用展開し、脳機能の診断・治療・リハビリを行う医療機器および自動車の安全性・快適性を高める技術の開発を行っています。

バイオシステム工学

エネルギー、環境、食糧、生命科学など現代社会が直面している諸問題に対して、微生物からヒトまで広く生物を対象として、生命現象の解明とICT(情報通信技術)への応用、ICTのバイオテクノロジーへの活用など、ICTと生命科学が連携した領域の研究を行っています。

医用ロボット

現代医学で未知なる領域とされている生体器官内部での機能の解明を目的として、マイクロ・ナノメートルサイズで機能する「マイクロマシン」の開発と、その医用応用などに関する研究を行っています。マイクロマシンを操ることで体内の謎解きに挑むとともに、健康で豊かな社会基盤の構築を目指します。

医用情報通信

病気や健康状態を連続的にチェックできるシステムの研究と、それに必要な生体信号処理、診断アルゴリズム、通信方式、ネットワーク技術、セキュリティ技術などを研究しています。情報通信技術を利用して、個人が、いつでもどこでも先端医療とつながっている社会の実現を目指します。

光・電子計測コース 》 医用情報科学科

情報科学、電子工学、自然科学(物理学、化学、生物学)の学際・融合領域の教育研究を行い、「はかる(計測)」と「つくる(ものづくり)」を合言葉に、医療や環境といった人類に係る諸問題に既存の学問体系の枠を越えて取り組むことのできる人材の育成を目指します。このコースでは、医療電子機器の基礎となる電気回路、電子回路、情報工学、通信工学等の基礎技術を習得します。また、生体・生物を構成する要素を原子・分子から器官レベルまで体系的に学習し、生体から発信される物理・化学情報や信号を計測できる次世代医用計測技術を開発できる能力を養成します。卒業後には、情報通信関連企業を始めとし、医療機器、電気・電子機器、自動車製造関連企業など幅広い分野で活躍できます。

●研究室、研究テーマ

光システム計測

さまざまな生命および自然現象の謎に、情報科学(機器制御、データ転送・解析など)と物理・化学的手法を融合した最先端の光計測技術で迫ります。合言葉は「見えないものを見てやろう!」です。現在は、免疫細胞の活動や大気化学・宇宙化学に関与する分子の性質などを調べています。

集積回路デバイス

ICT社会を支える集積回路およびそれを構成するトランジスタなどの半導体デバイスを対象として、デバイス構造と性能の関係を説明するために必要な情報科学と物理学を基に、デバイス自体とそれを組み合わせた回路に関する改良と新原理提案を含む研究を行っています。

情報物性工学

医療機器のための光・電子センサー材料やコンピュータに関わる新素材を探求・創製することを目的とし、物性的見地から、主に「多孔質シリコン」「半導体量子ドット」「磁性半導体」などに関する研究を行っています。

※掲載した内容は、平成27年4月時点での学科・コースおよび研究室の編成です。平成28年に若干の変更が予定されています。

臨床情報医工学プログラム

医情報系、医療系、医工学系、医療理工学系の知識を身に付けた人材の育成を行います。

●広島市立大学・広島大学・広島工業大学・広島国際大学連携

臨床医学・医療分野の発展とその社会貢献には旧来の医療系研究の手法だけでは不十分で、飛躍的に進歩している情報学・工学分野との連携が必須です。本プログラムでは学士課程、大学院課程における医療系・情報系・工学系の異分野が融合した教育・研究の展開から、「臨床情報医工学」の確立を目指しています。カリキュラムでは、医療系・医情報系・医工学系・医療理工学系の内容を含んだ講義を提供するとともに、豊富な臨床実習や特別演習による能動的学修環境を提供し、臨床現場での実践力を備えた人材を育成します。

●カリキュラム

本学の学生は情報科学部で学ぶ内容に加え、医療、医工学、医療理工学の知識を身に付けることができます。

共通科目

- ・早期医療体験実習
- ・臨床情報医工学特別演習

実際の医療施設等での実習により目標を明確にし、合同合宿研修等により能動的に問題解決する能力を養います。

医情報系科目 一 広島市立大学担当

- ・医用情報科学
- ・生体信号処理
- ・医用プログラミング

医療と情報科学の融合領域について学ぶとともに、生体信号処理や医用画像処理といった医用情報処理について学びます。

医療系科目 一 広島大学担当

- ・医歯薬保健I
- ・医歯薬保健II
- ・医療系実習

医歯薬保健学の基礎的事項を広く学び、医療と情報系・工学系の関係についても学びます。また、医療現場での実習を通して、知識を経験として得ることができます。

医工学系科目 一 広島工業大学担当

- ・医療機器の原理と構造
- ・医用電子工学
- ・臨床医工学実習

電気・電子回路の基礎知識を学び、学んだ知識が実際にどのような機器に利用されているか知ることができます。さらに実験を通して医療機器の設計や動作について学びます。

医療理工学系科目 一 広島国際大学担当

- ・保健医療学概論
- ・診療技術論
- ・医療理工学演習

医療職種、医療倫理、チーム医療、生命システムについての基礎を学びます。また、臨床放射線科学、臨床工学、臨床検査学、救急医療について講義・演習を通して学びます。

●遠隔講義システム

他大学の講義を受講するに当たっては、情報科学部に設置されている遠隔講義システムを利用します。他大学の講義を、他大学に行くことなく受講することができます。

●学生交流

学外にも共に学ぶ仲間を作ることで、学生生活がより有意義なものになります。

教員一覧

氏名	所属学科／専門分野
 准教授 青山正人 AOYAMA, Masahito	知能工学科 医用画像診断支援
 特任助教 浅井智朗 ASAII, Tomoro	知能工学科 数学、 非線系解析
 助教 厚海慶太 ATSUUMI, Keita	システム工学科 計測制御工学
 教授(情報処理センター長) 石田賢治 ISHIDA, Kenji	情報工学科 情報ネットワーク
 教授 石光俊介 ISHIMITSU, Shunsuke	システム工学科 音響工学
 教授 石渡 孝* ISHIWATA, Takashi	医用情報科学科 レーザー化学
 准教授 市原英行 ICHIHARA, Hideyuki	情報工学科 VLSI設計自動化
 助教 稻木雅人 INAGI, Masato	情報工学科 VLSI設計自動化
 助教 稻葉通将 INABA, Michimasa	知能工学科 エージェント、 データマイニング
 助教 井上伸二 INOUE, Shinji	情報工学科 ネットワーク ソフトウェア
 教授(キャリアセンター長) 井上智生 INOUE, Tomoo	情報工学科 ディベンドブル コンピューティング
 准教授 井上博之 INOUE, Hiroyuki	情報工学科 コンピュータ・ ネットワーク
 助教 岩垣 剛 IWAGAKI, Tsuyoshi	情報工学科 デジタルシステムの 設計とテスト
 教授 岩城 敏 IWAKI, Satoshi	システム工学科 ロボティクス

氏名	所属学科／専門分野
 准教授 岩田一貴 IWATA, Kazunori	知能工学科 数理工学
 准教授 岩根典之 IWANE, Noriyuki	知能工学科 学習科学、 知識システム
 准教授 内田智之 UCHIDA, Tomoyuki	知能工学科 データマイニング、 機械学習
 准教授 大田知行 OHTA, Tomoyuki	情報工学科 ネットワーク ソフトウェア
 講師 岡本 勝 OKAMOTO, Masaru	知能工学科 知識工学、 学習システム
 講師 岡山友昭 OKAYAMA, Tomoaki	システム工学科 数値解析、 コンピュータ計算
 准教授 小野貴彦 ONO, Takahiko	システム工学科 制御工学、 人間工学
 講師 小畠博靖 OBATA, Hiroyasu	情報工学科 通信プロトコル、 衛星通信
 教授 角田良明 KAKUDA, Yoshiaki	情報工学科 ネットワーク ソフトウェア
 講師 神尾武司 KAMIO, Takeshi	システム工学科 計算機工学
 講師 上土井陽子 KAMIDOU, Yoko	情報工学科 分散コンピューティング
 講師 川端英之 KAWABATA, Hideyuki	情報工学科 システムソフトウェア
 助教 川本佳代 KAWAMOTO, Kayo	システム工学科 教育工学
 教授 北上 始 KITAKAMI, Hajime	知能工学科 ビッグデータ マイニング

氏名	所属学科／専門分野
 教授 北村俊明 KITAMURA, Toshiaki	情報工学科 プロセッサ アーキテクチャ
 准教授 釣宮章光 KUGIMIYA, Akimitsu	医用情報科学科 生物機能工学
 講師 串田淳一 KUSHIDA, Jun-ichi	知能工学科 進化的計算
 助教 窪田昌史 KUBOTA, Atsushi	情報工学科 システムソフトウェア
 准教授 黒木 進 KUROKI, Susumu	知能工学科 マルチメディア データベース
 助教 黒澤義明 KUROSAWA, Yoshiaki	知能工学科 発話意図理解
 講師 桑田精一 KUWATA, Seiichi	医用情報科学科 物性理論
 講師 香田次郎 KOHDAA, Jiro	医用情報科学科 生物工学
 講師 河野英太郎 KOHNO, Eitaro	情報工学科 情報ネットワーク
 准教授 小崎貴弘 KOSAKI, Takahiro	システム工学科 制御工学
 助教 小作敏晴 KOSAKU, Toshiharu	システム工学科 機械工学
 助教 児島 彰 KOJIMA, Akira	情報工学科 システムソフトウェア
 教授 小林康秀 KOBAYASHI, Yasuhide	システム工学科 システム制御工学
 特任助教 近藤寛子 KONDAA, Hiroko	医用情報科学科 計算生物物理学
 講師 齋藤夏雄 SAITO, Natsuo	システム工学科 代数幾何学
 助教 齊藤充行 SAITO, Mitsuysuki	システム工学科 最適制御工学
 教授 佐藤 学 SATO, Manabu	システム工学科 数理統計学
 助教 佐藤康臣 SATO, Yasuomi	システム工学科 ソフトウェア工学
 教授 式田光宏 SHIKIDA, Mitsuhiro	医用情報科学科 医用マイクロ工学、 マイクロマシン工学
 准教授 島 和之 SHIMA, Kazuyuki	システム工学科 ソフトウェア工学
 講師 新 浩一 SHIN, Koichi	情報工学科 電波工学
 准教授 末松伸朗 SUEMATSU, Nobuo	知能的工学科 パターン認識、 機械学習
 助教 鈴木祐介 SUZUKI, Yusuke	知能的工学科 データマイニング、 機械学習
 准教授 砂山 渡 SUNAYAMA, Wataru	システム工学科 ウェブマイニング
 准教授 関根光弘 SEKINE, Mitsuhiro	システム工学科 トポロジー
 准教授 双紙正和 SOSHII, Masakazu	システム工学科 セキュリティ
 助教 高井博之 TAKAI, Hiroyuki	システム工学科 メカトロニクス インターフェース
 准教授 高野知佐 TAKANO, Chisa	情報工学科 ネットワーク、 性能評価

※の教員は、平成27年度末に退職の予定です。

教員一覧

氏名	所属学科／専門分野
	教授 鷹野 優 TAKANO, Yu 医用情報科学科 計算生命科学
	教授 高橋健一 TAKAHASHI, Kenichi 知能工学科 パターン知識処理
	准教授 高橋 賢 TAKAHASHI, Satoshi 情報工学科 無線通信、電波応用
	助教 高橋雄三 TAKAHASHI, Yuzo システム工学科 人間工学
	准教授 高橋隆一 TAKAHASHI, Ryuichi 情報工学科 プロセッサ設計技術、学習デザイン
	教授 高濱徹行 TAKAHAMA, Tetsuyuki 知能工学科 自然コンピューティング
	教授(社会連携センター長) 竹澤寿幸 TAKEZAWA, Toshiyuki 知能工学科 音声言語情報処理
	准教授 田中公一 TANAKA, Koichi 医用情報科学科 電子光物性
	教授 田中輝雄 TANAKA, Teruo システム工学科 確率過程
	教授 田中宏和 TANAKA, Hirokazu 医用情報科学科 医療・ヘルスケア通信システム、高信頼無線通信技術
	講師 谷川一哉 TANIGAWA, Kazuya 情報工学科 計算機アーキテクチャ
	講師 谷口和弘 TANIGUCHI, Kazuhiro 医用情報科学科 医用ロボティクス
	准教授 田村慶一 TAMURA, Keiichi 知能工学科 並列処理、データ工学
	助教 辻 勝弘 TSUJI, Katsuhiro 医用情報科学科 集積回路デバイス

氏名	所属学科／専門分野
	助教 常盤達司 TOKIWA, Tatsushi 医用情報科学科 生体計測工学
	教授 中田明夫 NAKATA, Akio システム工学科 組込みシステム
	特任助教 中田一紀 NAKADA, Kazuki 医用情報科学科 半導体/磁性体集積デバイス、ニューロモルフィックシステム
	准教授 中野靖久 NAKANO, Yasuhisa 医用情報科学科 視覚情報工学
	助教 中山仁史 NAKAYAMA, Masashi システム工学科 音声信号処理
	准教授 永山 忍 NAGAYAMA, Shinobu 情報工学科 論理設計
	准教授 難波英嗣 NANBA, Hidetsugu 知能工学科 自然言語処理
	准教授 西 正博 NISHI, Masahiro 情報工学科 通信工学、電波サイエンス
	助教 長谷川義大 HASEGAWA, Yoshihiro 医用情報科学科 マイクロマシン工学
	准教授 八方直久 HAPPO, Naohisa 医用情報科学科 情報物性
	講師 馬場雅志 BABA, Masashi 知能工学科 コンピュータグラフィックス
	教授 林 朗 HAYASHI, Akira 知能工学科 パターン認識
	准教授 原 章 HARA, Akira 知能工学科 進化的計算論
	教授(副学部長) 日浦慎作 HIURA, Shinsaku 知能工学科 コンピュータビジュョン

氏名	所属学科／専門分野
	講師 廣門正行 HIROKADO, Masayuki システム工学科 代数幾何学
	教授 弘中哲夫 HIRONAKA, Tetsuo 情報工学科 計算機アーキテクチャ
	教授 樋脇 治 HIWAKI, Osamu 医用情報科学科 生体工学
	准教授 福島 勝 FUKUSHIMA, Masaru 医用情報科学科 レーザー分光
	准教授 福田浩士 FUKUDA, Hiroshi 医用情報科学科 計算論の神経科学
	教授 藤坂尚登 FUJISAKA, Hisato システム工学科 非線形回路
	准教授 藤原久志 FUJIWARA, Hisashi 医用情報科学科 光情報計測
	講師 藤原 真 FUJIWARA, Makoto 医用情報科学科 電子光システム
	准教授 舟阪淳一 FUNASAKA, Jun-ichi 情報工学科 ネットワークソフトウェア
	准教授 古川 亮 FURUKAWA, Ryo 知能工学科 コンピュータビジュョンCG
	教授(附属図書館長) 前田香織 MAEDA, Kaori 情報工学科 コンピュータ・ネットワーク
	教授 増谷佳孝 MASUTANI, Yoshitaka 知能工学科 医用画像工学、計算解剖学
	教授 松原行宏 MATSUBARA, Yukihiko 知能工学科 知識工学
	准教授 三村和史 MIMURA, Kazushi 知能工学科 数理工学

氏名	所属学科／専門分野
	准教授 宮崎大輔 MIYAZAKI, Daisuke 知能工学科 コンピュータグラフィックス
	准教授 宮原哲浩 MIYAHARA, Tetsuhiro 知能工学科 機械学習、データマイニング
	准教授 村田佳洋 MURATA, Yoshihiro システム工学科 組合せ最適化
	助教 目良和也 MERA, Kazuya 知能工学科 感情情報処理、対話理解
	助教 森 康真 MORI, Yasuma 知能工学科 知識情報処理
	教授(学部長) 矢野卓雄 YANO, Takao 医用情報科学科 バイオシステム工学
	教授 吉田彰顕 YOSHIDA, Teruaki 情報工学科 情報通信、電波サイエンス
	教授 李 仕剛 LI, Shigang システム工学科 ロボットビジョン、知的自動車、マン・マシン・インターフェース
	教授(副学長) 若林真一 WAKABAYASHI, Shin-ichi 情報工学科 論理設計、組合せ最適化
	助教 脇田 航 WAKITA, Wataru システム工学科 バーチャリアリティ

※の教員は、平成27年度末に退職の予定です。



レーザー二重共鳴装置

原子や分子に2つの波長の異なるレーザーを照射し、光応答性から電子励起状態の化学的性質を解析します。



3次元モデル生成システム

デジタルカメラやレーザー計測器を使って得た実物体のデータを解析して3次元形状と表面反射特性を推定し、CG技術を使って実物体を高精細に再現するシステムの研究開発を行っています。



最先端の機能と設備が学習を深め、最新の研究を生み出します。

アイカメラ

複数のディスプレイをモニタしている時の眼の動きをアイカメラで測定しています。測定した眼の動き（視行動）を用いてプロトコル分析を行うことにより、安全でストレスなく、確実にシステムとインターラクションできるマルチディスプレイのインターフェース・デザインに必要なデータを得ることができます。



電波測定装置

スマートフォン、無線LAN、電波時計、デジタルテレビなど、電波はとても身近なメディアとなっていました。目には見えない電波を私たちはアンテナや受信機を用いて計測しています。日々の気象変動や太陽活動によって、電波の届き方が面白いように変化し見えてきます。また、室内への人の侵入も電波で容易に検出できます。



情報工学実験風景

LEDや各種センサが搭載された小型CPU内蔵のロボットカーとAndroidタブレットを用いた実験です。地面上に書かれた線の上をたどりながら、ロボットカーの情報を無線LAN経由でタブレットに送信するプログラムなどを作成することで、コンピュータの構造やネットワークに関する知識を実践的に身に付けていきます。



モーションキャプチャ

人の動きを、多数のステレオカメラで撮影し追跡することで、骨格の動きをデータ化することができるシステムです。CG技術や、人の動作の解析に関する研究を行っています。



筋電位測定実験風景

書字運動の「個人差」を量化するため、前腕筋肉の活動電位と手・手首の関節角度を計測し、それらと筆跡の関係を時系列解析やソフトコンピューティングなどの手法を用いて解析しています。生体認証、筆跡解析への応用の他、書字運動が病気や障害によって失われた場合の精神的、運動学的リハビリテーション用の書字支援システムの開発を目的としています。



脳波測定実験風景

脳波計はヒトの脳における電気活動を頭皮上に配置した電極で記録する測定機器で、視覚や聴覚などの感覚や運動制御における脳の情報処理メカニズムの解明に用いられます。また、コンピュータ上で脳活動をリアルタイムに解析することができるため、脳活動を使ってドライビングシミュレータなどの外部装置を動かすことが可能です。



目の前のチャンスを見逃さないで。
挑戦した分だけ、有意義な日々と
大きな成長が待っている。

Voices

若狭 優貴
(広島市立沼田高等学校出身)

介護現場でIT技術を駆使する
ことで事故を未然に防ぎ、利用者や職員の安全・安心を支援できる方法を探
究しています。現場に足を運び検証を重ね、一歩一歩実用化に近付くにつれ達成感もふくらみます。昨年から、先生のすすめがきっかけで「HISS」というシンポジウムに参加。これは、電気・電子技術に関する国際的な学術組織「IEEE広島支部」主催の、学生を主体とする学会です。僕が任されているのは「論文TP副委員長」で、学生から提出された論文を大学の先生方に読んでもらえるよう依頼し、その評価を学生に返すという橋渡しが主な仕事です。目上の方とのやりとりも多く、お願いの仕方やビジネスメールの書き方など、社会勉強にもなります。市大はいろいろな経験ができる機会を教えてくれます。積極的に挑戦した分だけ有意義な学生生活が広がります。

ハードとソフトの両面から情報にアプローチできる点に魅力を感じ、システム工学科を選びました。これから専門知識と技術を学び、人間のサポートができるようなロボットをつくってみたいと思っています。1年の時から「ヒロシマピースキャンプ」という行事のボランティアに参加しており、今年は代表を務めます。これは、原爆の日である8月6日前後に広島を訪れる旅行者などのために、宿泊施設として市大のグラウンドを開放し、キャンプサイトやカフェを設営するというボランティア活動です。利用者同士の交流から自然に平和の輪が広がっていくことが願いです。また、昨年、レゴ社が発売している「レゴマインドストーム」というロボット開発キットを組み立てる「レゴマース」というサークルを友人と立ち上げ、今とてもはまっています。自由にいろいろな体験ができる、とても充実した学生生活を送っています。



武内 亮
(広島市立基町高等学校出身)

ヒロシマならではのアイデアで、
平和の輪を広げたい。
好きなことに打ち込める充実した毎日。

Voices



河岡
秀宜
(山口県立柳井高等学校出身)

早期卒業制度を利用して3年の吸量と心拍数を測れるという装置から研究室に入り、現在、小さいセンサーを口に入れるだけで緊急を要する患者さんの状態を素早く確認できます。名古屋大学から赴任して来られた先生に師事しているので、向こうの先輩方との交流も。先輩方が楽しそうにアイデアを出す姿を見て、研究を心から楽しむ姿勢を学び、視野が広がりました。今後は国際会議に積極的に参加したいと考えています。まずは6月にアラスカで開催される会議での発表が決定しており、現在、英語を猛特訓中。たくさんの人とユーモアを持って触れ合いたいので、外国の方とも円滑にコミュニケーションをとれるように英語力を上達させるという目標もあります。将来は、研究開発部門のある医療機器メーカーに勤め、医療の進歩に貢献できるものを世に出すことが夢です。

早期卒業で、ひと足早く研究室へ。
多くの出会いを生かして、
医療に貢献するという夢を叶えたい。

Voices

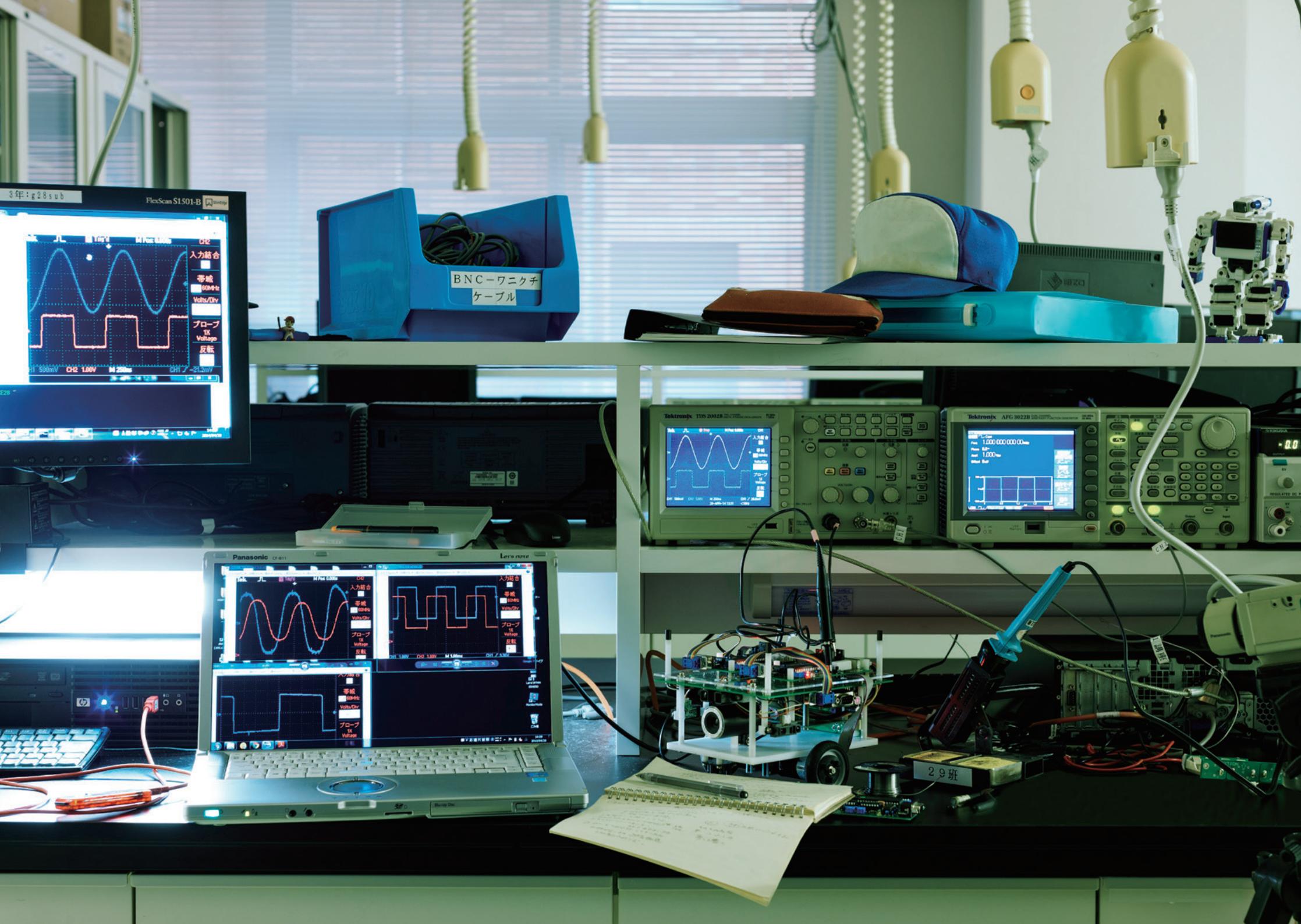
グローバル化に対応できる人材になるために英語力を向上させたいと思い、3年の夏休みに、オーストラリアに3週間留学しました。最初は不安だらけでしたが、自分から積極的に話しかけるうちに友人が増え、ボディーランゲージを使いながらも言いたいことを伝えられるようになり、伝えたいという強い思いと自分の取り組み次第でコミュニケーションはうまくいくのだと学びました。留学前には企業インターンシップにも参加。情報セキュリティについて、仕事内容を知ることができ、参加学生同士で議論して社員の方の前で発表したことも大変勉強になりました。社員の方が「仕事が楽しい!」と、とても生き生きされていたのが印象的で、私も将来はそんなふうにやりがいをもって働ける仕事を見つけたいと思っています。



石井
友梨
(広島県立福山誠之館高等学校出身)

夢を実現するには、正しい場所で、
正しい方向を向いて努力することが大事。
その言葉を実感。

Voices



芸術学部

Arts

これから社会と芸術文化を創造するためには

芸術は、人に感動と共感を与え、新たな価値観や示唆を生み出します。

近年では、地域社会と連携したさまざまなアートプロジェクトが、多く見られるようになってきました。

それは、芸術活動が社会と密接に関わることで、新しい関係性やネットワークを生み出し、活性をもたらしていく芸術特有の有用性があるからです。

当学部では、美術・デザイン工芸の両学科における基礎力を重視し、

専攻、分野の、より専門的な知識や技術の修得と、新たな表現の獲得を目指します。大学内外、地域社会や海外と連携した多角的な教育の中で、自身の制作を通して、揺るぎない礎を築いていくください。

主体的に学び、広い視野で国内外の芸術・文化をとらえ、

将来の活躍の場を獲得してほしいと思います。

現代の複雑な社会環境の中で、柔軟に対応できる判断力と創作力を養い、社会における芸術の役割と必要性を示し、

これから社会と芸術文化を創造していきましょう。



芸術学部長

南 昌伸

MINAMI Masanobu





自己表現の可能性を追求するために、理論と実技を身に付け、感性を育む

III 求める人物像 Admission Policy

豊かな感性と創造力を持ち、時代の変化に柔軟に対応して、
多様な技術を修得したいと考える学生を求めています。
創作活動を通じて、地域社会と国際交流に貢献する意欲を重視しています。

1

創作活動に必要な基礎的な表現力を持ち、
それをさらに伸ばしたいと考えている人

2

独自の表現方法を見つけて自分のものとするために、
多様な素材や技術を学びたい人

3

地域社会や国際交流を通して、
社会とかかわりながら表現活動を行いたい人

III 教育方針 Principles

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと修得し、
多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際交流でも
アートを通して活躍できる能力を育んでいきます。

創作活動を続けるために基礎実技を重視

自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と
造形力を養う基礎実技の修得を重視した教育を行っています。

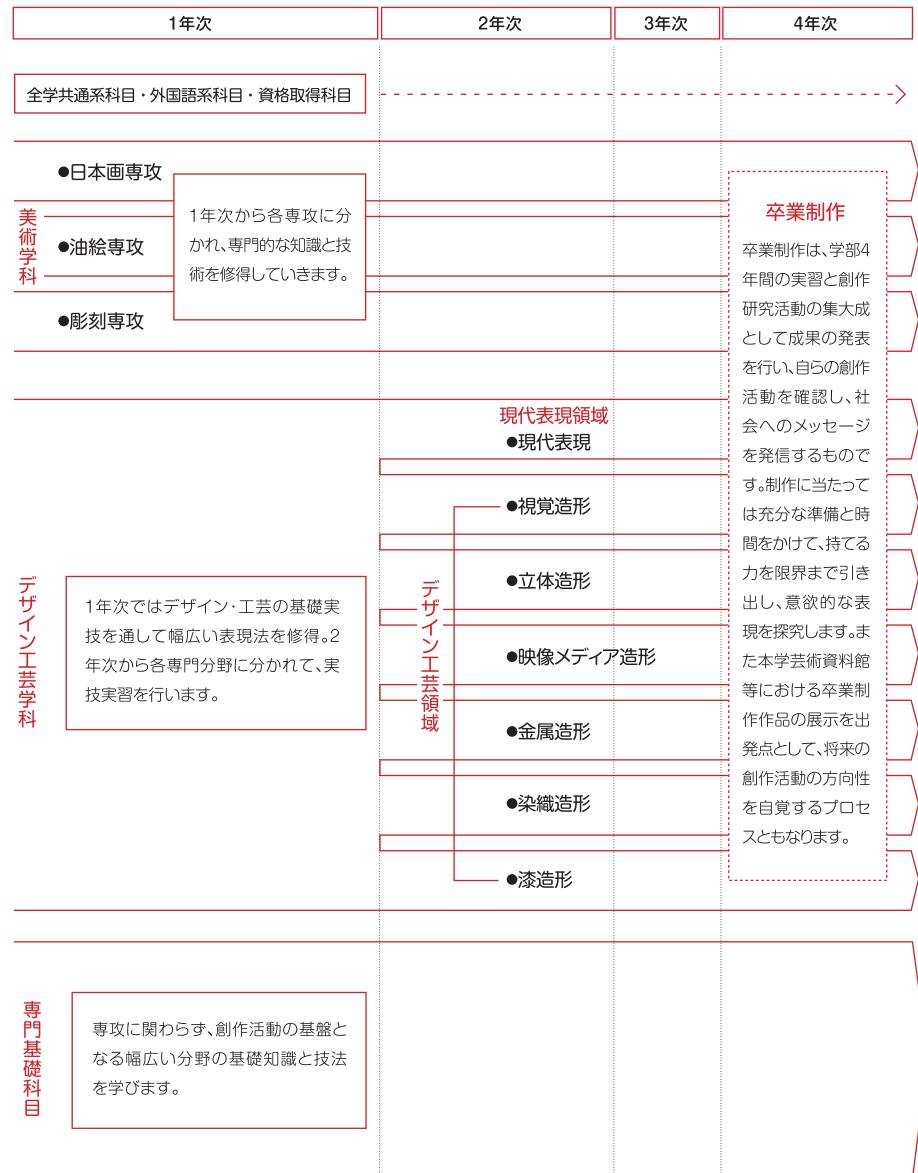
多様な技術修得のための多角的・総合的な教育

独自の表現方法と出会うために、過去から現在に至るさまざまな分野の素材や
技術を学ぶことができる、多角的で総合的な教育を行っています。

地域と国際を軸に芸術の社会的役割を学ぶ

地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を知り、
社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供しています。

年次チャート、学部共通科目



» 美術学科

●日本画専攻 ●油絵専攻 ●彫刻専攻

基礎技術修得と幅広いカリキュラムで、創造者としての感性を養い、時代に貢献する人材を育成

美術学科は、純粋芸術の専門的な教育・研究を行います。芸術の創造者としての基盤となる感性を養い、的確な造形表現をするための能力の充実を図ることができる基礎教育を重視します。日本画・油絵・彫刻は、それぞれの分野において造形の体系を形成した歴史や哲学、科学などがあり、人文科学的な要素についても学ばなければなりません。それらの確固たる造形性を修得した創造者を目指して、実技演習のみならず基礎の教養の充実を図ります。それとともに、現代を思考し、専門領域のみならず幅広い視野で芸術を理解できるようなカリキュラムを組み込み、これから社会に創造者として発表する上で必要な能力を育て、新たな時代を形成し貢献する人材を輩出することを目指しています。

III 教育課程

	専門基礎科目	日本画専攻	油絵専攻	彫刻専攻	
1年次	現代美術演習Ⅰ 美術解剖学 デザイン概論 工芸概論	油彩画材料論 油絵入門 日本画入門 色彩論	日本画実習Ⅰ 材料実習Ⅰ デッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ(平面) 色彩論	油絵基礎演習 デッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ(平面) 油絵実習Ⅰ 彫刻演習 版画制作実習Ⅰ	彫刻実習Ⅰ デッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ 実材制作基礎演習 (工芸制作を含む。)
2年次	図法及び製図 西洋美術史 材料技法演習 現代美術演習Ⅱ 工芸制作Ⅰ・Ⅱ(演習) 芸術工学 工芸材料概説	写真(映像)概論 現代美術史Ⅰ・Ⅱ 版画制作演習 繪画論 アートマネジメント概論 造形応用研究Ⅰ	日本画実習Ⅱ デッサン実習Ⅱ 構成演習 材料実習Ⅱ(金属材料) 彫塑演習	油絵実習ⅡA・B 版画制作実習Ⅱ 学外演習 デッサン実習Ⅱ 構成演習Ⅱ(平面) 油絵材料・技法演習 (古典技法)	彫刻実習Ⅱ デッサン実習Ⅱ 実材制作演習Ⅰ 構成実習Ⅱ (平面・立体)
3年次	美学 日本美術史 東洋美術史 西洋美術史特論	文化財学研究 彫刻概論 現代美術論 造形応用研究Ⅰ・Ⅱ	日本画実習Ⅲ 古美術研究(演習) デッサン実習Ⅲ 材料実習Ⅲ 構成実習Ⅲ(平面)	古美術研究(演習) 構成演習Ⅲ(平面) 油絵実習ⅢA・B デッサン実習Ⅲ	彫刻実習Ⅲ 古美術研究(演習) 実材制作実習Ⅱ 彫刻論 (古典研究を含む。) 構成実習Ⅲ(立体) デッサン実習Ⅲ
4年次	造形応用研究Ⅰ・Ⅱ	日本画実習Ⅳ 繪画論演習 技法演習(裏打技法) 卒業制作(演習)	油絵実習ⅣA・B 卒業制作A・B(演習)	彫刻実習Ⅳ 卒業制作	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

日本画専攻 ≫ 美術学科

基礎教育から独創的な表現に至る指導で、創造性に富んだ人材を育成

日本画専攻の目標

日本画の伝統的絵画表現という側面と、現代を生きる芸術家としての自由な表現とを両立した、広い視野を持ち、芸術表現の可能性を追求する21世紀に生きる現代日本画作家の輩出を目指としています。4年間の多彩で多様な授業を通して、高い知識、確かな技術を修得すると同時に創造性、独創性に富んだ卓越した人材を育成することを目標に、これから文化芸術の創造・発展に貢献することを理念としています。

■授業概要

4年間の授業の中で、写生、技法研究等の基礎教育から、独創的な表現に至る段階的な指導を行っています。1年次では材料の扱い方や制作を主に基礎力を高め、2・3年次では写生旅行や古美術研究旅行等によるスケッチ取材や文化財の実地見学の体験を通じ創作の幅を広げます。4年次には、今までの授業の集大成となる卒業作品を制作。各学年とも表現者としての基礎を身に付けるため、デッサンや写生を重視。また、古典模写や、専門的な裏打ち技法や金、銀箔の授業も随時開設など、効果的な教育プログラムとなっています。

■卒業後の展望

日本画専攻では、優秀な作家の養成とともに、教職課程、学芸員資格等の取得にも積極的に取り組んでいます。教育機関や研究施設における指導者、研究者として芸術文化の振興に携わり、地域の文化に貢献しています。より専門的な技術や高い芸術性の修得を求める学生は、大学院の進学を希望します。進学、就職と進路はさまざまですが、多くの卒業生が公募展や個展などで積極的に作品発表を続け、高い評価を得ています。

油絵専攻 ≫ 美術学科

内面を重視しながら段階的に学んで、絵画の新しい造形と表現の可能性を探る

油絵専攻の目標

油絵は西洋の伝統的絵画造形の代表です。油絵を学ぶことは、その根底に流れる西洋の歴史や多様な精神文化も学び知ることになります。西洋の絵画を本質的に理解するための、実践的な実技教育を通して表現力を修得することで、指導内容に写実の精神のみならず、やがては新たな自己の表現を目指すことができる教育を目標にしています。油絵を学ぶことで自ら現代を広い視野で見ることができる人材の育成を理念とします。

■授業概要

4年間を段階的に教育・研究が進められるようカリキュラムを編成。1年次は、デッサン中心の基礎実技実習。2年次は、油絵制作中心の実技実習に加えて油絵材料・技法演習で基礎力を強化。また、1~2年次にかけて銅版画とリトグラフを学び平面造形を幅広く学びます。3年次には自主的な制作研究も取り入れ卒業制作への準備と、古美術研究では、イタリアでの実地研修で西洋の本質に触れて専門性を高めます。4年次は、集大成として卒業制作を行い、成果を発表します。

■卒業後の展望

卒業生はさらに専門性の高い教育を望み大学院進学や海外留学を選んだり、あるいは社会人として自立するために美術に関連する職業に従事しつつ、個展や公募展、各種企画展などの作家活動を続けています。中には既に作家として高い評価を得ている者もいます。また美術指導者や研究者として専任・非常勤の教員や学芸員として教育分野で活躍する者、培った造形的応用力を生かしてデザインやアニメ、メディア業界などの多様な業種に進む者など、優秀な人材を輩出しています。

彫刻専攻 ≫ 美術学科

基礎実習と実材研究を通した新たな彫刻表現の探求

彫刻専攻の目標

常に実在物や現実空間と対峙することを必要とする彫刻専攻では、体験的学習を重視。塑造実習や木・石・金属、ミクストメディア等の実材実習を中心に、古美術研究旅行、彫刻論等を通して、実際にモノを扱い、現地を訪れ、作家から直接聞くことをカリキュラムの核としています。また、古代から現代までの芸術文化を研究することで、現代社会における芸術の役割を認識し、新たな彫刻表現を探求。さらに国際交流・地域連携を積極的に取り入れ、地域文化をリードする国際性豊かな人材を育成します。

■授業概要

4年間を通して、彫刻の基礎となる塑造を中心に制作を行っていきます。人体をモデルに骨格・構造などの仕組みを把握し、自然から彫刻芸術の基礎的な形態を学びます。併せて東洋・西洋の古典、現代までの多様な芸術表現を学習することによって、自らの創造基盤をつくり上げます。1・2年次には、実材の基礎的知識と技術を身に付けることを目的として学習・制作に取り組みます。3年次以降は、実材を選択し、自主課題に沿った制作活動の中から自己表現の方法を学びます。

■卒業後の展望

学部卒業後は、毎年多くの学生が進学を希望し、さらに高度な創作・研究を進めていきます。学生の多くは、教職関連や造形力を生かせる職業に就きながら、作家としての自立を目指し、広島を中心に個展を開催したり、公募展やグループ展、プロジェクトに参加して、発表や活動の場を広げていきます。さらに、海外の芸術大学へ留学する学生もおり、国際的視野を持ち、併せて地域に根差したさまざまな方面で活躍しています。

» デザイン工芸学科

現代表現領域

●現代表現

デザイン工芸領域

●視覚造形 ●立体造形 ●映像メディア造形 ●金属造形 ●染織造形 ●漆造形

確かな造形表現のための基礎を重視しながら、創造的な活動および表現のできる能力を育てる

デザイン工芸学科は、社会と生活に関わる造形芸術の総合的な教育と研究を行うために、創造力、造形力を身に付け、確かな造形表現が行えるよう基礎教育を重視しながら、今日の社会における新しい表現と、長い歴史に培われた造形表現の双方を検証して、より専門的な造形表現へと展開していくける学科です。7つの分野を設け、幅広い表現を展開する専門領域の特徴を効果的に教育体制の中に反映させることで、広範な活動領域において柔軟に対応し、創造的な活動および表現のできる能力を育て、新たな時代の形成と社会に貢献していくことができる人材の育成を行います。

III 教育課程

	専門基礎科目	専門科目	
1年次	現代美術演習I 美術解剖学 デザイン概論 工芸概論 油彩画材料論	油絵入門 日本画入門 色彩論	造形実習IA・B 描出演習I 形体演習I
2年次	図法及び製図 西洋美術史 材料技法演習 現代美術演習II 工芸制作I・II(演習) 芸術工学 工芸材料概説	写真(映像)概論 現代美術史I・II 版画制作演習 絵画論 アートマネジメント概論 造形応用研究I	総合表現研究(演習) 造形実習IIA・B 描出演習II 形体演習II
3年次	美学 日本美術史 東洋美術史 西洋美術史特論 文化財学研究 彫刻概論 現代美術論 造形応用研究I・II		古美術研究(演習) テーマ研究(演習) 造形実習III A・B
4年次	造形応用研究I・II		造形研究(演習) 卒業制作(演習)

* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

現代表現 » デザイン工芸学科

CA+T(Contemporary Art and Theory) 現代社会の要請に応える表現者を育成

現代表現分野の目標

現代表現分野では、現代美術から空間デザイン・都市デザインに至る、都市の公共空間や商業空間での先端的表現の実践と理論構築を通じて、現代社会の要請に応える表現者の育成を目指します。また、国内外におけるアートプロジェクトの自主企画を通して、表現活動を支えるアートマネジメントや、展示の企画運営を行うキュレーションを修得。将来、日本でも中心的な領域になるであろう現代美術を、専門的・体系的に学ぶことができます。

■ 授業概要

3年次では、前期に公共空間でのアートプロジェクトの企画を行い、後期に商業空間での先端的表現を実践します。現代美術と商業デザインの関係を探り、広い視野の獲得を目指します。また、表現者として必要なプレゼンテーションの方法やポートフォリオ、アーティストブックの制作を学ぶと同時に、現場で活躍するキュレーターによる講義で、アートマネジメントの基礎を学習。卒業制作では、豊富な活動と経験を有する教員により、個々の学生に応じた作品制作の指導を行います。さらに、撮影実習からカタログのデザインまで、将来の活動を支える実践的な授業も行っています。

■ 卒業後の展望

活動領域が日本国内にとどまらない国際的なアーティスト。表現領域が従来のデザインにとどまらない先端的表現者。そして、それらの表現者を支えるアートマネジメントの場が、卒業後の活躍のフィールドです。これまでに、多くの卒業生が、それぞれの才能を発揮して、さまざまな場面で活躍しています。また、海外への留学生が多い現代表現分野では、国際的に活躍する作家を多く輩出しています。

視覚造形 » デザイン工芸学科

視覚とコミュニケーションを重視した学習で、新しいビジュアル表現を創造

視覚造形分野の目標

視覚による知覚とコミュニケーションは、五感全体の8割を超えると言われています。視覚造形分野は、特にこの視覚を中心的に扱う分野として、「イメージを表現し伝えること(描く・書く・話す)」を重視しています。その具体的な仕事の一例は、グラフィックデザインやアートディレクション、イラストレーションに見ることができます。そして、視覚的表現を含むあらゆるデザインは表現の「計画」にほかならないのです。

■ 授業概要

調査に基づいた考察と対話を通じて表現計画を立て、多様な展開を示唆し創作性を向上させ、実習を通じて表現に必要な技術を修得。2年次は、イラスト・写真・CGといった描画基礎実習、ポスター・マーク・ロゴ・サイン計画・イベント企画・版画等の創作研究と東京デザイン研修を実施。3年次は、CI・広告・編集デザイン・テーマ制作等のグラフィックデザインを中心にデザインメディアへの応用・展開と、その表現とプレゼンテーションとして創作研究を行います。4年次では、創作研究、ポートフォリオ、卒業制作を行います。

■ 卒業後の展望

視覚造形分野では、過去に学び現代の洞察を通じて新しいビジュアル表現を創造する表現者の育成を目指しています。これまでの卒業生は、主にプロダクションにおけるグラフィックデザイナーとして活躍していますが、その他にも、広告代理店におけるCMプランナーやディレクター、印刷会社におけるアートディレクターや、イベントデザイナー、パッケージデザイナー、アーティスト、イラストレーターとなって、多方面で活躍しています。

立体造形 ≫ デザイン工芸学科

モノとデザインの本質を考え、幅広い視野で最適なモノづくりを目指す

立体造形分野の目標

立体造形は、生活の中の人—モノ—環境と関わる道具とシステム、人—情報が関わるさまざまな要素をデザインすることです。ともすれば効率性や経済的な価値を重視する現代の社会は、人と道具やモノに込められたココロの大切さを見失いかが。そこで、モノとデザインの本質を考え、幅広い視野で最適なモノづくりを目指します。人とプロダクトデザインの最適な関わりは何か。生活と社会中の立体造形に対する創造性豊かで自由な発想力を尊重します。

■授業概要

実習をプログラムの中心に、計画、造形、伝達などの基礎的な項目を構想から実物の製作まで学習。2年次は多様な素材の作品を制作、道具と空間をデザインします。3年次は、構造—造形—機能のデザインを具体化し、その成果を展示・公開。4年次は、卒業制作に向けて、計画—構想から試作、展示、伝達のすべてのデザインを行い、学外の卒業制作展に具体化します。また、芸術資料館のコレクションに手を触れて学び、専門工房で製作、学外の体験学習と地場産業の見学研修体験とともにデザイン能力、表現力向上を同時に進めます。さらに、交換留学できる環境のもと、学部—博士後期課程まで多くの海外学術交流協定大学からの留学生と共に学び、海外との研究、教育交流で多様な文化との活発な共生・協働ができる授業を行っています。

■卒業後の展望

自動車のデザイン、家具、玩具、ゲーム、Webデザイン、ファッション、店舗、企画開発といった生活に関わるさまざまな分野にデザイナーとして卒業生が多く就職し、新しい生活と近未来社会を目指して問題を解決し貢献できる活動を広げています。

映像メディア造形 ≫ デザイン工芸学科

CGやアニメーション、コンピュータなどの技術を駆使したアートやデザイン表現を創造する

映像メディア造形分野の目標

映像メディアはビジュアルコミュニケーションの中核を担う存在と言えます。多様なメディアに展開される「映像」を、「光・音・動き」によって構築された時間軸表現ととらえ、各素材を使って基礎的な映像造形力を養い、CGやアニメーション、電子デバイスなどの先端技術を駆使したアートやデザインを創造します。豊富な演習で、動画映像・表現を探求し、社会に適応できる人材を育成します。

■授業概要

2年次では、基礎的な造形力の養成をメインに「光」「音」「動き」等をモチーフにした造形実習を行い、同時にコンピュータでの各種アプリケーションソフトの技術修得によるスキルアップを図ります。3年次では、専門スタジオシステムを利用した映像制作の実習や、修得した造形感覚とスキルを生かし、各自が目指す方向性を探る演習を実施します。4年次前期は、卒業制作に向けて学生の感性とスキルに合わせ、計画から試作を検討。後期には卒業制作に取り組んで作品発表を行うとともに、カタログ制作や映像パブリッシュメディアの制作も行います。

■卒業後の展望

卒業後の進路としては、映像制作会社・TV放送局、Web制作・デザイン制作会社、ゲーム制作業界などへ就職し、身に付いた技術や表現力を發揮する道があります。また、アーティスト・映像クリエイターとして活動し、多くのコンペティションで受賞している卒業生もいます。4年間の映像メディア造形分野の学習を通して培われた先鋭的感性、情報処理能力、人間力を生かしさまざまな分野で活躍する人材を輩出しています。

金属造形 ≫ デザイン工芸学科

金属素材との対話を通した確かな技術修得、柔軟な思考が独自の表現を生む

金属造形分野の目標

人類が金属素材に出会って以来、金属の可能性への探求は、モノづくりへの挑戦から始まったと言えます。金属造形では、「彫金」「鍛金」「鋳金」といった金属工芸の伝統的技法の修得を通じて、素材や歴史的背景について理解を深め、自己の制作を通して感性を磨きます。修得した確かな技術と柔軟な思考をもとに、現代における工芸、金属造形のあり方を考え、独自の表現と新たな方向性を探ります。

■授業概要

2年次は、手仕事を中心とする金属工芸の伝統的基礎技法を修得しながら、金属工芸の基本的な知識と技術を学びます。3年次は、課題制作を通じて、複合技術の修得とともに、より深い知識と高度な技術を学ぶことで、高い専門性と応用力を身に付けます。また学年共通のテーマ制作では、制作から展示までのプロセスを総合的に学び卒業制作に備えます。4年次は、各自の卒業制作について綿密な検討を重ね、予備研究、習作を経て実制作に移り、4年間の集大成として卒業制作を完成させます。

■卒業後の展望

卒業後の進路は、製品開発、製造を行う企業での企画開発、デザインなどの分野で才能を発揮する、あるいはジュエリーデザイナーや工芸作家として独自の表現を追求する作家活動に入る、中学・高等学校の教員、専門学校の講師として学んだ技術を教える立場に立つなどさまざまな道に進むことができます。金属工芸を学び、磨いた感性を生かし、既に社会で活躍する多くの卒業生に続いて、これからも幅広い分野で活躍し、自己の表現を追求していくことを期待しています。

染織造形 ≫ デザイン工芸学科

染織に関わる多様な素材や技法を修得し、現代社会での新たな表現を問いかける

染織造形分野の目標

染織は古来より、人々の生活の中に息づいてきました。特に、日本の染織文化は我が国の民族衣装である「着物」を基にして世界に類を見ないほど高い水準に達しました。現代でも日本人の染織作品やテキスタイルデザインは独自の美意識で世界からも注目されています。染織造形では、日本独自の多様な技法と感性の蓄積を見つめ直し、現代社会における染・織・繊維造形のあり方を広い視野からとらえ、新しい染織の表現や可能性を問いかけていきます。

■授業概要

2年次には、染織に関わる素材(主に繊維と染料)に関する基礎知識を学び、染(謄纏、型染、スクリーン捺染)・織(織織、組織織、二重織)特有の表現法を通して染織造形の基礎技法を修得します。3年次では、課題を通して技術・素材・知識に対する専門性を深め、個々の創作に対する意識の向上と創作表現に必要な技法の質的向上を目指します。さらに、共通のテーマに応じた作品の制作・展示・プレゼンテーションすることで表現の幅を広げます。4年次は各自の考えたテーマによる卒業制作で自己表現の確立を目指します。

■卒業後の展望

染織造形では、染色、織物や繊維に関する知識と高い造形力を身に付け、デザイナーやアーティストとして、社会のさまざまな場で幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。すでに、本分野からテキスタイルデザイナー、グラフィックデザイナー、染織作家、造形作家、教員など幅広い分野で活躍する人材を輩出しています。

漆造形 ≫ デザイン工芸学科

もの創りの必然性を追求し、創造性豊かな表現を目指す

漆造形分野の目標

現代の日本の経済力を作り上げた戦後の高度経済成長。しかし価値観が経済に集中しがちになった結果、画一化も進行し、人々の間で「心の豊かさ」が軽視されさまざまな社会問題が生じています。漆造形工房では、9千年に及ぶ人と漆の関わりや、技芸を学びます。自然と常に向き合う漆の仕事は自己を覚醒させ、もの創りの本質を導き出してくれます。長年の経験を必要とする奥の深い世界ですが、ここでの学習を生かし、現代社会に「心の豊かさ」を呼び戻す、そんな学生を育成します。

授業概要

2年次以降の漆塗り基礎技術の修得として、多種多様な道具制作、木地から漆呂色上げまで約40工程に及ぶ本堅地を学び、蒔絵・螺鈿・彫漆等の加飾技法を修得。3年次は素地造形を中心に轆轤・乾漆を修得。特に轆轤は地場産業でもある宮島轆轤の技術を基本に、刃物の鍛造から徹底指導。また金属など異素材の専門技術を学び、漆との複合的な創作研究や漆の歴史と自己表現のあり方を見直す古典を研究。4年次は学部の集大成とし、自由な造形表現の制作を行います。

卒業後の展望

インテリアデザイナー、広告代理店、写真家、映像作家、高等学校教員、専門学校講師など、現在まで卒業生の就職率は非常に高く、幅広い分野で活躍する多くの人材を輩出しています。今後もより多くの分野で漆を学んだ学生が活躍することを望んでいます。

教員一覧

氏名 所属学科／専門分野

	講師 有持 旭 ARIMOCHI, Akira	デザイン工芸学科 映像メディア造形
	教授(副学部長) 伊東敏光 ITO, Toshimitsu	美術学科 彫刻
	准教授 今村雅弘 IMAMURA, Masahiro	美術学科 日本画
	教授 ウォーゼン、チャールズ WORTHEN, Charles	美術学科 彫刻

氏名 所属学科／専門分野

	教授 海老 洋 EBI, Yo	美術学科 日本画
	教授 鰐澤達夫 EBISAWA, Tatsuo	デザイン工芸学科 現代表現
	教授 及川久男 OIKAWA, Hisao	デザイン工芸学科 視覚造形
	准教授 大塚智嗣 OHTSUKA, Tomotsugu	デザイン工芸学科 漆造形

教員一覧

氏名 所属学科／専門分野

	教授 大矢英雄 OHYA, Hideo	美術学科 油絵
	教授 笠原 浩 KASAHARA, Hiroshi	デザイン工芸学科 映像メディア造形
	教授 倉内 啓 KURAUCHI, Hiroshi	デザイン工芸学科 染織造形
	講師 佐藤尉隆 SATO, Yasutaka	美術学科 油絵
	准教授 諏訪 敦 SUWA, Atsushi	美術学科 油絵
	講師 田中圭介 TANAKA, Keisuke	美術学科 彫刻
	講師 釣谷幸輝 TSURITANI, Yuuki	美術学科 油絵
	准教授 中嶋 泉 NAKANJIMA, Izumi	現代美術史
	教授 永見文人 NAGAMI, Fumito	デザイン工芸学科 金属造形
	講師 中村 圭 NAKAMURA, Kei	デザイン工芸学科 視覚造形
	助教 七瀬綾乃 NANAKARAGE, Ayano	美術学科 彫刻
	講師 野田睦美 NODA, Mutsumi	デザイン工芸学科 染織造形

氏名 所属学科／専門分野

	講師 藤江竜太郎 FUJIE, Ryutaro	デザイン工芸学科 立体造形
	准教授 藤田敏彰 FUJITA, Toshiaki	デザイン工芸学科 漆造形
	教授(副学長) 前川義春 MAEKAWA, Yoshiharu	美術学科 彫刻
	准教授 前田 力 MAEDA, Chikara	美術学科 日本画
	講師 松尾真由美 MATSUO, Mayumi	美術学科 油絵
	教授(学部長) 南 昌伸 MINAMI, Masanobu	デザイン工芸学科 金属造形
	准教授 森永昌司 MORINAGA, Shoji	美術学科 油絵
	准教授 柳 幸典 YANAGI, Yukinori	デザイン工芸学科 現代表現
	助教 山浦めぐみ YAMAURA, Megumi	美術学科 日本画
	助教 湯浅ひろみ YUASA, Hiromi	美術学科 油絵
	教授 吉田幸弘 YOSHIDA, Yukihiro	デザイン工芸学科 立体造形
	教授(芸術資料館長) 藁谷 実 WARAYA, Minoru	美術学科 日本画

創作工房・実習アトリエ一覧

- 創作工房
- 石彫工房
- 木彫工房
- 金属工房
- テラコッタ窯場
- 鍛金・鍛造工房
- 彫金工房
- プラスチック塗装工房
- 織工房
- 染工房
- 漆工房
- 版画工房
- フレスコ室
- 石膏デッサン室
- 金属加工室
- 木材加工室
- CA+Tラボラトリー
- VCデザインスタジオ
- 2Dプリントルーム
- 3Dスタジオ
- 3Dプリントルーム
- メディアワークスタジオ
- アニメーションワークスタジオ
- コンピュータルーム
- フォトスタジオ
- アートシアター



石彫工房

- 実習アトリエ
- 日本画アトリエ
- 油絵アトリエ
- 彫刻アトリエ
- デザイン工芸実習室



版画工房



織工房

鍛金・鍛造工房



回り道したけれど、
得たものは大きかった。
たった一度の人生、悔いのない道を
歩きたいから。

Voices

松葉 亮佑
(本庄高等学校出身)

高校卒業後、建築系の大学に進学したのですが、進路を考え直したくて中退。デザイン方面に進みたいと思い、絵画を習い始めました。当時は留学を考えていたのですが、先生に「今からでも遅くないから勉強した方が良い」と励まされて進学を決意しました。一度は離れたものの、ことあるごとに建築にひかれる自分に気付き、「まちづくりを通じて建築に携わりたい」という目標が見つかりました。現在、「基町プロジェクト」という、広島市の中区役所と芸術学部が連携し、アートの力で基町を活性化させる試みに参加しています。昨年はワークショップを開催し、今年はカフェの運営を企画しています。いつか、自分がデザインしたまちにたくさん的人が暮らしてくれたら…それが夢です。回り道した分、4年間を全力で、自分の成長につなげていくつもりです。

芸術学部
デザイン工芸学科
デザイン工芸領域
立体造形2年

これまで主に「対馬アートファンタジア」と「仙養ヶ原シンポジウム」という2つのアートプロジェクトに参加しました。対馬では自分で作品をつくるのではなく作家の方の補助が主で、プロのストイックな仕事ぶりを目の当たりにしながら実践的な勉強ができました。仙養ヶ原では同級生と2人で全長約10メートル、直径約3メートルの巨大口ケツを共同制作。竹林の間引きを兼ねて竹を数百本伐採し、それを素材にその土地の物語性を表現しました。2週間ほど朝から晩まで作品づくりに没頭し、参加学生たちと触れ合い、とても充実した体験でした。この秋から1年間、ドイツに交換留学する予定です。技術面の勉強だけでなく、生まれ育った文化圏とは違う知らない人ばかりの土地で、自分を表現する力を身に付け、今後の創作活動のベースとなる人間像を見つけたいと思います。



西村 七海
(京都市立銅駒美術工芸高等学校出身)

作品を通じて僕は何を伝えたいのか。
さまざまな体験を通じて、
その答えを導いていきたい。

Voices



目標は美術の教員。

アートを通じて子どもたちとふれあい、
豊かな情緒をはぐくみたい。

Voices

藤村和音
(高知県立高知西高等学校出身)
芸術学部
美術学科
油絵専攻4年

昨年開催された「キッズキャンパス」というアートプログラムに参加しました。これは幼児・児童を対象に、芸術制作で触れる機会を提供するというものです。家では体験できない大きな絵を描いたり、全身絵の具まみれで遊んだり、子どもたちがとても楽しそうにはしゃいでいる姿を見て、アートが子どもに与える影響に興味を持つようになりました。今は子どもに芸術を教えたいという願いを叶えるために、美術の教員を目指しています。大学生活の中で特に心に残っているのが、大学祭の実行委員会で副委員長を務めたことです。台風の影響で準備が滞ってギリギリまで調整に追われたり、何でも自分で引き受けてしまって多くの仕事を抱えこんだり。大変でしたが、みんなが助けてくれて、頑張っていれば誰かがちゃんと見てくれているのだと実感でき、とても有意義な経験となりました。



花岡美優
(広島市立基町高等学校出身)
芸術学部
美術学科
日本画専攻2年

大学に入って、自分の転機になったのが「現代美術演習」の授業です。それまでは日本画ばかり描いていたのが、現代美術という新しいジャンルで自由に制作することによって、これまであいまいだった日本画の概念まで考えるようになりました。日本画に対する考え方自体が大きく変わりました。その授業でつくった作品をきっかけに、別の専攻の人から展示をするから一緒に出さないかと声をかけてもらい、初めて展覧会に出品。それからいろいろな人に声をかけてもらえるようになって、広島県や関東などで、さまざまなグループ展に参加するようになりました。高校の時は違つて、1人の作家として作品を見てもらうという体験は、自分の作品に対する責任を再認識する良い機会になりました。鑑賞された方からいただく意見はとても貴重で、次の作品づくりへの大きな励みになっています。

Voices

チャンスは最大限に生かし、
「精一杯」を積み重ねて、創作に対する
自分なりの答えを見つけたい。



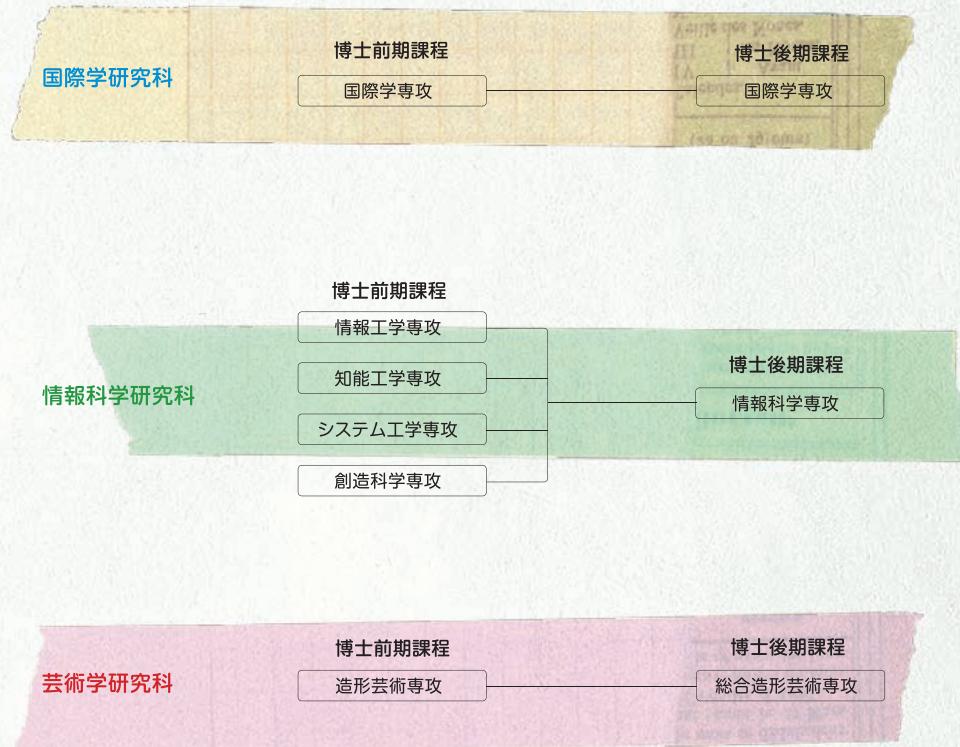
大学院

Graduate School

大学院組織図

自己の研究をより深め、視野・思考の幅を広げる大学院の研究

最先端の学問領域を究め、知性と感性と創造性を研ぐための学問の場である広島市立大学大学院。3つの研究科のそれぞれが、専門分野の高度な研究につながる授業科目群を設置するとともに、学際的な知識を修得して調和のとれた人間形成を図る科目群「21世紀の人間と社会」を開設。社会の指導的役割を果たす能力と資質を育てていきます。



※掲載した内容は、平成27年4月時点での編成です。平成28年度に若干の変更が予定されています。

大学院での教育・研究

国際学研究科

国際学部での学びは、大学院の国際学研究科に進学することで、より高度で先端的な研究へと発展させることができます。国際学研究科には、2年間学んで修士の取得を目指すコース(博士前期課程)と、修士を取得した上でさらに3年間研究を続けて博士の取得を目指すコース(博士後期課程)が設置されています。

大学院では、学部よりも新しい研究成果と研究手法を取り入れた高度な専門教育を行うとともに、研究領域を越えた広範な横断的視点から学際的な研究を指導します。そして、論理的、創造的、独創的な考え方を持ち、幅広い学識と豊かな人間性を備えた人材を育てることを目標としています。

博士前期課程

国際学研究科の博士前期課程では、5つの研究群、地域研究、そして平和学を学ぶための科目があります。5つの研究群の内訳は、国家、民族、国際組織、NGOなどの動きを観察する国際関係研究群、公共関連組織、民間企業、そしてNPOなどの動きを観察する公共政策研究群、経営知識、理論、実践の学修を目指す経営政策研究群、文化の相互交換と個人間の相互行為から人類社会を分析する社会文化研究群、そして、言語と文化や社会の幅広い関わりに多様な視点から迫る言語文化研究群があります。地域研究では、既存の学問、またはそれらを横断する視点から地域を観察します。また、平和学を学ぶためのコア科目やビース・インターーンシップなども用意されています。

以上の研究群、地域研究、または平和学関連科目から所定の科目と、全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文を作成し、それが認められれば修士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。また、中学校教諭一種免許状(英語)、高等学校教諭一種免許状(英語)を取得していれば、所定の科目を修得することで、それぞれの英語の専修免許状を取得することもできます。

博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程と比べてさらに専門性が高く、高度な教育、指導を受けながら研究を進めます。そのために博士後期課程では、歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭に、包括的な2つの専攻研究分野で教育課程が編成されています。それらは、国際社会が直面する諸問題について横断的に研究が可能な国際社会研究分野と、世界諸地域について多角的、多面的に研究が可能な地域研究分野です。

博士後期課程においても、所定の科目的単位を取得し博士論文が認められれば、その内容に応じて、修士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。

大学院での教育・研究

情報科学研究科

情報科学研究科は、21世紀の「情報技術」の先端的専門分野・情報科学と諸学問との学際分野において柔軟な発想と開発力で貢献する人材養成が目標です。そのため、創造性、自立性を養う自主プロジェクト演習など、科学技術の高度化と多様化に対応したカリキュラムを編成しています。情報科学研究科における特徴は以下の3つです。

1. 高度な専門的教育・研究

- 専門領域諸分野についての最新の研究成果と研究手法を取り入れた教育・研究を行います。
- 最新の学術情報に接するとともに、学問の深奥に触れ、活発な問題意識を育む教育・研究を行います。

2. 高度な専門教育に相応した学際的教育・研究

- 高度な専門性を維持しながら、既存の縦割りの専門分野や研究領域を越えた、広範な横断的視野からの学際的な教育・研究を行います。
- 物事を広範な視野から考察し、総合的視点からの判断力と理解力を養う教育・研究を行います。

3. 論理性、創造性、独創性を涵養する教育・研究

- 論理的な思考力を養い、幅広い学識と豊かな人間性を育む教育・研究を行います。
- 研究意欲を高め、高度な専門的学術知識の修得を目指すとともに、創造性と独創性を涵養する教育・研究を積極的に進めます。

博士前期課程

情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者および高度専門技術者を育成することを目的とし、総合的な分析力、企画力、判断力および国際的視野を身に付けた人材を養成しています。全研究科共通科目・専門基礎科目などを学んだ上で修士論文を作成し、それが認められれば修士(情報工学または情報科学)の学位を取得できます。

博士後期課程

情報基盤のグローバル化、ボーダレス化に伴い、パラダイムシフトを予見し、先導するための国際的な視野と競争力を持つ高度な研究者・技術者の養成は必要不可欠です。そこで、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目指した教育・研究に取り組んでいます。前期課程と同様に所定の科目の単位を取得し博士論文が認められれば、博士(情報工学または情報科学)の学位が授与されます。

大学院での教育・研究

芸術学研究科

芸術学研究科は、高度な文化芸術の創造・発展に貢献することを理念とし、美術、デザイン、工芸に関する卓越した創作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を養成することを目的としています。

教育・研究の特色

芸術学研究科は、人材育成の目的を達成するため、次のような特色を持った教育・研究を行っています。

- 1 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究を行っています。
- 2 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究を行っています。
- 3 現代社会に対応する芸術領域の研究として、創作への深い理解に基づいた理論や歴史の教育・研究を行っています。
- 4 理論の習熟を基にした創作を探求し、創造表現およびその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究を行っています。
- 5 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究を行っています。

博士前期課程

博士前期課程では、美術、デザイン、工芸に関する幅広い知識と高度な技術、深い感性を体得させ、その基礎となる豊かな学識を養うことにより、将来、作家、デザイナー、教育者、研究者、学芸員(キュレーター)、ギャラリストなどの領域において指導的な役割を果たすことができる、幅広い視野と高度な表現力を持った人間性豊かな専門家を養成することを目標としています。

博士後期課程

博士後期課程では、芸術に関する高度な創造・表現の技術と理論を研究し、芸術文化に関する幅広い識見を有する芸術家および研究者を育成します。他領域との融合を重視し、学際的な識見を持ち、円満な人格と豊かな人間性に貴かれ、併せて時代に対応する創造性豊かで国際的視野を有する人材を養成することを目的としています。

広島平和研究所
Hiroshima Peace Institute
附属施設
Facilities



広島平和研究所

広島平和研究所長 吉川 元

広島市立大学に広島平和研究所が設立されたのは1998年4月のことです。当研究所は、被爆地・広島で平和を模索し、平和を創造するための学術研究機関として重要な役割を担っています。なぜ戦争は勃発するのでしょうか。なぜ核兵器の廃絶ができないのでしょうか。なぜ世界各地で武力紛争が絶えず、多くの人々が貧困に苦しんでいるのでしょうか。なぜ平和であっても、多くの国で政府は国民を虐げ、人権を侵害するのでしょうか。平和と人間の安全保障とは、いったいどのような関係にあるのでしょうか。

平和創造にも人間の安全保障にも、多くの課題があり、さまざまな障害が横たわっています。こうした疑問の解明に取り組むことが広島平和研究所に課せられた使命です。そして得られた平和研究の成果を学生たちとも共有しています。

平和外交を展開してきたはずの日本なのに、その日本を取り巻く東アジアの国際関係は、今日、世界でもっとも緊張する地域のひとつであり、これまで以上に平和創造は喫緊の課題として私たちに突きつけられています。

平和創造と人間の安全保障の実現には、政治と外交が重要な役割を果たします。その政治と外交を動かすのは、まさに皆さんの平和観であり、学術的に裏打ちされた見識です。広島市立大学でわれわれと共に平和について学びませんか。



●国際平和文化都市広島の「知」の拠点

世界初の核兵器による被爆を体験した「広島」の地に生まれた総合大学として、本学では、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指し、附置研究機関である広島平和研究所を設置しました。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造に取り組んでいます。

●市民、そして世界への情報発信

広島平和研究所の活動状況は、随時ウェブサイトやニュースレターにより世界に向けて情報発信しています。研究成果は、「国際シンポジウム」や「フォーラム」および「連続市民講座」等の開催や、紀要『広島平和研究』、『広島平和研究所ブックレット』等の出版物、論文などにより市民に広く公開しています。

●学部・大学院教育への参与

本学の学部教育では、「平和研究Ⅰ／Ⅱ」、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A (ヒロシマと国際平和)」、「広島からの平和学:実践の方法」、「平和インターンシップ」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」、「HIROSHIMA and PEACE Fall Seminar」、そして「歴史学」、「法学(日本国憲法)」の各講義を研究員が担当しています。また、平和・核兵器廃絶のための優れた研究・研究者を育成するために、大学院博士課程前期・後期の教育にも参画し、研究成果を教育に還元しています。

担当科目紹介

広島からの平和学:実践の方法

広島における平和の取り組みは、被爆体験を出発点としつつ、世界の多様な課題にも目を向けてきました。本講義は、広島の平和の取り組みに関する一定の基礎知識や関心を持つ2年生以上を対象とし、広島の経験を生かして平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶことを目的としています。広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学びます。最終レポートでは、自ら参加可能な実践活動案に関する提言をまとめます。

平和インターンシップ

広島市周辺に存在する郷土資料館、現代美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題をより多角的に学びます。本インターンシップは広島平和文化センター主催の市民講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携して前期に実施している集中講義「広島からの平和学:実践の方法」の後期日程でもあります。

平和研究Ⅰ／Ⅱ

平和研究所教員による国際学部向けのオムニバス形式の講義です。[Ⅰ]では、現代の世界において平和を創造するために何が求められているのかを学問的に追究するために、平和研究に関する基本的な概念や枠組み、方法論を習得するとともに、当分野における問題点、課題などを学びます。広島・長崎をはじめとして戦争体験に根差している地域の視点を主眼に据えつつ、国家から個人に至るさまざまなレベルから平和を創造するためのアプローチを考察していきます。[Ⅱ]では、平和および紛争研究の具体的な事例について、広島平和研究所各教員の研究成果を参考にしながら学び、現代の国際社会が直面する課題について考えます。



所長(教授)
吉川 元 KIKKAWA, Gen
国際関係論、国際安全保障論、予防外交論



副所長(教授)
水本 和実 MIZUMOTO, Kazumi
国際政治・国際関係、核軍縮、安全保障



教授
ガネサン・ナラヤナン GANESAN, Narayanan
東南アジア政治、国際関係



准教授
河上 暁弘 KAWAKAMI, Akihiro
憲法学、地方自治論、平和学



准教授
金 美景 KIM, Mikyoung
社会学、北東アジア問題



講師
桐谷 多恵子 KIRIYA, Taeko
国際文化、戦後広島・長崎両市の復興史



准教授
ジェイコブズ、ロバート JACOBS, Robert A.
核兵器の歴史・文化



准教授
孫 賢鎮 SON, Hyun Jin
朝鮮半島の国際関係論、国際法、北朝鮮問題



講師
高橋 博子 TAKAHASHI, Hiroko
アメリカ史、グローバル・ヒューマニテイ



講師
竹本 真希子 TAKEMOTO, Makiko
トイツ近現代史、平和思想・平和運動史



准教授
永井 均 NAGAI, Hitoshi
日本近現代史、日本・フィリピン関係史



准教授
福井 康人 FUKUI, Yasuhito
国際法(軍縮国際法、国際人道法等)、国際関係論(国際安全保障)



教授
湯浅 剛 YUASA, Takeshi
ポスト・ソ連空間の地域機構、安全保障

附属施設

附属図書館

附属図書館長 前田 香織（情報科学研究科教授）



図書32万冊、雑誌約400誌、視聴覚資料1,300タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディーに手に入れることができます。館内には無線LAN環境が整備されており、Web情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできます。また、新しく開設されたラーニング・コモンズでは、ディスカッションもでき、多様な学習や交流に役立つ場となっています。地域にも開放された、多彩な空間を持つ図書館です。

語学センター

語学センター長 渡辺 智恵（国際学部教授）



各教室にCALL（コンピュータ支援語学学習）システムを備え、通訳訓練や翻訳といった授業だけでなく、Webを利用した自習形式の授業「CALL英語集中」の教室としても利用されています。自習室では、約4,000の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK各語学講座テキスト・CDが利用可能で、リアルタイムで外国テレビ放送を視聴できるなど、非常に充実した学習施設です。

情報処理センター

情報処理センター長 石田 賢治（情報科学研究科教授）



高性能なネットワーク通信機器を備え、さまざまなネットワークサービスを提供しています。実習室にはパソコンを約160台設置し、1年生の必修科目である「情報基礎」の教室や自習スペースとして活用されています。教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できます。実習室以外では、学内のあちこちでメールやWeb閲覧ができる無線LAN、休講・補講情報が確認できるデジタルサイネージ、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備も整備しています。

芸術資料館

芸術資料館長 藤谷 実（芸術学部教授）



教育・研究のための参考資料として、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチほか、国内外の作家の作品を収蔵しています。また、研究成果としての作品群「光の肖像」シリーズ、デザイナーズチェア67点など、幅広い分野の収集を行っています。企画展や研究発表展の開催、国内外の美術館への作品貸出により、コレクションを一般に公開しています。学生は授業や展覧会でこれらの作品を鑑賞することにより自らの制作に生かし、創作の水準を上げるよう努力しています。

国際交流推進センター

国際交流推進センター長 松本 良徳（特任教授）



学生の海外留学派遣および留学生受入に関わる企画・広報・実施・相談などのサービスの提供に加え、国際化の面から大学の教育や研究の活性化を広範にサポートする活動に取り組んでいます。また、グローバル人材育成に向けて、熱意のある学生を親身に応援する体制を充実させ、将来を切り拓いていくこうとする学生を後押ししていきます。

キャリアセンター

キャリアセンター長 井上 智生（情報科学研究科教授）



学生自らがキャリア（進路）について考え行動できるように、求人情報などの就職関連情報を随時提供することに加え、就職支援セミナーの実施や企業の採用担当者を多数招く「大学説明会」の開催など、さまざまな支援を行っています。また、経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

社会連携センター

社会連携センター長 竹澤 寿幸（情報科学研究科教授）

広島市立大学では、教育や研究だけでなく社会貢献にも積極的に取り組んでいます。その対象は、地域住民、地元企業、広島市をはじめとする行政機関などさまざまです。社会貢献活動の中心的役割を果たす「社会連携センター」は、大学と社会、人と人とのつながり、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携・地域連携の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。



ヒロシマビースキャンプ 2014



社会連携センターが支援する産学連携・地域連携の取り組み事例

●研究成果の産業界への還元を通じた社会貢献

- 研究成果の社会還元を推進するため、企業等と連携した共同研究や技術相談を実施しています。
- 産学連携研究発表会 ● 共同研究・受託研究の促進 ● 企業等からの技術相談

●行政や市民団体との協働による社会貢献

地域住民や広島市と協力しながら地域の活性化を目指します。

- 行政課題解決への協力 ● NPO、市民等との協働事業 ● 生涯学習支援
 - 大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等
- 平成26年5月に、基町プロジェクト活動拠点施設「M98」を開設しました。

●知的財産の管理と活用

知的財産の権利化、管理、技術移転を行います。

●プロジェクト研究

産業界への技術移転などにつながる研究や行政課題に対応した研究を通じ、研究成果の産業界・地域社会への還元を推進しています。

●公開講座の開催

市民を対象としたさまざまな公開講座を開催します。

- 一般市民向けの講座、中学・高校生向けのサマースクール、社会人向けの技能講座
- 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

平成26年度 公開講座

学部	区分	テーマ
国際学部	講演・パネルディスカッション	大衆文化を通じた国際交流～世界各国における日本の大衆文化・日本における世界の大衆文化～
	市大英語 e ラーニング講座	リーディング・リスニング・文法プログラム スピーキングプログラム ライティングプログラム 小学校英語教育指導者養成プログラム 通訳ガイド養成プログラム
情報科学部	高校生による情報科学自由研究	
	高校生のための情報科学ゼミナール	● 情報総合理工学で切り拓く医用情報科学 ● 脳を情報科学で解き明かす
芸術学部	実践情報科学セミナー	● テキストマイニング：テキストからの情報発見 ● 音響解析・デザインの基礎
	社会人対象講座	講演会 ● 未来の医療を切り拓く医用情報科学
一般	一般向け講座	日本画、油絵、版画、彫刻、デザイン工芸
	中・高校生向けサマースクール	日本画、油絵、彫刻、デザイン工芸
	社会人向け工芸・版画技能講座	漆、金工、染織、版画

●県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

「社会人のための英語再チャレンジ」

- 英文和訳から英日翻訳へ
～やさしいミステリを日本語らしい訳文にしてみる～
- 通訳者に学ぶ英語学習法
- 'The Little Song' The Sonnet from Shakespeare to Today
「ひろしま学を考える」
- 広島の伝統ファミリー企業のリノベーション
- 広島の伝統工芸を見直そう

●シティカレッジ提供講座

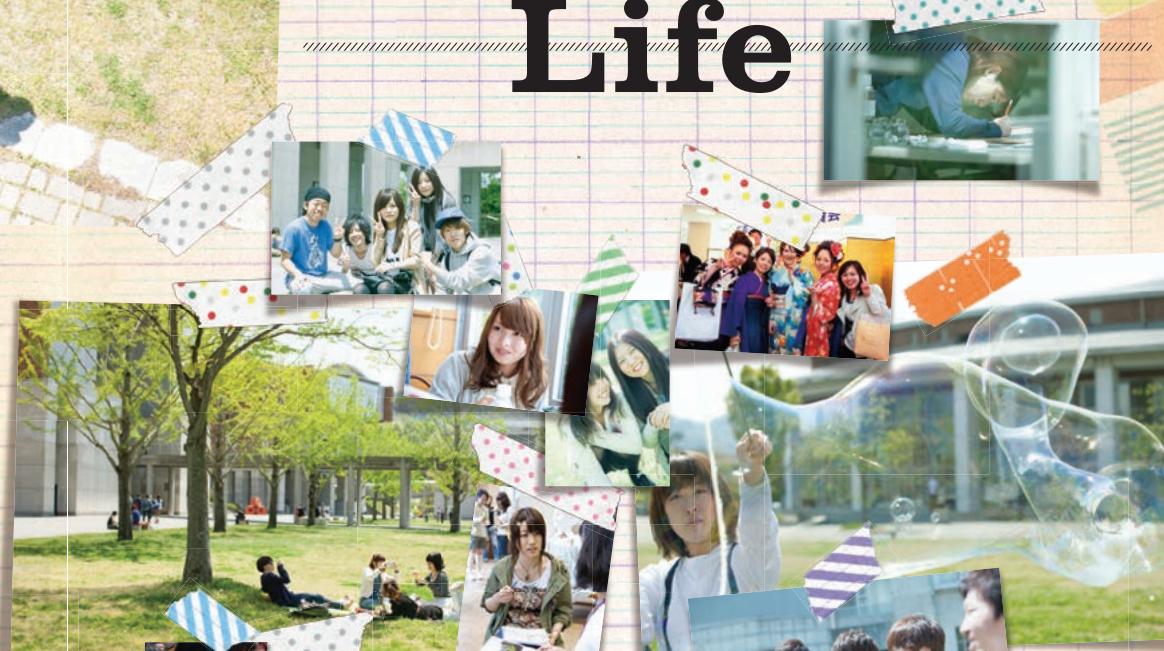
「スポーツによるまちづくり」 ～広島市民とスポーツ～

- 大学とプロ野球・サッカーとの連携について
- 広島アイデンティティとエスニック政治
- 番記者が追う広島東洋カープ
- 土地の記憶とスポーツ～日系移民のカーブ観～

●平成 26 年度市大生チャレンジ事業

学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動に対し、活動費の一部を助成しています。

テーマ	内容
ヒロシマビースキャンプ2014	平和記念式典に参加する国内外の来賓者のために臨時キャンプサイトを運営する。
広島平和ポスター展	課題で制作した平和ポスターを一般公開し、広島で学ぶ学生が平和を伝える。
市大生によるパソコンなんでも相談室2014 秋	大学で学ぶ情報科学の知識を、市民や社会に還元するとともに、自身のコミュニケーション能力を向上させる。
地域における情報リテラシーの向上および情報モラルの育成	情報リテラシー向上および情報モラル育成のための講演活動等を行う。 小学校におけるICT活用支援を行う。
バイオニアプロジェクト	竹林の拡大問題解消のために竹を伐採し、伐採した竹を用いて創作活動を行う。
広島市域でのプログラミング技術の普及活動	プログラミング等の勉強会を、情報系の企業に勤務する方や、学生を対象に行う。



Campus Life

学部を越えた交流が生み出す、

楽しく刺激的な時間

大学生活には、授業以外にも夢中になれる時間があります。

クラブやサークルなどの課外活動は「好き！」に全力で打ち込めるひととき。

個性あふれる3学部の仲間が集まれば、楽しい化学反応の始まりです。

得意分野を生かした役割分担が自然と出来上がって、

いつの間にかスムーズに事が運んでいるなんてことも。

ジャンルを越えて認め合い、笑い合ったキズナは、一生の宝物になるはずです。

Campus Calendar

キャンパスカレンダー

- 春季休業
- 入学式
- オリエンテーション
- 定期健康診断
- 市大キャンバスウォーキング
- 履修ガイダンス
- 前期授業開始
- 交換留学生とのパーティー
(意見交換会)

- 情報科学部
新入生オリエンテーションセミナー

- 開学記念日(14日)
- プレ・オープンキャンパス(14日)
- ごみゼロ・クリーンウォーク

- 七タライブ
- 前期定期試験(～8月上旬)
- HIROSHIMA and PEACE

- オープンキャンパス(2日)
- インターンシップ(～9月下旬)
- 夏季休業(～9月下旬)
- 全学休業日(13、14日)
- キッズキャンパス

4月
Apr.

入学式

5月
May.

交換留学生とのパーティー

6月
Jun.

七タライブ

7月
Jul.

HIROSHIMA and PEACE

8月
Aug.

オープンキャンパス

9月
Sep.

大学祭



芸術学部卒業・修了作品展



卒業式

10月
Oct.

- 後期授業開始
- ライブキャンパス(12日)
- 通学路等クリーンキャンペーン

11月
Nov.

- ホームカミングデー
- 大学祭(10月31日、11月1日)

12月
Dec.

- 防火・防災訓練
- 冬季休業(～1月上旬)

1月
Jan.

- テーマ制作展
- 後期定期試験

2月
Feb.

- 後期定期試験
- 学年末休業(～3月下旬)

3月
Mar.

- 芸術学部卒業・修了作品展
- 西風新都駅伝大会
- 卒業式・卒業・修了祝賀会

※平成27年度のカレンダーです



1 経済面をサポート

● 特待生制度

2年次以上の学部生を対象として、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生に対して1人当たり年額200,000円の奨学金を給付する特待生制度があります。平成26年度から制度を開始し、2年生から4年生の各学年10名の学生を特待生として選考し、奨学金を給付します。

● 奨学金制度

本学では「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、自治体や民間団体などさまざまな奨学金を扱っています。日本学生支援機構奨学金は、大学に在学する優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者に対して学費を貸与・給付するもので、無利子の「第一種」と、有利子の「第二種」があります。どちらも、出願者の中から、学力、人物、家計、健康を総合的に判断して、本学が日本学生支援機構に推薦します。また、自治体や民間団体などの奨学金で、大学を通して募集するものは、隨時掲示して周知しています。

● 授業料奨学融資利子補給制度

経済的な不安を抱える学生を支援するため、金融機関と提携し、授業料の融資を受けた学生に対し、在学中の利子を補助する制度を設けています。

● 入学料・授業料等の減免・徴収猶予

入学前1年内に災害を受けた場合などの一定の要件で、入学料等の減免を受けることができます。(入学手続までにご相談ください。)また、「経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合」には、授業料の減免または徴収猶予を受けることができます。

2 生活面(住居)をサポート

キャンパス内に学生寮があり、自宅からの通学が困難な学生のために提供しています。学生寮は4棟からなり男女各48室の個室を整備しています。入居期間を2年間として、毎年、男女各20名程度の新入生が入居しています。使用料は月額5,900円(共益費年額1,000円、光熱水費の実費は別途徴収)で、管理人も常駐していることから、経済的で安心できる居住スペースとして人気があります。また、1階はバリアフリーとなっており、車椅子で生活されている方も安心して寮生活を過ごせます。入寮している学生同士の交流も盛んで、各種イベントが企画されたり、外国人留学生も入寮していることから国際交流の場にもなっています。学生寮以外の住居についても、アパート、ワンルームマンション、下宿などの賃貸情報を、学生の皆さんがいつでも閲覧できるようにしています。

3 課外活動をサポート

クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行うための経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報も随時提供しています。毎年6月には、市内一円で行われるごみゼロ・クリーンウォークに参加したり、秋には通学路等クリーンキャンペーンに参加したりするなど、幅広く活動機会を提供しています。その他、テントやクーラーボックスなどのキャンプ用品、ビデオカメラなどの視聴覚機器、そしてソフトボール用具やテニス用具などの運動用具等の無料貸出も行っています。

4 心身の健康と安全・安心をサポート

心と体の両面から快適な学生生活を過ごすことができるよう、さまざまな配慮をしています。学生の「癒しの場」にもなっている「保健室」ではケガや病気の応急処置と健康相談を、落ち込んだ時の「支え」になる「相談室」では心配事や悩みを聞いたり「自分探し」を手伝ったりする学生相談を行っています。また、セクシャル・ハラスメントを含む、学内のハラスメントの発生防止を図るために、教職員10名をハラスメント相談員に任命し、苦情の申し出や相談に応じています。さらに、トレーニング方法などを体育教員がアドバイスする「スポーツ相談」も実施しています。他にも、通学中、授業中、またはクラブ活動中にケガをした場合などのために、傷害保険・賠償責任保険に加入したり、個人ロッカーの無料貸出を実施したりするなどのサポートをしています。

Clubs & Circles

クラブ & サークル

クラブ・サークルは、自分の可能性を広げるとともに、
新たな「つながり」をつくるきっかけにもなります。

本学では、定番のクラブ・サークルに加えて、平和活動を行うクラブや
広島東洋カープを応援するクラブなど、ユニークなものも多数あります。
学部学生の半数以上が大学公認のクラブ・サークルに所属しており、
活発な活動を行っています。

ダンス部紹介 | Message

こんにちは! 私たちは広島市立大学ダンス部です。私たちダンス部は、部員の8割が初心者ですが、みんな
すぐ踊れるようになります。初心者でも、経験者でも、入部大歓迎です!
活動の基本は週2回の部活。ダンスの基礎練習を中心に、わいわい楽しくやっています。初心者でも先輩が
わかりやすく教えてくれるので安心。それとダンス部が参加する主なイベントとしては、7月の初めにある
七夕祭、夏休みにある合宿、10月後半にある大学祭、そして3月中旬にあるヤングフェスタなどなど。それ
ぞのイベントに向けての練習もしています。部員の中には、これらのイベントだけでなく、県外のイベン
トへ出場したり、海外へイベントを見に行ったりするなど、アクティブな活動をしている人もいます。多くの
イベントへ参加することで、他の出場者や現地でダンスをしている人とも交流ができ、つながりが広がり
ます。言葉は通じなくてもダンスで通じ合うことも可能だと思います。
部活を通してみんなでひとつのものをつくる楽しみを味わい、ダンスを通して大切なつながりをつくる。
そんな充実感あふれる大学生活にしてみませんか?



Sports Clubs

Sports(体育系)

[クラブ]

- サッカー部
- ラグビー部
- 硬式テニス部
- 軟式野球部
- トライアスロン部
- 剣道部
- 男子バスケットボール部
- 弓道部
- アーチェリー部
- バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- 水泳部
- 女子バレーボール部
- 合氣道部
- ダンス部
- 女子バスケットボール部
- 卓球部
- T.A.S(ソフトテニス)
- スコット団(カープ応援サークル)
- 少林寺拳法部

[サークル]

- FC海人(サッカー)
- TENSION(硬式テニス)
- Olive(フットサル等)
- 空手道

Clubs & Circles

クラブ & サークル



S2(平和活動)紹介 | Message

私たちは「平和活動サークルS2(エスツー)」です。S2とは、Smile Smileの略で、身近なところから笑顔を増やすことで平和を築いていきたいという想いが込められています。

主に、4つのグループに分かれており、基本的に自分の興味のあることを勉強したり、やりたいことを自由にできたりします。今現在のグループは、国内、国外、TFT(table for two)そしてユニチルの4つです。

「国内」では、毎年8月6日にイベントを行っており、2014年度は「Peace Cafe 8.6」というイベントを開催し、平和公園内のガイドや学生とのディスカッションをしました。「国外」は、主に世界の紛争やジェノサイドについて勉強しています。自分たちで調べるだけではなく、映画を観たり、教授に質問をしたりして、世界の諸問題について学んでいます。「TFT」では、ヘルシーメニューを1食食べることで、売上的一部分が貧困国の給食に寄付されるTFTメニューを大学の食堂に導入しました。大学祭でもTFTメニューを販売しました。「ユニチル」は、世界の子どもたちについて映画やドキュメンタリーを観て学んでいます。大学祭ではフリーマーケットやフェアトレード商品を販売し、世界の貧しい子どもたちに寄付をしました。

この他にもS2全体として、広島東洋カープのピースナイターにおいて学生による人文字作成をするなど、幅広く活動しています。



Culture(文化系)

[クラブ]

- 茶道部表千家
- 裏千家茶道部
- 自主制作映画研究会
- Music Art Club(軽音楽)
- 電子音楽部
- 陶芸部
- マンドリン・ギター部
- 吹奏楽部
- 演劇部
- Table Game 研究会
- 上田宗箇流茶道部
- CREATIVE(創作活動)
- マスコミ研究会
- ねっこ広島(環境ボランティア)
- Pret-a-Porter(ファッショニ)
- S2(平和活動)
- にっこり(韓国文化)
- 熊猫(パンダ)会(中国語)
- アカペラサークルregalo
- HIF(国際交流)
- 天文研究会

[サークル]

- Sign(手話愛好会)
- 落語研究会 落花生
- 囲碁サークル
- プログラミング同好会
- レゴマス
- 料理研究会
- Mr. Children同好会

●大学祭実行委員会 秋に開催する大学祭の企画・運営をする組織です。

Culture clubs



Campus Map

キャンパスマップ



広島市立大学 サテライトキャンパス

所在地：広島市中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル9階

本学の市内中心部における活動拠点機能強化と市民の生涯学習のさらなる推進のため、市内中心部にサテライトキャンパスを開設しています。セミナールームやPCルーム、小教室などを備えており、各種講演会、セミナー、公開講座を実施するほか、学生と地域住民との交流の場としても活用しています。

●学生寮

他県など遠方からの入学生に対して安価な住居を提供しています。1・2年生の男女、100名弱が入居して共同生活を営んでいます。キャンパス内にある学生寮の1階はバリアフリーになっており、車イスの方でも安心して利用できます。外国人留学生も入居しており、国際交流の場となっています。



- ① 本部棟・国際交流推進センター・キャリアセンター
- ② 講堂
- ③ 図書館・語学センター棟
- ④ 学生会館
- ⑤ エネルギーセンター
- ⑥ 芸術資料館
- ⑦ 芸術学部棟
- ⑧ 工房棟
- ⑨ 講義棟
- ⑩ 国際学部棟
- ⑪ 情報処理センター
- ⑫ 情報科学部棟
- ⑬ 情報科学部棟別館・広島平和研究所・社会連携センター
- ⑭ 体育館
- ⑮ グラウンド
- ⑯ トラック・フィールド

●グラウンド、トラック・フィールド

全天候型のテニスコート4面と、野球、サッカーなどが可能なグラウンド、トラックフィールドがあります。サークル、クラブ活動以外でも、利用することができます。



●体育館

バスケットコートが2面使用できるアリーナや、本格的なトレーニングルーム等を備えた施設です。授業やクラブ、サークル活動のほかにも、多目的な利用が可能です。



●学生会館

学生食堂やクラブハウス、売店、ATMなど、学生生活に欠かせない機能がそろっています。中でも、学生食堂は、吹き抜けの天井から太陽の光が射し込む心地よい空間です。ランチメニューも充実しており、カフェテリアでランチしたり、お茶したり。学生たちの交流の場となっています。



●保健管理室（保健室・相談室）

心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生の「疾患の予防」と「健康相談」、「カウンセリング」を中心に健康の維持増進を図ります。



●講堂

壁面レリーフや舞台の緞帳などに芸術学部教員たちの作品を生かした、本学ならではの施設です。大小のホールと、大型スクリーンや国際会議も可能な同時通訳設備と、機能も充実しています。

就職

Careers

キャリア・就職サポート

学生自らがキャリア（「働くこと」を踏まえた生き方）について考え方行動できるように全力でサポートします。

進路支援の2つのポイント

大学をあげての支援

学生のキャリア形成支援・就職支援は、文字どおりキャリアセンターが中心となって全学的に取り組んでいます。大学説明会・情報交換会・合同企業セミナーの開催、大阪・東京・岡山方面の企業研究ツアーの実施、各種就職支援セミナーの開催、保護者対象の教育・進路説明会の実施など、さまざまな角度からの就職支援を、後援会と連携・協力しながら取り組んでいます。

きめ細かな個別指導

教員と学生の距離が近い本学は、就職支援でもその環境が生かされた細やかなサポートを実現しています。キャリアセンターでは、就職活動だけでなく個別の進路相談に対応しています。志望や適性に沿って一人ひとりに合った指導を行い、キャリア形成を支援しています。

◎インターンシップ

企業などで実習体験する「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置付けています。単に体験するだけでなく、実習と事前セミナーや報告会とを組み合わせて実になるものをを目指し、インターンシップ研修の充実や協力企業の開拓にも取り組んでいます。広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動を行っています。



◆広島東洋カープ企業インターンシップ(国際学部生対象)

広島東洋カープには、カリブ海の国、ドミニカ共和国に地元の若手野球選手たちを育成する施設（カープアカデミー）があります。ここで現地のスタッフと一緒に仕事をしながら、さまざまな体験することができます。また、インターンシップを通じて、自ら期限を決め、スケジュール管理を行うことや予定外の事態にも臨機応変に対応できるように準備しておくことの重要性など、社会人として大切な事柄を学ぶことができます。

◆在日米国大使館・総領事館インターンシップ

在日米国大使館（東京）および総領事館（大阪）の学生インターンシッププログラム（電話での顧客対応、データ入力、企業リサーチ、展示会等のイベント補助など）の参加を通じ、学生が異文化に触れる機会や国際的に活躍する人材と交流する機会を提供しています。一般公募とは異なり、年2回（夏休み・春休み各2名、約1ヶ月間）学内で公募・選考し、受け入れもらっています。

◆広島市有給長期インターンシップ

広島市が平成26年度から実施している有給のインターンシップです。企業と学生が雇用契約を締結し、夏休み期間中の1ヶ月半程度、受入企業の実際の職場で働きながら与えられた課題に取り組むインターンシップです。参加学生には受入企業から賃金が支払われるため、企業の一員として責任を持って働くことが求められます。また実際の業務に従事することで、働くことについての具体的なイメージを持つことができます。

◎大学説明会・情報交換会

大学説明会では、約250社の企業の採用担当者を招待して、学生および教職員が一体となって本学の概要や各学部、研究科の特色などを紹介しています。情報交換会では、学内外で活躍している学生によるポスターレゼンを通じて、学生の意欲や資質をPRしています。学生によるプレゼンは企業の方から好評をいただいています。



◎学内合同企業セミナー

企業の採用担当者と学生の情報交換の場として年2回実施しています。平成27年3月には平成28年3月卒業・修了予定の学生を対象に5日間で276社の企業の参加がありました。参加企業は「市大生を探りたい」という本学のファンばかりで、毎年、このセミナーの参加企業から多くの学生が内定を頂き就職しています。近年では本学卒業生が採用担当者として参加することが多くなり、人のつながりが広がっています。



◎就職支援パートナーシップ制度

本学は、「就職支援パートナーシップ制度」に参加しています。この制度は、在籍する大学がある地域とは異なる地域で就職（Uターン、Jターンなど）を希望する学生のために、各大学がサポート（地元の求人情報の閲覧、学内合同企業セミナーの情報提供、就職相談、就職ラウンジの利用など）を行うものです。

《パートナー大学》

横浜市立大学、北九州市立大学、静岡県立大学、兵庫県立大学、大阪市立大学、福井県立大学、信州大学、都留文科大学、国際教養大学、名古屋市立大学

◎キャリア形成・実践科目

「キャリアデザイン」、「キャリアサポートベーシック」は、キャリアセンターが提供するキャリアデザインのための全学共通科目です。進路や職業選択に向けて、大学で何を学び、大学生活をどう過ごせばよいかを考えながら、キャリアデザインを実現するため、特に働くことと就職にかかる具体的な知識・スキルを学びます。外部講師や卒業生を招いての講義も組み込まれています。他にも適職診断や礼儀・マナー講座などさまざまなセミナーが用意されており、これらが互いに連動して実践力を身に付けられるようになっています。

◎キャリアアドバイザー

キャリアセンターには2名の経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しています。随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

就職活動体験談

国際学部 国際学科 4年 高橋 秀作



自分を見つめ直すきっかけを与えてくれました

求人情報の提供や面接の指導など、さまざまなサポートが私の就職活動を助けてくれました。特に、私が一番お世話になったのは、自己分析のときです。私が考えていたような仕事に就くことが難しい状況になったとき、私は途方に暮れました。そのときキャリアアドバイザーが自分を見つめ直すきっかけを与えてくれました。本当に自分がしたい仕事が何なのか、突き詰めて考えていくことで進路の幅が広がったのです。こうした自己分析は自分一人では難しく、いつでも相談に乗ってくださるキャリアセンターの方がいてくれたことで、就職活動を続けていくことができました。後輩の皆さんも就職活動を行う上で困ったことがあったら、キャリアセンターにぜひとも相談に行ってください。

情報科学部 情報工学科 4年 山田 知明



学内で就職先企業に出合いました

就職活動の際、キャリアセンターのさまざまな就職支援を利用しました。その中で私が最も利用して良かったと思ったのは、学内の企業説明会です。合同・個別にかかわらず、学内の説明会に参加されている企業は、「市大の学生を探りたい!」という意思を持って参加されています。私も大学で説明会を開かれた企業に内定を頂きました。ここでぜひチャンスをつかんでほしいと思います。また、就職活動中は内定がもらえない等の理由で不安になることがあると思います。そういう時はキャリアセンターに相談しにいくと不安の解消の手助けをしていただけるだと思います。後輩の皆さん、私たちをサポートしてくれるキャリアセンターを上手に利活用しましょう。

芸術学部 美術学科 3年 田中 菜摘



仕事とは「誰かの力になる手段」

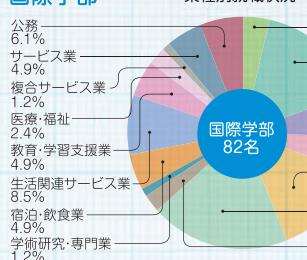
3年生の夏、「有給長期インターンシップ」に広島市役所情報政策課の職員として参加しました。参加理由は「社会で自分の力がどれくらい通用するのか試すため」でした。夏休みの35日間、10の企業との協議や、広告デザインの仕事、観光アプリ開発による海外旅行者集客活動に携わらせてもらうなど責任ある仕事を経験しました。社会経験のない私には難しい業務ばかりでしたが、仕事が単なる「生活のためのお金もうけ」ではなく「誰かの力になるための手段」とすると気付き、考え方方が180度変わりました。このインターンシップは間違いなく自分の視野を広げてくれるものです。後輩の皆さんには、1年生の頃から3回もインターンシップに挑戦できるチャンスがありますので、ぜひとも自分を試してみてください。

就職データ

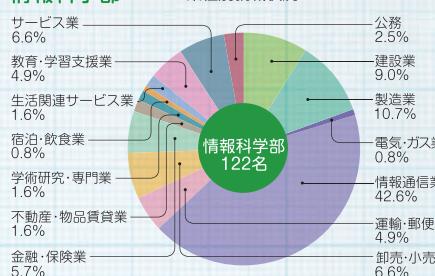
平成27年3月大学卒業者の学部別就職状況

区分	国際学部	情報科学部	芸術学部	合計
卒業者(名)	92	222	85	399
就職希望者(名) A	82	126	40	248
就職決定者(名) B	82	122	34	238
就職決定率 B/A×100(%)	100	96.8	85.0	96.0
(参考)進学者(名)	3	81	23	107

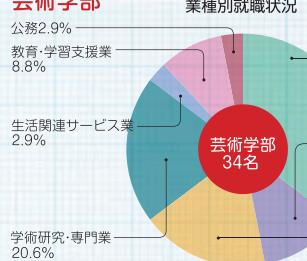
国際学部



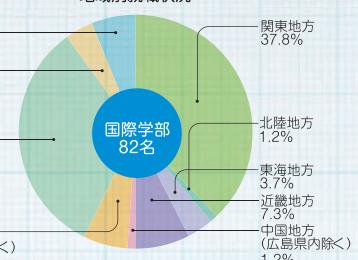
情報科学部



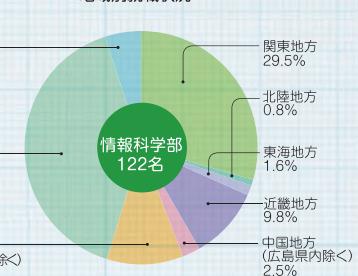
芸術学部



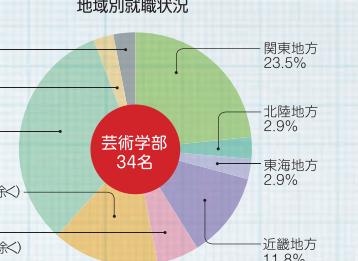
地域別就職状況



地域別就職状況



地域別就職状況



就職先・進路(国際学部)

国際学部卒業生は、国際機関、企業、公務員、教員、国内外の大学院など、幅広い進路で活躍しています。

企業に就職

各プログラムから提供される専門科目、そしてそれを複数のプログラムから選択して学修することにより、専門性と幅広い視野を兼ね備えた国際学部の卒業生は、国内外の幅広い企業で活躍しています。

■ 主な就職先（五十音順）

- アイホン(株)
- サンフレッチェ広島
- TOTO(株)
- 株百十四銀行
- アサヒビール(株)
- JFEスチール(株)
- 西日本電信電話(株)(NTT西日本)
- 株ファーストリテイリング
- 株アシックス
- 株JTB中国四国
- 日産自動車(株)
- 株フジクラ
- 味の素(株)
- 株JALグランドサービス
- 株日本政策投資銀行
- 富士ゼロックス(株)
- イオン(株)
- 重慶長安鈴木汽車有限公司
- 日本通運(株)
- 富士通(株)
- 株石崎本店
- 新開西国際空港(株)
- 日本ベイン(株)
- ブリストル・マイヤーズ(株)
- 岩谷産業(株)
- 株新潮社
- 日本放送協会(NHK)
- 株プリムスホテル
- 株ウッドワン
- 新日鐵住金(株)
- 日本郵便(株)
- 株東京ヒューマニアエンタプライズ
- 株エイチ・アイ・エス
- 株SCREENホールディングス
- 日本アイ・ビー・エム(株)
- マツダ(株)
- エーザイ(株)
- 積水ハウス(株)
- 日本銀行
- 丸善(株)
- SMBC日興証券(株)
- セコム(株)
- (一財)日本国際協力センター
- マツダロジスティクス(株)
- 株NTTドコモ
- 全日本空輸(ANA)
- 日本食研ホールディングス(株)
- 株ミカサ
- 株エフピコ
- ソニー損害保険(株)
- 日本生命保険(相)
- ミズノ(株)
- オイレス工業(株)
- 第一生命保険(株)
- 株日本旅行
- 三井住友海上火災保険(株)
- 大塚製薬(株)
- ソフトバンク(株)
- 西日本高速道路(株)
- 株三井住友銀行
- オダフクソース(株)
- 損害保険ジャパン日本興亜(株)
- 野村證券(株)
- 株三越伊勢丹
- オリックス(株)
- 大陽日酸(株)
- パイエル薬品(株)
- 三菱重工業(株)
- 株オントワード控股
- 大和証券(株)
- バナソニック(株)
- 三菱UFJ信託銀行(株)
- キューピー(株)
- 高砂熟成工業(株)
- パンデー化學(株)
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
- 株共同通信社
- 武田薬品工業(株)
- 広島アルミニウム工業(株)
- 株明治
- クリンピール(株)
- 株中国新聞社
- 広島エフエム放送(株)
- 明治安田生命保険(相)
- 株クボタ
- 中国電力(株)
- 広島ガス(株)
- 株もみじ銀行
- KDDI(株)
- 株中電工
- 株広島銀行
- 株リクルートホールディングス
- コカ・コーラウエスト(株)
- ツネイシホールディングス(株)
- 広島信用金庫
- 株リコー
- 株サタケ
- ディスク
- 広島電鉄(株)
- リヨービ(株)
- 山九(株)
- 東海旅客鉄道(JR東海)
- 株広島東洋カープ
- 株ワールド
- サントリー・パレッジサービス(株)
- 東京海上日動火災保険(株)
- 広島放送(株)

大学院に進学

より専門的な学修や高度な研究を目指し、国際学部卒業生は大学院に進学しています。修士課程を修了し、企業、国際機関、教育機関などで多くの卒業生が活躍しているほか、博士課程へ進学して大学教員として活躍している卒業生も輩出しています。

公務員・教員

広島を中心に、公務員や教員として活躍している卒業生も多数輩出しています。主な進路は、広島県内では広島市、広島市教員、広島市消防局、廿日市市、東広島市、福山市、三次市、三原市、広島県、広島県警察本部、広島県教員、また、広島県外では岡山県、倉敷市、山口県岩国市、東京都教員、香川県、警視庁、外務省、厚生労働省、国土交通省、防衛省、法務省など多岐にわたっています。

Voices (卒業生)



3つの学部が共存する大学で学んだことで
自分の視野を広げることができた

メレディス英子

アニメーション作家
(1999年3月 国際学部国際学科 卒業)

私は英語が好きで、在学中は熱心に英語を学びました。そして、いつか海外で活躍したいと願っていました。学部を卒業してから芸術学研究科(博士前期課程)造形計画専攻^(*)に進学し、アニメーションを学び、イギリスに留学しました。現在はイギリスのウェールズ地方に住み作家活動をしています。2010年から「こたつ日本アニメーション映画祭」を開催しています。残念ながらウェールズの映画館ではあまり日本のアニメが上映されません。そこで、自分で日本のアニメを紹介するイベントを企画しました。今ではファンも増えて、毎年たくさんの人々が来てくれます。映画祭の運営では、大学で学んだ英語とアニメーションが役に立っています。そして自分の視野を広げることができたのは、全く異なるタイプの3つの学部が共存する大学で学ぶことができたおかげだと思います。

こたつ日本アニメーション映画祭 <http://www.kotatsufestival.com>

(※) 現:芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻



地域で頑張る人がいるからこそ
「国際」という言葉に意味がある

八木美奈枝

理研産業株式会社 販売事業部
ESグループ PSチーム NS文教担当
(2012年3月 国際学部国際学科 卒業)

現在、地域密着企業の営業職としてシステム販売の支援チームに所属し、官公庁や学校を訪問しながらソフトウェア導入提案事業に携わっています。創業76年、広島を中心にオフィスの業務をトータルサポートする会社です。私の業務で必要となる公的機関との関係づくりには、財政学のゼミで学んだ地方財政の基礎知識が役に立っています。私が地方財政に興味を持ったのは、友人の言葉がきっかけでした。「海外を飛び回る人も地域で頑張る人も、両方とも必要」。地域で頑張る人がいるからこそ「国際」という言葉に意味があると気付いた瞬間でした。価値観を変えてくれた友人に出会えたのも、海外から国内へと目を向けた私に学びの場を与えてくれたのも国際学部です。広島市立大学は「海外で働くための大学」ではありません。学びの幅広さや豊かさが「国際的な大学」だと考えてください。

就職先・進路(情報科学部)

情報科学部卒業後は、大きく分けて2つの進路があります。会社員、公務員、教員として、社会に巣立つコースと、さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識や技術を修得した情報科学部の学生は、卒業後、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、コンピュータなど、時代の最先端の企業で活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています。

■主な就職先(五十音順)

- イオン(株)
 - ソニー(株)
 - 大日本印刷(株)
 - 中国電力(株)
 - 株日立ソリューションズ
 - 株日立ソリューションズ西日本
 - 株広島銀行
 - 広島信用金庫
 - 広島電鉄(株)
 - 広島島東洋カーブ
 - 広島トヨベット(株)
 - 富士ゼロックス(株)
 - 富士通(株)
 - 株富士通システムズ・ウエスト
 - 富士通テン(株)
 - 船井電機(株)
 - 本田技研工業(株)
 - マツダ(株)
 - 三浦工業(株)
 - 三菱重工業(株)
 - 株メイテック
 - 株明電舎
 - 横河電機(株)
 - 株リコー
 - ローム(株)
- 株ウッドワン
 - 株エディオン
 - NECソリューションイノベータ(株)
 - 株エヌ・ティ・ティ・データ
 - 株NTTドコモ
 - 株エヌギア・コミュニケーションズ
 - 株鶴岡コーポレーション
 - 株大塚商会
 - 沖電気工業(株)
 - オムロン(株)
 - オリバンシステムズ(株)
 - キヤノン(株)
 - 株熊平製作所
 - KDDI(株)
 - 株コア中四国カンパニー
 - 株サタケ
 - 株サンネット
 - シャープ(株)
 - 株ジャステック
 - 株JALインフォテック
 - セイコーホン(株)
 - 株ゼンリン
 - 株日立製作所
 - 株日立公共システムズ
 - 株日立システムズ
 - 株東芝
 - 凸版印刷(株)
 - トヨタカローラ広島㈱
 - 西日本電信電話(株)NTT西日本
 - 西日本旅客鉄道(株)JR西日本
 - 日産自動車(株)
 - 日本郵便(株)
 - 日本アイ・ビー・エム(株)
 - 日本アイビーエム中国ソリューション(株)
 - 日本電気(NEC)
 - 株野村総合研究所
 - パナソニック(株)
 - パナソニックアドバンストテクノロジー(株)
 - 株日立
 - 株日立公共システムズ
 - 株日立システムズ

大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もいます。これまで、筑波大学、東京工業大学、電気通信大学、長岡科学技術大学、静岡大学、名古屋大学、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、京都大学、神戸大学、広島大学、九州大学などの大学院に進学しています。

公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。これまでの主な進路は、広島市、広島市教員、広島県、広島県警察本部、大阪府警察本部、警察庁中国管区警察局、国土交通省中国地方整備局、財務省造幣局、防衛省海上自衛隊、防衛省航空自衛隊、東京消防庁、神奈川県教員などです。

Voices(卒業生)



学生時代のさまざまな経験が現在の教育研究に生かされている

若葉 陽一

木更津工業高等専門学校
電気電子工学科 勤務
(2014年3月 情報科学研究科 博士後期課程 情報科学専攻 修了)

現在、木更津工業高等専門学校電気電子工学科の助教として教育および研究を行っています。教育においては、情報処理とコンピュータ工学の授業を担当しています。大学で学んだ講義内容だけでなく、学生たちの興味を引き出す授業の進め方や教え方は参考にさせてもらっています。また、学外発表を何回も経験したことで、教壇に立つ度胸がつきました。研究においては、現在3人の学生に研究指導を行っています。学部から博士後期課程まで研究を行ってきた文字列照合問題やグラフ理論における最適化問題(最大クリーク問題等)について学生たちと研究を行っています。私が指導教員から受けた研究指導や論文添削、また後輩の研究の面倒を見た経験を生かし、現在の研究指導を行っています。



在学中に学んだ知識と経験が今の業務に役立っている

濱田 浩二

スズキ株式会社
二輪事業本部 二輪車体電装設計部 車両実験課 勤務
(2012年3月 情報科学研究科 博士前期課程 システム工学専攻 修了)

私は、二輪事業本部二輪車体電装設計部車両実験課に所属しています。現在は、二輪車エンジンから発生するメカニカルノイズを低減する業務に携わっています。エンジン音の解析や部品の寸法測定などを行い、問題となる音のメカニズムや対策を考案しています。大学ではサウンドデザイン研究室に所属し、音や制御に関する知識を学びながら海外発表や共同研究を行いました。研究室で学んだ音や測定の知識は、今の業務に直結しているため大いに役立っています。また、在学中に教職課程を履修し教育実習や非常勤講師を経験しました。生徒にわかりやすく伝えるためにはどうすればいいのかを考えて授業ごとの資料に工夫を凝らしたことは、後輩指導や自分の考えを整理する上で生かされていると感じています。

就職先・進路(芸術学部)

芸術学部で修得した知識と技術を生かして、さまざまなクリエイティブの現場で活躍しています。

また、さらなる表現を追求し、進学、留学、そしてアーティストへ。

企業に就職

ものを創り、その意味を伝える。芸術学部で培ったスキルと感性は、“今”という時代だからこそ、さまざまな業種で求められています。自分の力を示す、あらゆる可能性がそこにはあります。

■主な就職先（五十音順）

- 個人アートフリーカー
- 個人アクトス
- 個人石井表記
- 個人インフォ・エヌ
- 個人内田洋行
- 個人ウッドワン
- 個人峰玩具製作所
- 個人家庭学習研究社
- かめや釣具㈱
- 川崎重工業㈱
- 個人ガッシュ・エアスタジオ
- ガレリア・レイノ㈱
- TBカワシマ㈱
- 個人キタムラ
- 歴史金庫
- キヤノンマーケティングジャパン㈱
- 個人DNP西日本
- 個人信用金庫
- 個人呉竹
- 個人渓水社
- 個人研創
- 個人幻生社
- 個人広告通信社
- コクヨマーケティング㈱
- 個人コトブキ
- 個人コナミデジタルエンタテインメント
- 個人コロプラ
- 個人心石工芸
- 産興㈱
- 個人サンライズ
- 個人サメティアジョン
- 個人資生堂
- 個人シグマ
- 個人スタジオプラセボ
- 個人ステージュニオン広島
- 個人スマイルデザイン㈱
- 個人スペース
- 個人スリーエム ジャパン㈱
- 個人創建ホーム㈱
- 個人ソララ
- 個人体育社
- 個人中国四国博報堂
- 個人TSSソフトウェア
- 個人ティ・エス・プロダクション
- 個人GKデザイン総研広島
- 個人デジタライズ
- 個人テレビ朝日クリエイティブ
- 個人テレビ東京コミュニケーションズ
- 個人テンポスポットドットコム
- 個人電通
- 個人東急ハンズ
- 個人トッパングラフィックコミュニケーションズ
- 個人トヨタ紡織㈱
- 個人トライボット・デザイン㈱
- 個人ニシキプリント
- 個人西日本印刷㈱
- 個人任天堂㈱
- 個人ヌーベルメディア㈱
- 個人ノエビア
- 個人パナソニック㈱
- 浜田市立石正美術館
- 個人ハル研究所
- バンビ㈱
- 東原産業㈱
- 個人広島東洋カープ
- 個人ファブリックアーツ
- 個人フィル・エ・クチーレ
- 個人フォー・アンツ
- 個人フォーナインズ
- 個人フォノグラム
- (公財)福武財團
- 個人ふじわら写場
- 個人フレーンセンター
- 個人ボーラ
- 個人ボニー・キャニオン
- 個人ホロンクリエイト
- 個人本田技術研究所
- マツダ㈱
- 個人ミキハウス
- 個人みやび
- 個人ユナイテッドアローズ
- 個人モーザールト
- モリサワ文研㈱
- 個人山口銀行
- 個人ユニバーサルポスト
- 個人ライオン事務器
- ライカカメラジャパン㈱
- 個人レナウン
- 蘭島閣美術館
- YKK AP㈱

大学院に進学

芸術学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が、自己の表現を追求し、探求するために本学の大学院に進学しています。また、各々の専門性を高めるため、国内や海外の大学の大学院に進学する学生もいます。さらに、より高度な研究を目指して修士課程を修了し、作家、クリエーター、デザイナー、キュレーター等として活躍する卒業生を輩出しています。

創作活動・美術教育

卒業後も作家やクリエーターを目指して作品制作に励む者も少なくありません。その活躍は、国内の公募展や国際的コンペティションなどで数多くの入賞実績を数え、多方面のメディアに取り上げられています。個展やグループ展を開催するなど活躍の場を広げたり、新たな創作環境を求めて海外に活躍の場を展開する卒業生もいます。また、広島市教員、広島県教員をはじめ、大学、専門学校、高等学校、中学校などの教育現場で美術指導を行う教員となる卒業生も数多くいます。

Voices (卒業生)



学生時代から学んできた
真摯に向き合い努力していくことの大切さ

原田 武

金属造形作家

(2009年3月 芸術学研究科 博士前期課程 造形計画専攻 修了)

大学院を修了した後、広島市立大学の銅蟲研究員として銅蟲の研究と制作の業務に就かせていただきました。また同時に金属造形作家としての活動を行ってきました。大学のカリキュラムでは、一つの技法に突出するのではなく幅広い技法を教えていただき、その中から自分の表現に合った技法を選択することができました。在学中に「金工の技術習得には時間がかかる」という言葉をよく耳にしていたので、学生時代には自分が選択した技法と表現の追求を行ってきました。その結果として2014年には「Tokyo Midtown Award 2014」でグランプリを頂くことができました。何かに真摯に向き合い努力していくことの大切さを学ぶことができたと思います。



創作活動を通した人々との出会いが
自分の可能性を広げてくれる

米田 章

3DプリントスタジオaetalaG 勤務

(2014年3月 芸術学研究科 博士前期課程 彫刻専攻 修了)

aetalaG(あえたら)は、広島本通にある3Dプリントサービス店です。店内は、イベントや個展を開催できるレンタルスペースを併設する、3Dプリンターを使ったものづくり、クリエイターのための空間です。私はそこで3Dセンターを使ったイベントの企画や商品の開発、レンタルスペースの運営に携わっています。在学中は作品制作のほか、展覧会の開催や運営、美術館や造形屋でのアルバイトなど、創作活動を通してさまざまな経験を得られました。そのような機会をもたらしてくれたのは、在学中に出会った多くの人たちでした。創作活動は孤独な行為かもしれませんのが、同時に、さまざまな人の出会いを運んできてくれるのだと思います。aetalaGが、多くの「出会い」を提供できる場になるよう、日々奮闘しています。

Website

ウェブサイト紹介

◎トップページ

本学に関する最新の情報を見ることができます。ウェブサイトは、随時更新しています。

学部・大学院

大学の授業や、大学院について
もっと知りたい方はこちら。

イベント情報

オープンキャンパスの情報など、大学
の最新情報を見ることができます。

入学案内

入学に関する大事な情報を随時掲載し
ています。まずはこちらをクリック。

The screenshot shows the main homepage of Hiroshima City University. It features a large banner for an exhibition from April 2nd to April 15th. Below the banner are three main navigation links: 'Events Information', 'Admissions Information', and 'Campus Life'. The 'Events Information' section highlights an exhibition from April 2nd to April 15th. The 'Admissions Information' section is indicated by a red box. The 'Campus Life' section includes a photo of students.

今週の展覧会

本学の学生、教員や卒業生が開催
する展覧会の情報について知ること
ができます。

※背景は毎月変更しています。季節を感じるデザインもぜひお楽しみください。

メディアでみる市大

本学に関連した情報は、新聞、テレビなどさ
まざまなメディアを通じて発信されています。
紹介された本学関連の主なニュース項目を月ごとにまとめてお知らせします。



「夢ナビ」は、広島市立大学ウェブサイトにあるこのバナーから!

<http://yumenavi.info>



夢ナビ →

◎キャンパスライフ

大学生活についてもっと知りたい方はこちらをご覧ください。

The screenshot shows the 'Campus Life' section of the website. It features a photo of students and a sidebar with various links related to campus life, such as 'Student Activities', 'Dormitory', 'Meal Plan', 'Handbooks', and 'About Us'.

課外活動

クラブ・サークルに
に関する情報を紹介
しています。

◎大学紹介

大学の概要や基礎データ、広報に関する情報などを掲載しています。

The screenshot shows the 'University Introduction' section. It features a photo of students walking and a sidebar with links to 'Faculty', 'Student Support', 'Student Activities', 'About Us', and 'Contact Us'.

Voices

(在学生・卒業生紹介)

本学の学生や卒業生の
紹介「Voices」です。
ロングインタビューなど、ウェブサイトならではの情報が満載です。

◎携帯電話からもご覧いただけます。

<http://m.hiroshima-cu.ac.jp/>



入試情報

募集人員

学部	学科・専攻	入学定員	募集人員						
			一般入試		特別入試				
			前期日程	後期日程	推薦入試 市内公募	自己推薦 全国公募	外国人留学生入試 入試	※(注2)参考	
国際学部	国際学科	100	60	20	10	10	—	若干名	
情報科学部 ※(注1)参照	情報工学科	210	130	40	20	20	—	若干名	
	知能工学科								
	システム工学科								
	医用情報科学科								
芸術学部	日本画専攻	10	—	10	—	—	若干名	若干名	
	美術学科	20	20	—					
	彫刻専攻	10	—	7					
	デザイン工芸学科	40	30	10					

注1)情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名、医用情報科学科定員30名)は本人の希望および1年次の成績により、2年次進級時に実施します。

注2)外国人留学生入試の募集人員「若干名」は、一般入試の募集人員に含まれます。

試験日程

	出願期間	個別学力検査等期日	合格発表
推薦入試 (国際学部・情報科学部のみ)	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)	平成27年11月21日(土)	平成27年12月2日(水)
自己推薦入試 (芸術学部 美術学科 彫刻専攻のみ)	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)	平成27年11月21日(土)	平成27年12月2日(水)
一般入試前期日程	平成28年1月25日(月)～2月3日(水)	平成28年2月25日(木) (芸術学部は下表の日程)	平成28年3月7日(月)
一般入試後期日程		平成28年3月12日(土) (芸術学部は下表の日程)	平成28年3月21日(月)
学科・専攻	日程区分	個別学力検査等の日程	
美術学科	日本画専攻	後期日程	平成28年3月12日(土)～3月15日(火) 4日間
	油絵専攻	前期日程	平成28年2月25日(木)～2月28日(日) 4日間
	彫刻専攻	後期日程	平成28年3月14日(月)～3月15日(火) 2日間
デザイン工芸学科	前期日程	平成28年2月25日(木)～2月26日(金)	2日間
	後期日程	平成28年3月14日(月)	1日

(注)外国人留学生入試の日程は、国際学部・情報科学部・芸術学部美術学科油絵専攻およびデザイン工芸科については、一般入試前期日程と同じです。
芸術学部美術学科日本画専攻および美術学科彫刻専攻については、一般入試の後期日程と同じです。

入学料・授業料 ※金額は、平成27年4月現在のものです。料金改定が行われた場合には、改定後の料金が適用されます。

・入学料(入学手続時に支払い) 広島市内の者 282,000円 左記以外の者 423,000円

・授業料(4月と10月に半期分を支払い) 年額 535,800円

入試の実施状況(平成27年度)

学部	学科・専攻	試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
国際学部	国際学科	推薦入試(市内公募)	10	16	16	9	1.8
		推薦入試(全国公募)	10	34	34	17	2.0
		前期日程	60	223	215	71	3.0
		後期日程	20	209	120	29	4.1
		外国人留学生入試	若干名	13	8	3	2.7
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	推薦入試(市内公募)	20	42	42	23	1.8
		推薦入試(全国公募)	20	53	53	23	2.3
		前期日程	130	503	469	152	3.1
		後期日程	40	747	297	63	4.7
		外国人留学生入試	若干名	4	2	2	1.0
芸術学部	美術学科	日本画専攻	後期日程	10	32	28	14 2.0
		油絵専攻	前期日程	20	65	64	26 2.5
		彫刻専攻	自己推薦入試	3	14	14	4 3.5
			後期日程	7	20	17	9 1.9
	デザイン工芸学科		前期日程	30	124	116	36 3.2
	※各学科・専攻	外国人留学生入試	若干名	0	-	-	-

試験教科等

【一般入試】

学部・学科・専攻	学力検査等区分	大学入試センター試験の利用教科等	個別学力検査等
国際学部	前 則	「国」「地歴または公民」「数」「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から2と「外」 [3教科3科目(4科目)]	小論文
	後 則		総合問題
情報科学部	前 則	「国」「数(2科目)」「理(物、化、生から1)」「外」 [4教科5科目]	数学、英語、理科 (物理または化学)
	後 則		数学
芸術学部	日本画専攻	「地歴」「公民」「数」「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から1と「国」「外」 [3教科4科目]	実技検査
	油絵専攻		実技検査
芸術学部	彫刻専攻	「前 則」 [3教科3科目(4科目)]	実技検査
	前 則		実技検査
	後 則		実技検査

注)詳細および推薦入試、自己推薦入試、外国人留学生入試については、学生募集要項で確認してください。

学生募集要項の請求方法

自己推薦入試学生募集要項は平成27年7月下旬に、推薦入試学生募集要項は平成27年9月上旬に、一般入試学生募集要項および外国人留学生入試学生募集要項は、平成27年11月下旬に発表する予定です。

① テレメールを利用して請求

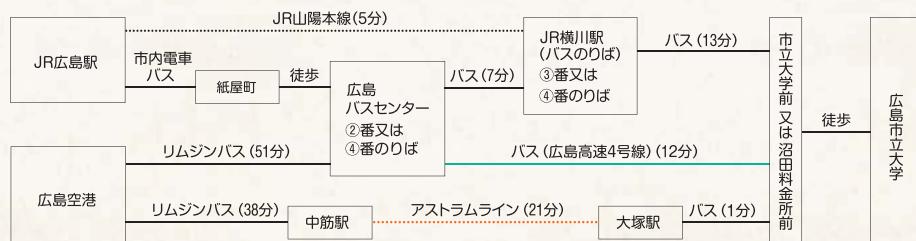
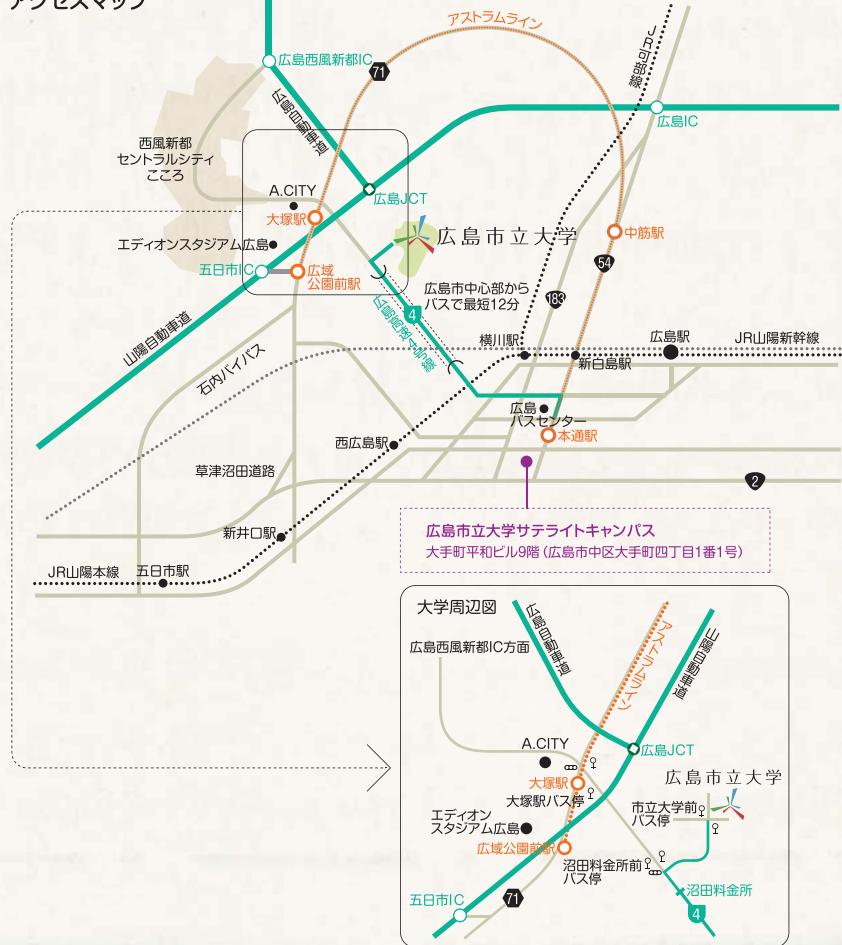
携帯電話・スマートフォンで右のバーコードを読み取り、 テレメールにアクセスしてください。

② 大学情報センターの「モバっちょ」を利用して請求

携帯電話・スマートフォンで右のバーコードを読み取り、モバっちょにアクセスしてください。

◎その他の請求方法については、本学ウェブサイトの「資料請求」をご覧ください。

アクセスマップ



*「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。

広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」「こころ西風梅苑」「こころ産業団地」「こころ南」方面行きのバスには、

「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。

Memo





広島市立大学 大学案内 2016

監修／広島市立大学企画・広報委員会
印刷／株式会社中本本店
発行／広島市立大学
発行日／平成27年7月1日
撮影／橋本健佑（広島市立大学 写真映像教務員）
粟根靖雄（HYDE PARK）

広島市立大学は、公益財団法人大学基準協会による大学評価において、大学基準に適合していると認定されています。





3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

tel.082-830-1500(代) fax.082-830-1656

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>